

第七十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外三件委員會會議錄(速)第二回

付託議案
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税ノ從量税率ニ關スル件)
大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關稅定率法中改正法律案ノ輸入税免除等ニ關スル件)(政府提出)
鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案(政府提出)
大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出)
昭和十二年勅令第三百三十號(鐵ノ輸入税免除ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

會議

昭和十二年七月三十一日(土曜日)午前十時
十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山道 襄一君

理事西村金三郎君 理事宮本雄一郎君
理事本田彌市郎君 理事岩瀬 亮君

加藤 鯛一君 坂下仙一郎君

中島彌國次君 山田 清君

塚本 三君 一柳仲次郎君

盛島 明長君 西川 貞一君

松岡 俊三君 行吉 角治君

青山 憲三君 上田 孝吉君

小平 重吉君 井阪 豐光君

赤城 宗徳君 笠井 重治君

田原 春次君 永江 一夫君

道家齊一郎君 渡邊 泰邦君

松浦周太郎君 中井 一夫君

七月三十日委員綾部健太郎君、飯塚春太郎君及猪野毛利榮君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
小平重吉君、中島彌國次君及青山憲三君ヲ
議長ニ於テ選定セリ

同月三十一日一柳仲次郎君及佐藤洋之助君
辭任ニ付其ノ補闕トシテ松浦周太郎君及中
井一夫君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月三十日理事綾部健太郎君委員辭任ニ付
其ノ補闕トシテ同月三十一日宮本雄一郎君
理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 松嶋 鹿夫君

內務省地方局長 坂 千秋君

內務省土木局長 赤松 小寅君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 尾關 將玄君

農林政務次官 高橋 守平君

農林省水產局長 三宅發士郎君

商工省工務局長 小島 新一君

燃料局長官 竹內 可吉君

商工省統制局長 黑田 鴻五君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ

海軍機關大佐 細谷信三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入
税ノ從量税率ニ關スル件)(政府提出)

大正十四年法律第五十一號中改正法律案
(關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税免除

等ニ關スル件)(政府提出)

鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案(政府提
出)

大正九年法律第五十三號中改正法律案
(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル
特例ニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年勅令第三百三十號(鐵ノ輸入税
免除ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

○山道委員長 ソレデハ開會致シマス、御
諮リ致スコトガアリマス、理事綾部健太郎
君ハ委員ヲ辭任セラレマシタノデ、理事ノ
補闕選舉ヲ行ハネバナリマセス、先例ニ依
リマシテ委員長ニ於テ指名スルコトニ御異
議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○山道委員長 御異議ナシト認メマス、ソ
レデハ宮本雄一郎君ニ御願ヲ致シマス、ソ

レカラ一寸御報告ヲ申上ゲルコトガアリマス、參考資料ニ付キマシテ、赤城委員ヨリ國內漁業用重油ノ使用量五箇年、ソレカラ國內ノ農業用ノ重油使用量、ヤハリ是モ五箇年デアリマス、ソレカラ田原委員カラ自動車ノ調査ニ關スル資料ト致シマシテ、諸官廳使用中ノ外國自動車トアリマスガ、外國產自動車デアリマス、其車名竝ニ一臺當リ購入ノ價格、購入ノ年度、各省別ノ臺數、同ジク國產自動車ノ諸官廳所有ニ關スル調査、即チ車名、臺數、各省別、ソレカラ「ガソリン」小賣値段ノ調査ニ關シマシテ、本年ノ一月、四月、六月ニ於キマシテ「ガソリン」當リノ値段ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西村委員 議事進行ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、本委員會ノ取扱テ居ル所ノ議案ハ、第七十議會ニ於テ非常ニ丁寧ニ審議サレタ案デアリマス、最終ノ日マデ審議ヲ續ケテ居ッタヤウナ案デアリマス、隨テ委員會ノ議事録ナドヲ見ルト、相當其處ニ詳細ノ質問應答ガ重ネラレテ居ルノデアリマス、今期ハ時日モ大變短イノデアリマス、隨テ此日曜日ニ、即チ明日ハ一ツ休ミニシテ貰フテ、明日ノ間ニ吾々、委員會ノ速記録ヲ能ク調べテ、而シテ月曜日ニハドウシテモ明カニナライモノニ付テ、十分此委員會ニ

於テ質問ヲシ、或ハ政府側ニ於テハ凡ソ此處ガ分ラナイ、斯ウ考ヘラレタ點ニ付テ進ンデ吾々ニ明カニ説明シテ戴キタイ、斯ノ如クシテ議事ヲ進メル方針ヲ執ツテ貰ヒタイト思ヒマス、御承認ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山道委員長 皆サンニ一應御諮リ致シマスガ、只今西村委員カラ御發議ニナリマシタ通りニ、極メテ短期ノ議會デアリマス、豫算委員會モ四五日デ終了セラレルヤウナ状態ニアリマスカラ、此委員會バカリニ多クノ日數ヲ取りマスコトモ、色々ナ點ニ於テオ五ニ考ヘナケレバナラスコト、思ヒマス、ソレデ只今ノ西村委員ノ御話ノ通りニ、今日ハ昨日御願ヒ致シマシタ質問ノ御通告ガ七名アリマス、之ヲ御通告ノ順序ニ依リマシテ、今日御質問ヲ戴キマシテ、サウシテ明日ハ丁度各派共豫算ニ付テノ態度ノ御決定モアルノデアリマセウカラ、隨テ此間題ニ付キマシテモ、併セテ御協議ヲ願ツテ置キマスコトガ、非常ニ便利ダト考ヘマシテ、其意味ニ於キマシテモ明日ハ此會議ハ休ミマシテ、大體各黨派ニ於テ御申合セヲ戴キマシテ、サウシテソレニ基イテ明後日ヨリ御質問ヲ進メテ戴ク、尙ホ西村委員ノ御話ノ通りニ明日一日アリマスレバ、前議會ニ

於ケル委員ト政府當局トノ質問應答ノ記錄ヲ、十分ニ御覽下サルコトガ出來ルト思ヒマスシ、又政府ニ於キマシテモ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、重ネテ答辯ニ對シマスル喰違ヒデアルトカ、或ハ重要ナコトニ付テ考慮スルトカ云フヤウナ、他日ニ遺ルヤウナコトノナイヤウニ、御用意ヲ明日ノ中ニ願ヒマスレバ、非常ニ議事進行ノ上ニ便利ダト考ヘマス、サウ云フ順序ニ進メテ見タイト思ヒマスガ、ドウカソレニ御同意ヲ戴キマスヤウニ御願致シマス

○坂下委員 只今西村サンノ仰シヤル日曜ヲ休ンデ二日ニ出來ルダケ質問應答シテ、ソコデ二日デ片付ケルト云フ御話デセウカ、ソレヲハッキリ承リタイノデスガ

○西村委員 左様ナ方針デ進ミタイト云フノデス

○坂下委員 大體ソレヨリモ、片付ケル日ヲ幾日マデニドウシテナリトモ片付ケルト云フ風ニシタラバト思ヒマス

○西村委員 サウシテ片付ケルコトガ出來レバ一番宜イノデス

○山道委員長 一寸坂下サンニ申上ゲマス、今朝理事ノ方ナドモ色々開會前ニ御話ヲ致シマシタ、仰セノ通りニ斯ウ云フ際デアリマスカラ、意見ナドノ御陳述ノ必要ノ

點モアリマセウケレドモ、成タケ意見ナドノ御陳述ヲ差控ヘテ戴キマシテ、眞ノ質疑應答ヲ重ネテ戴キマスレバ、極ク短イ時間デ済ムノデヤナイカ、ソレデ今日モ昨日ノ御通告ノ七名ノ御方々ニ質問シテ戴キマスノニ、其意味ニ於テ御一名ガ丁度何分ト云フ譯ニモ參リマスマイケレドモ、大體三十分カ四十分カノ目安デヤッテ戴キマシテ進メテ見ル、ソレデモドウシテモ重要ナ事柄ガ分ラナイト云フコトデアリマスレバ、是ハ二日デ限ルトカ三日デ限ルトカ云フコトノ出來ルモノデモアリマスマイカラ、ソレハ無論其際ハ適當ニ御相談シテヤリマスケレドモ、西村君ノ言ハレマシタノハ、出來ルダケ其進行ヲ滑カニスル爲ニ、明日一日休ムト云フコトデアリマスカラ、前議會ノ速記録ヲ御覽ナサツタラ、サウ云フ風ニ行クダラウト思フ、ドウカ左様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○坂下委員 分リマシタ

○山道委員長 ソレデハ大體サウ云フ方針デ進メタイト思ヒマスカラ、左様ニ御承知ヲ戴キマス、今日ハ他ノ委員會ノ發言ノ割當モアリマスカラ、其方ニ振當テマシテ、其順序デ御發言ヲ願ヒマス、只今申上ゲマシタヤウニ、成タケドウカ一ツ御意見ノ節

約出來ル所デハ、御意見ノ節約ヲシテ戴キマシテ、サウシテ本當ノ質疑ノ點ヲ御述ベ下サルヤウニ御願致シマス、尙ホ大藏大臣御出席ニナッテ居リマスガ、今日ハ豫算委員會ノ方デ、大變御忙シイノダサウデアリマスガ、昨日ドウシテモ豫算委員會ガ繰合セガ出來ナイデ、御出席ガ出來ナカタノデアリマシテ、今日ハ特ニ豫算委員會カラ御要求ガアルケレドモ、一應コチラニ出ルト云フコトデ、特ニ差繰ッテ御出席ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ最初ニ御發言ヲ爲サレタ方ノ御質問ノ中デ、ソレト關聯シテ極ク簡單ニ大藏大臣ニ御質問ガアルト云フコトデアリマシタナラバ、ドウカ關聯シテ特ニ簡單ニ御願ヲ致シマス、豫算委員會ノ方ノ都合モアリマセウカラ、コチラデサウ長イ時間ハ困難ト思ヒマス、是ダケ豫メ御斷リ致シテ置キマス——ソレデハ山田清君

○山田委員 只今委員長カラ御注意ガアリマシテ、極メテ簡單ニ、又餘リ意見ヲ述ベナイデト云フノデアリマスカラ、私モ其積リデ成ベク簡單ニ其要點ダケヲ「ビック・アップ」シテ、御質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、併シ私ノ質問ハ此燃料問題、礦油ノ關稅定率改正ニ關スル問題デアリマ

ス、前回ノ委員會ニ於ケル質問ノ内容等ニ付テハ、初メテノ議員デアリマスカラ、能ク調査モ出來テ居リマセヌノデ、或ハ重複スルコトニナルカモ分リマセヌガ、其場合ニハ適當ナ御注意ヲ戴ケバ、ソレハ止メテモ差支ナイノデアリマス、本案ノ提案ノ理由ヲ大體考ヘテ見マスルト、是ハ國策上下ウシテモ必要デアル、ソレハ日本ハ燃料ガ足ラナイ、全國ノ使用量ノ殆ド一割位、三億萬「ガロン」使用スルガ其一割、三千万「ガロン」シカ出來ナイ、隨テ一朝有事ニ際シテハ國防上、又産業上極メテ必要デアルカラ、コ、デ一面ニ於テハ人造石油ヲ作り、更ニ其ノ人造石油ノ生産價格ガ、ドウシテモ七十錢位掛ル見込アルガ、之ヲ成功セシメルニハ、ドウシテモ市場ノ燃料ノ價格ヲ吊上ゲナケレバナラヌ、斯ウ云フ大體ノ根本主張カラ、一面ニ於テハ消費稅ノ五錢ノ引上、更ニ一面ニ於テハ今回提案ニナリマシタル關稅ノ引上、之ニ依ッテ燃料ノ自給自足問題ノ根本ヲ解決シヨウト云フ所ニ、政府ノ提案ノ理由ガアルト私ハ思フ、隨ヒマシテ此國策上、國防上、政府ノ提案ノ理由ニ付テハ、一應吾々ハ之ニ對シテ贊意ヲ表スル積リデアアルノデアリマスガ、併ナガラ第一ニ私ガ承リタイノハ、政府ハ議

院ノ意見ヲ尊重スル、總理大臣ハ議會ニ於テ所謂院議ヲ尊重スルト云フコトヲ聲明シテ居ル、隨ヒマシテ此點ニ付テ先ヅ承ッテ見タイノデアリマス、能ク何ト申シマスカ、政府ノ議會技術ト申シマスカ、何時モ議員カラ種々ノ意見ガアリ、或ハ又ソレニ對シテ相當ノ附帶決議等ガアリマシテモ、其場合ハ能クソレデオ茶ヲ濁シテ承知ヲ致シテ參ッテ居ル、是ハ政府ノ通有性ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、前議會ノ委員會ニ於キマシテ、本案ガ上程サレタ場合ニ、之ニ消費稅ノ方面マデモ更ニ關聯ヲ致シマシテ、色々附帶決議ヲ致シテ居リマス、例ヘバ前議會ノ揮發油稅ノ附帶決議ノコトヲ考ヘテ見マスルト、「揮發油稅ノ收入ヲ財源トシ其ノ中ヨリ相當額ヲ道路改良費ニ充テ且ツ地方稅中營業用自動車稅ノ低減ヲ圖ルベシ」ト云フノモ附帶決議ニナッテ居リマス、更ニ「政府ハ租稅ノ賦課徵收ニ當リ嚴ニ職權濫用ヲ慎ミ苛察ニ互ラザルヤウ注意スベシ」ト云フノガ、揮發油稅法ノ附帶決議ニナッテ居リマス、關稅ノ方面ニ於キマシテハ「政府ハ礦油關稅ノ引上ニ伴ヒ之ヲ消費スル當業者ノ負擔ヲ緩和スル爲適當ノ措置ヲ講ズベシ」更ニ「帝國燃料株式會社設立ニ因リ人造揮發油ノ相當多量ヲ商品トシテ市場ニ

出荷スルマデハ揮發油消費稅ノ新設ニ依ル「ガロン」五錢ノ値上許可ニ止メ關稅引上ニ因ル値上ハ許可セザルコト」ト云フ附帶決議ガ、審議未了ニハ終リマシタケレドモ、是ハ慎重審議ノ結果ノ前委員會ノ總意ノ現レデアルト云フコトハ、間違ヒナイ事實デアル、隨ヒマシテ議院ノ總意ヲ體シ、其決議ヲ尊重スルト云フ御方針デアルベキガ正當デアルノデアリマスカラ、左様ナ御方針デ進ンデ參リマシタナラバ、前委員會ノ附帶決議後ニ於キマスル其執行上ノ技術ニ付テハ、一體如何ヤウナル考ヲ持ッテ居ルノデアリマスカ、又如何ヤウナル方途ヲ講ジテ居ッタノデアリマスカ、之ニ付テ先ヅ第一ニ御伺シテ見タイト思フノデアリマス、大體私ハ是ハ議論ニナリマスルカラ申上ゲルコトハ本當ニ簡單ニ致シマスガ、一體國策ノ檢討カラ考ヘテ見ルノガ妥當デアルト思フ、燃料國策ハ國家ノ爲ニ極メテ必要デアアルト云フ、サウ云フ重大ナ問題デアアルナラバ、其費用ハ全部是ハ政府ガ負擔スベキモノデアルト私ハ思フ、併ナガラ事實ニ於キマシテハ消費稅ノ引上、關稅ノ引上、總テ其結果ハ、所謂「ガソリン」ノ消費者ノ大體九割ハ自動車業者デアリマスガ、此自動

車業者が全部負擔ヲスルト云フ所ニ、是ハ國策遂行ノ技術上ニ於ケル大ナル矛盾ガアルト私ハ考ヘル、併シ意見ニ互ルト云フナラバ多クハ申シマセヌガ、茲ニ私ハ根本的ノ考ヘ方ノ違ヒガアルト思フ、更ニ一面ニ於テ是ダケノ大キナ仕事、帝國燃料興業株式會社ノ如キ大キナ七億數千萬圓ノ豫算ヲ作ルダケノ決心ヲスル前ニ、私ハマダ盡スベキ仕事ガ澤山アッタノデハナイカト考ヘルノデアリマス、是ハヤハリ關稅改正ノ方ニ關聯ヲ致シテ居リマスカラ、實ハ本會議ニ於テ此問題ヲ質問致サウト考ヘマシタガ、ソレガ出來ナカッタノデ此際一寸質問ヲ致シマスガ、其盡スベキ問題ト云フノハ、國內油田ノ開發ニ對シテドレダケノ手段ヲ盡シテ居ルカ、從來ハ最早國內ニ於テハ天然油ハナイノダ、鑛脈ハナイノダ、油ハナイノダト云フ主張ガ大分アル、併ナガラ輓近ニ於テハ秋田ニ於テ噴油ガアリ、更ニ新潟ニ於テ大爆發ヲ致シ、昨今ノ情勢ニ於テハ國內ニ於テ油田ハ相當多量ニアルト云フ極メテ有力ナル有望ナル説ガ、隨分出テ來テ居ル、若シ夫レ關稅ヲウント引上ゲテ、更ニ國內ニ於テ大イニ油田ガ出テ來ルト云フコトデアラナラバ、洵ニ好都合デアリマスルガ、ソレニ依ッテ吾々ノ叫ビモ相當緩和

サレルト云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ盡スベキ仕事ニ付テ、試掘並ニサウ云フ方面ニ付テノドンナコトヲ、今日マデナサツテ居ツタカト云フコトニ付テモ、一ツ御伺ヲ致シタイ、政府ノ國策ナルモノノ總括的ノ考ヘ方ヲ申シテ見マスルト、大體國策デアッテ必要デアルカラ、ドウシテモ一朝有事ノ際ニ困ラヌヤウニショウト言フ、而モ國內ニハ資源ガナイト言フ、私ハアルト思フ、アルト思フガ、是ハ意見ノ相違デアリマスルカラ言ヒマセヌガ、之ニ對シテ第一ニ手段ヲ盡シテ、更ニ帝國燃料興業株式會社ヲ作ッテ、ソレニ依ッテ自給自足ヲシヨウトスルノデアルガ、其製品ノ生産費ガドウシテモ七十錢位掛ルカラト言フ、ソコデ今回此法案ノ提案ヲ見タヤウナ次第デアリマス、隨テ政府ハ積極的ニドウスルカト云フノミノコトヲ考ヘテ居リマスルガ、之ニ對シテハ消極的ナ方面ヲ一ツモ考ヘテ居ラヌヤウデアリマス、隨テ消極的ナ方面ヲ考ヘテ居ラヌヤウデアアルカラ、委員會ハ前回ニ於テ其消極的ノ方面ニ付テ、適當ナル考慮ヲ拂ハナケレバ、如何ニ積極的ノ方面ニ於テ、燃料ノ自給自足國策ヲ樹立ヲ致スト言ウテモ、之ニ付テハ其國策ノ樹立ノ完璧ヲ期スルコトガ出來ナイト云フ爲ニ、附帶

決議ヲ作ツタト私ハ考ヘテ居ル、消極的ナ方面ヲ考ヘマスルト、第一ニハ先ヅ保有義務デアリマス、平時ニ於テ國內ニ石油ヲ貯ヘテ置クト云フ義務デアアル、所ガ石油業法ノ保有義務ト云フモノガ施行サレタケレドモ、一等國ノ日本ハ法律ヲ作ツタガ、其法律ニ不自由ヲシナイ外國產ノ一社ガアッタコトハ見逃スコトノ出來ナイ事實デアアル、斯ウ云フ方面ニ付テ今日ハ一體ドウナツテ居ルカ、或ハ日本ノ數社ガ之ヲ代行シテ、ヤット日本ノ法律ノ尊嚴ヲ保ッテ居ルト云フコトハ、承ッテ居ルガ、是ハドウナツテ居ルカ、關稅改正ヲシテ料金ヲ上ゲテ、國內ニ於ケル人造石油ヲ造ルヨリハ、平時ニ於テモット消極的ニ澤山ノ貯油ヲヤツテ、隨所各方面ニ危險ノナイ場所ニ、或ハ山奥ノ方面ニ置イテモ宜シイデセウ、或ハ山奥デナクテモ宜シイデセウ、海岸壁デモ宜シイデセウ、爆發ヲセザルヤウニシテ、サウシテ澤山貯油ヲシテ、其間著々トシテ化學ノ研究ヲシテ、人造石油ヲ造ルコトガ出來ルナラバ、關稅ノ五錢ノ値上ヲセヌデモ、消費稅ノ五錢ノ値上ヲセヌデモ、化學ノ進歩ニ依ッテ、モットノ低廉ニ出來ルデハナイカ、七十錢デナケレバ出來ナイ、其根本ノ主張ニ於テ相當再檢討ヲスル必要ガアルノデハ

ナイカト云フ點ニ付テモ、御伺ヲシタイノデアリマス、隨テ貯油ノ義務ノ問題ヲ確ニ勵行シテ居ルトスルナラバ、更ニ貯油義務ノ量ヲモット大キクシテ、サウシテソレハ營業者ノミニ負擔セシメズニ、國家ノ國策デアリ、國民全體ノ利害ニ關スル問題デアアルカラ、之ニ付テハ大藏大臣ハ大イニ力ヲ盡シテ、斯ウ云フ方面ニ金ヲ振撒イテ行クナラバ宜イデハナイカ、七億數千萬圓ト云フ最高限度マデ出スト云フヤウナ決心ガアルナラバ、モットノ少イ金デ此國策ヲ遂行ガ出來ルノデアリマス、併シ僅カノ金ニ於テモ、シミツタレテ出サナイデ、他ノ方面ニ出スト云フコトニ付テハ、ドウデアアルカト云フヤウナコトニ付テモ、考ヘテ置カナケレバナラナイト思フ、更ニ推算ヲ致シマシテモ、需要ト供給ハ是ハ經濟學ノ原則デアリマシテ、私等ガ彼此レ今更此處デ喋々ヲ要シマセヌガ、如何ニ生産ヲ致シマシテモ、之ヲ消費スル所ノ消費者ガ其負擔ガ出來ナイト云フ場合ニ於テハドウデアアルカ、一向其國策ハ實現ガ出來ナイノデアアル、其消費者ハ一體何デアアルカト言フナラバ、是ハ全國ノ運輸業者、更ニ漁船デアアルトカ、發動機船デアアルトカデアアル、斯ウ云フ問題ニ付テ前委員會ハ特ニ營業者ノ負擔ヲ緩和スル

爲ニ意見ヲ開陳シテ、玆ニ決定ヲ致シテ居ル、業者ノ現狀ハドウデアアルカト申シマスナラバ、私ハ敢テ斷言スル、到底現狀ノ儘ニ於テモ消化シ切レナイ、業者ヲ大別スルナラバ「トラック」屋モアレバ、「ハイヤー」圓「タク」モアレバ、漁船モアリ「バス」モアル、是ハ皆國家交通上又運輸上、極メテ必要ナル業者デアアル、御存ジノ通り、殊ニ其機能ハ國家ノ國防上ニ於テ特殊ナル所ノ仕事ヲ致シテ居ルコトハ、今回動員ヲ下シマスルト、直チニ「トラック」ノ如キモノハ引上ゲラレ、運轉手ノ如キモノ第一線ニ直グ立ツ、實ニ國家産業上、交通上、國防上極メテ必要ナル業者デアアルガ、其業者ガ本法案ガ施行ニナリ、直チニ關稅五錢ガ上ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウナルカト云フコトニ付テハ、斷言スルガ、到底現狀ノ營業狀態ニ於テハ、是ハ負擔ガ出來ナイ、玆ニヤハリ重點ヲ注ギマシテ、前々小川商工大臣當時、當時ノ次官デアリマシタル吉野君アタリガ色々心配ヲ致シマシテ、生産ノ積極的方面ハ考ヘル、併シ消極的ニ於テ需要者大衆ノ聲モ聽カネバナラヌ、需要者大衆ノ懷ロモ考ヘネバナラヌト云フコトデ、産業合理局ニ於テ營業改善委員ナルモノヲ作ッテ、或ハ強制ノ統制、或ハ商業組合ノ設置

等ニ依ッテ團體購買契約、共同購入、自動車其他ニ於テモ相當安ク仕入レルト云フヤウナ、有ユル調査研究ヲ致ス機關ヲ作りマシタガ、何等成案ヲ得ザル内ニ、林内閣ノ當初ニ於テ、商工大臣ハ直チニ此問題ハ解決致シタリト稱シテ解散ヲ致シタ、一體如何ナル成案ヲ得、如何ナル確信ヲ以テ解散ヲ致シタノデアアルカ、而シテ如何ナル態度ヲ以テ此消費者大衆ノ圓滿ナル發達助長ヲスル方針デアアルカト云フコトヲ承リタイ、當局ハ或ハ商業組合ノ結成ニ依ッテ、重大ナル此國策ヲ、三千万圓カラノ此費用ヲ、今將ニ死ナントスル所ノ業者大衆ノミニ負擔ヲセシメヨウ、併シ業者大衆ハ負擔ガ出來ナイ、出來ナイカラ、之ニ向ッテ營業改善委員會ナルモノヲ作ッテ、一時ヲ胡麻化シテ行カウトシタガ、是モマダ目安ノ付カヌ内ニ解散ヲ致シタ、ドウスレバ宜イノデアアルカ、百万ノ大衆、五百万ノ關係業者、而モ其持ッ所ノ仕事ハ産業上極メテ重大ナル仕事ヲ持ッチ、國防上極メテ重大ナル仕事ヲ持ッ、洵ニ是ハ仕事ノミヲ多ク持ッセ、義務ノミヲ多ク持ッセテ、サウシテソチラノ方ヲ一ツモ考ヘナイト云フコトハ、一體如何ナルコトヲヤッテ居ルノデアアルカ、是ガ救済方面ニ付キマシテハ、附帶決議ハ斯ウ書イテアル、

礦油、揮發油稅法改正ノ附帶決議ニ於テハ「揮發油稅ノ收入ヲ財源トシ其ノ中ヨリ相當額ヲ道路改良費ニ充テ且ツ地方稅中營業用自動車稅ノ輕減ヲ圖ルベシ」ト云フ一項ガ此附帶決議ニ書イテアル、此營業用自動車稅ハ物件稅デアアル、極メテ詰ラヌ車デモ、此物件稅ハ實ニ其地方ニ依ッテ異リマスルガ、二百圓乃至三百圓ノ間ヲ往來致シテ居ル、此事ヲ前委員會ニ於テハ考ヘテ、決議ヲ致シテ居リマスガ、例ヲ東京府ニ採ッテ見マスルノニ、僅ニ國產自動車ニ於テ昨年ハ二割ノ減稅、一般營業用自動車ニ於テ一割ノ減稅デアアル、全國皆然リデアアル、一體地方稅ヲ全部取纏メテ交付金制度ニスルト云フヤウニ致シマシテモ、此自動車ノ地方稅ニ對スル問題ハドウスル積リデアアルカ、地方稅ヲ全免スルト云フコトデ、私ハ初メテ國策ノ片棒ヲ擔グコトガ出來ルト思フ、三千万圓ノ金ヲ悉ク業者大衆ニ背負ハセルト云フ國策ノ基本ニ大ナル誤ガアルノデハナイカ、其三千万圓ノ金ハ業者ノミニ負ハスト云フコトハイカヌノデアアルカラ、ソレニ依ッテ少クモ自動車方面ノ消費量ヲ少クセシメヨウト云フ見地デアリマセウ、相當額ノ道路改良費ト、鋪裝道路ヲ作ッテ「ガソリン」ノ消費量ヲ少クスルト云フ點ニ付テ、

玆ニ附帶決議ガ出來テ居ルト私ハ考ヘル、此點ニ付テ、三千万圓ノ費用ハ道路改良費ニドノ位負擔セシメヨウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアアルカ、之ヲ一ツ承ッテ見タイノデアリマス

○山道委員長 山田君、前ニ御諒解ヲ得テ置キマシタガ、モウアナタノ時間ハ丁度十時半カラ御始メニナッテ既ニ二十五分ヲ經過シテ居リマス、他ノ諸君ノ御支障ニモナリマスカラ、ドウカ其御積リデオ五ニ一ツ互讓ノ精神ヲ御持チニナッテ……

○山田委員 ソレデハ極メテ簡單ニヤリマス——斯ウ云フ道路ノ改良其他ノ方面ニ付キマシテモ考ヘテ居ナイヤウデアリマスカ、併シ其後相當考ヘテ居リマスカドウデスカ、更ニ今一ツ、是ハ重大ナ「ポイント」デアリマスルガ、ヤハリ消極的方面デアリマスルガ、「ガソリン」ヲ到ル處ニ今無駄ニ流シテ居ル、勿體ナイ、「ガソリン」ヲ無駄ニ流シテ居ルガ、此流シテ居ル方面ニ付テ、今後如何ナル對策ヲ講ズルカ、斯ウ云フコトモ承ッテ見タイ、更ニ商業組合ヲ作レト云フガ、商業組合ヲ作レト云ウテ見テモ、商業組合ヲ作ルダケノ費用ガナイ、ソレ程悉ク左様ニ業者大衆ハモウ疲弊困憊ノドシ底ニ入ッテ居ル、例ヲ我が大東京ノ自動車業

者ニ付テ見ルニ、一万二千數百圓ノ「タ
ク」業者ノ中デ、實ニ一人一臺持ノ圓「タ
ク」業者ハ五千數百人ノ多キニ達シテ居ル、
而モ毎日事故ガ起キテ居ル、其事故ノ件數
ハ實ニ驚クベキ數ニ達シテ居リマス、一日
五十人内外ノ事故ガ起キテ居ル、食ヘナイ
カラシテ事故ヲ起スノデアル、斯ウ云フ連
中ノ一箇月ノ收入ハ十二時間ノ激シイ勞働
ヲシテモ五十圓内外ノ收入ヲ辛ウジテ得ル
ダケデアアル、ソレガ五千數百人モ居ル、斯
ウ云フ連中ニ、商工省産業合理局ニ於テ營
業改善ヲ主トシテ商業組合ニ依ッテ此問題
ノ根本ヲ救済シヨウト云フコトヲ策シマシ
タヤウデアアルガ、假ニ商業組合ヲ作レト言
ヒマシテモ作ルコトガ出來ナイ、七億數千
萬圓ノ豫算ニ付テハ、事國策ニ關スル問題
ダト稱シテ提案ヲスルガ、僅カ百万カ二百
萬ノ金シカ要シナイ、業者ノ負擔力ヲ擴充
スルト云フ其根本的ノ方針ニ付テ補助ヲス
ル考ガアルカドウカ、而モ營業ノ改善ニ付
テハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ、ドウシテ此
負擔ヲ背負ハセルカ、斯ウ云フコトモ考ヘ
テ貰ハナケレバナリマセス、私ハ全面的ニ
見マシテ、大體此五錢ノ關稅引上ヲ殆ド九
割ノ業者ノ大衆ニノミ負ハシメ、國民大衆
總動員ヲ以テ之ヲ負擔スルト云フ方途ヲ何

故ニ講ジナイカ、其根本要點ヲ私ハ聞キタ
イノデアリマス、委員長カラ注意ガアリマ
スルカラ、私ハマダ三四時間ヤリタイと思ッ
テ材料ヲ持ッテ來テ居ルノデアリマスガ、前
議會ニ於テ決議致シテ居リマスル委員各位
ノ總意ノ現レニ付テ如何ナル取扱ヒヲシ、
今日マデ如何ナル方途ヲ講ジテ居ルカ、第
二ハ關稅ノ引上ニ依ル費用ハ、全部其關係
者大衆ノミニ負擔ヲセシムルト云フコトハ
適當デアアルカドウカ、他ニ其負擔方法ニ付
テ適當ナル考ガアルカドウカ、消費者大衆
ニ對シテ、一體如何ナル方途ヲ以テ此國策
ヲ遂行セシムル考ヘ方ヲ有ッテ居ルカト云
フ、結論ヲ致シマスルナラバ三點ニナリマ
ス、ソレニ付テ大藏大臣竝ニ商工當局ノ適
切ナル御説明ヲ願ヒマス——委員長是ハ分
ラス所ガアレバ再質問ヲシテ宜イノデスカ
ラ
○山道委員長 宜シウゴザイマスガ、再質
問ハ極メテ簡單ニ願ヒマス
○上田委員 只今ノ山田君ノ質問ニ關聯シ
テ希望ヲ述ベテ置キタイノデアリマスガ、
ソレハ前ノ七十議會ノ關稅定率法ノ委員會
ノ時ニ、只今述ベラレタヤウニ大體附帶決
議ガ致シテアリマス、ノミナラズ修正サレ
タル事項モアリマス、例ヘバ漁船油ノ問題、
ソレガヤハリ原案ノ通りニ出テ居ルノデア

リマスガ、ソレ等ノ點ヲドノ程度マデ斟酌
サレテ居ルカ、又ハ斟酌シ惡イ事情ガアル
ナラバ、ドウ云フ事情デ斟酌ガシ惡イノデ
アッテ、原案ノ儘デ御出シニナツカト云
フコトヲ、丁度大藏大臣ガ御出席ニナツテ居
リマスカラ、大藏大臣カラ徹底シテ御答辯
ノ内ニ加ヘテ戴キタイト思ヒマス
○賀屋國務大臣 只今ノ御質問ノ中、先ヅ
我國ニ於キマシテ石油ノ鑛區ヲ殖スニ付
キ、積極的ニヤリマス方途ノ中デ、國內ノ
石油ノ増産ニ付テ先ヅ考フベキデハナイカ
ト云フ御趣旨ガアリマシタ、是ハ全ク御同
感ナノデアリマス、前ヨリ政府ハ試掘ノ獎
勵ヲ致シマシタリ、臺灣等ニ於キマシテ、
自ラ政府デ試掘ヲスルト云フヤウナ計畫ヲ
立テマシタリ、色々ヤッテ居リマス、御示シ
ノ新シイ石油ノ如キモノモ、其全部ハドウ
カ知リマセスガ、政府ノ試掘補助ノ結果行
ヒマシタモノガ、相當アルカト思フノデア
リマス、其點ハ全ク御説明ノ通りデアリマス、
唯ソレノミニ依ッテヤルカドウカト云フコ
トニナリマスルト、ヤハリ是ハ見込ノ問題
ニナリマスルガ、御承知ノ如ク一朝有事ノ
日ニ於ケル飛行機其他ノ、此石油ノ消費ノ
コトヲ考ヘマシタリ、其量ガ日ニ月ニ進ミ、
多量ノ需要ヲスルト云フ時ニ於キマシテ、

我國ノ石油ノ資源ハ無盡藏デ調査スレバス
ルニ從ッテ、ソレガ出テ來ルト云フノデア
ルナラバ、兎ニ角、ソレ程トモ言ヘナイ所モ
アリマスノデ、ソレノミニ依ッテ參ルト云フ
コトモ出來マセス、一方人造石油ニ付キマ
シテハ、獨逸等ニ於キマシテ其技術ガ最近
急速ナル進歩ヲ致シマシテ、既ニ試驗ノ域
ヲ去リマシテ、實用ノ時期ニナラントシテ
居ル時デアリマス、ソレハ御承知ノ如ク我
國ニモ多量ノ資源ヲ擁シテ居リマスル石炭
ヲ其原料トスルモノデアリマスルカラ、先
ヅ今ノ時勢ニ於キマシテハ、之ニ著目シテ、
此方ニ相當ノ力ヲ注グ、寧ロ主力ヲ注グト
云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌコトノヤウニ
考ヘマスノデ、政府ハ此點ニ主力ヲ注グマ
シテ、國內ノ資源ノ開發モ、寧ロ其爲ニ從
來ノコトヲ怠ルト云フヨリモ、寧ロ若干歩
ヲ進メテ居ル現狀デアリマス、又更ニ消極
的ニ色々國內ノ外油ノ輸入ニ於ケル保有量
ヲ増加シタラドウカト云フ話デアリマス、
是モ御尤ノ話デアリマス、軍部等ニ於キマ
シテハ、ヤハリ以前カラ其點ニハ非常ニ力
ヲ盡シテ居リマス、財政ノ方デモ之ニ非常
ニ協力致シマシテ、寧ロ金ヲ出セバ出來ル
コトデアリマスカラ、財政上ノ力デ、ソレ
ヲ致シテ居ルト云ウテモ宜シイノデアリマ

ス、併ナガラソレノミニ依リマシテハ、我國ノ石油ノ自給ト云フコトハ到底出來マセヌ、御話ノ如ク積極、消極ヲ併用シ、其積極ノ中デモ資源ノ開發ノ外、人造石油ニ特ニ力ヲ注ギ、三者併用シ進シテ參ル積リデアリマス、尙ホ此人人造石油獎勵ノ爲ニ關稅ヲ引上ゲ、又消費稅ヲ引上ゲテ、之ニ依ッテチャテ居ルガドウ云フ譯デアルカ、斯様ナ仰セデアリマス、洵ニ御尤ノ仰セデアリマスガ、從來トテモ此國內ノ重要ナル事業ノ保護助長ノ爲ニ、關稅ニ依リマスコトハ屢デアリマス、有ユル左様ナル産業ヲ關稅ノ保護ニ依ラズシテ、例ヘバ政府ノ補助金、獎勵金一點張りデハ參ッテ居リマセヌデアリマス、サウ致シマスコトハ、是ハ出來レバ其方ガ物價ノ騰貴ヲ防ギマシテ適當デアリマス、左様ナ獎勵金ト云フモノモ、結局ハ國民ノ負擔ニ依ラズンバ、政府ガ自ラ之ヲ作ル力ヲ持ッテ居リマセヌデ、全クソレハ國民ノ負擔ニ依ルデアリマス、總テノ場合ニ此關稅等ノ方策ニ依ラズシテ行クト云フコトハ、從來トテモ困難ナノデアリマス、況ヤ御承知ノ如キ當面ノ財政狀態デアリマス、本年度ヨリモ相當巨額ノ増稅ヲ致シマシテ、國民一般ハ非常ナル負擔ノ増加ヲ致シテ居リマス、農村等ノ如キモノハ、サ

ナキダニ負擔ノ重課ニ困ルト云フ聲ノ高イ時デアリマス、サレバトテ之ヲ公債ニ俟チマスコトハ、公債ノ發行額ハ既ニ年々十億、之ヲ増シマスコトハ非常ナ困難ガアリマス、左様ナ時デアリマスルカラ、之ヲ關稅等ノ稅ノ政策ニ依リマシテヤリマスルコトハ、只今ノ此財政上洵ニ是ハ已ムヲ得ヌ、餘儀ナイ次第デアリマス、サウ云フ風ニ致シタクハナイデアリマスガ、左様ナ時デアリマス、尙ホ進シテ申上ゲレバ我國ノ此「ガソリン」ノ價格ト云フモノハ、世界的ニハ極メテ安イ、特別ニ安イ値デアルノデアリマス、是等ノ點モ考ヘナケレバナリマセヌ、併シサウ申上ゲレバ其安イ價格ノモノヲ使ッテ營業シテ、尙ホ今仰セノ如ク業者ハ困難デアルト云フノデアリマスルカラ、世界的ニ非常ニ安イ價格ダカラト云ッテモ、其安イ價格デ業者モ大變利益ヲ受ケテ居ルノデナイノデアリマスカラ、ソレガ關稅消費稅引上ゲノ理由ニハナラヌデハナイカ、斯ウ云フ考ハ無論當然デアリ、御尤ダと思フノデアリマスガ、是ハ私ハ率直ニ申上ゲマスト、相當困難ヲ感ジテ居リマスガ、是ハ業者ノミニ於テ負擔スベキモノデナクシテ、若干ノ自動車ノ運賃等ガ上リマシテ、ヤハリ是ハ一般大衆ノ方ニ掛ッテ行ッテモ已ムヲ

得ヌモノデアル、斯様ニ私ト致シマシテハ考ヘマスル次第デアリマス
尙ホ議會ノ御意向等ニ付キマシテモ、附帶決議ハ成ベク之ヲ尊重致シタイと思ッテ居リマス、常ニ其全部方直ニ實行出來マセヌノハ遺憾デアリマスルガ、關稅委員會ニ於キマスル今年ノ三月ノ附帶決議ニ於キマシテモ、砂糖ノ消費稅等ニ付キマシテハ、是ハ御意思ニ副フヤウナ提案ヲ、此度致シマシタコトト思ヒマスルシ、又紅松輸入稅ノ如キモノニ付キマシテモ、是ハ此通常議會ニ提案ヲ致ス際ニ、十分ニ考ヘル積リデアリマス、尙ホ礦油關稅ノ引上ニ伴ヒ、自動車業者ニ對スル施設ニ付キマシテハ、商工省方面ニ於テモ相當考ヘテ居ラレルノデアリマス、是ハ本特別議會提案ニハ間ニ合ヒマセヌデアリマシタガ、通常議會ニハ考究致シタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ漁業用ノ免稅ノ點ニ付キマシテハ、前議會ニ於キマシテ、委員會ニ於テ是ノ御修正ガアツタノデアリマス、隨ヒマシテ今回提案致シマスル時ニ於キマシテモ、餘程考ヘマシタノデアリマスルガ、ドウモ之ヲ——アノ時ニモ申シマシタノデアリマスルガ、此免稅ガ全部實際ニ於テ漁業者ノ負擔ノ輕減ニ充テラレテ居ルカドウカト云フコトニ付キマ

シテハ、相當ニ是ハ疑問ガアリマス、ソレナラバ實際ニサウナルヤウナ方法ヲ講ズレバ宜シイデハナイカト云フコトニモナリマスルガ、中々是モ困難ナ事情ガアリマシテ、色々關係省トモ協議ヲ致シタノデアリマスルガ、ドウモ是ハ原案ノヤウニ御願スルコトハ已ムヲ得ヌト云フコトニナリマシテ、甚ダ其點ハ殘念デアリマスルガ、モウ一度原案デ御考ヲ願ッテ見タイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、ソレカラ是ハ甚ダ餘談ニナリマスルガ、一寸速記ヲ止メテ戴キマス

〔速記中止〕

〔委員長退席、西村委員長代理著席〕

○山田委員 商工大臣ノ答辯ノ前ニ大藏大臣ニモウ一度……國民ノ全體ノ負擔トセズニ、業者ノ負擔ニスルト云フコトニ付テ御話ガアリマシタガ、地方稅ノ問題ニ付テハ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ、地方稅ニ付テドウ考ヘテ居ルカト云フコトヲ一ツ承リタイ

○賀屋國務大臣 是ハ內務省ノ方カラ御答ヲ申上ゲタガ適當ト思ヒマス

○上田委員 今速記ヲ止メラレテ大藏大臣ガ言ハレタ事情ハ、能ク諒承スルノデアリマスガ、政府ガ同意シタトカセヌトカ、サ

ウ云フ意味デナシニ、前議會ノ委員會デハ漁業用ノ油ニ付テハ原案ヲ修正スルコトヲ可ナリトシテ修正ヲシタノデアリマス、ソレガヤハリ原案デ出タト云フコトニ付テハ、色々漁業者ノ方ニ其恩典ガ行渡ラナイト云フヤウナ事情モアルト云フコトマデハ分テ居ルガ、サウ云フヤウナ輕イ意味ダケデナシニ、モット委員會デ修正サレタニ拘ラズ、ドウシテモ原案デ出サナケレバナラヌノダト云フ政府ノ斷乎タル所信ヲハッキリサセルコトガ、此際必要デヤナイカと思フノデアリマスガ、ソレヲ私ハ更ニ希望シテ置キマス

○賀屋國務大臣 其點ハ農林省ノ水產局長ヨリ詳細ニ申上ゲタイト思ヒマス

○三宅政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ御答致シマス、當時ハ此免稅ノ撤廢ニ付キマシテノ改案トシテ、漁業經營費低減施設費ト申シマス金額デ二百萬圓、是ハ免稅撤廢ノ改案トシテ豫算ニ計上サレタモノデアリマス、其内容ガ、能ク民間團體業者ノ方ニ分ッテ居リマセヌデシタ、多クノ人ハドンナ小サイ馬力ノ物デモ全部難カシイ「デゼル」ニ變ヘテシマフノダト云フ風ニ、業界ノ方モ考ヘテ居ッタヤウニ思ハレルノデアリマス、其後折角御協賛ヲ願ッテ出來上ッ

タ大枚ノ二百萬圓デアリマスルカラ、内容ガ能ク分ッテ貰ハナケレバナラヌト云フ意味デ、ドレガ良イ惡イト云フ問題デナク、其二百萬圓ノ内容ヲ能ク理解シテ貰フヤウニシタノデアリマス、其結果何モカモ「デゼル」ニ、又現在ノ技術ニ於テモ小サイ物ガ「デゼル」ニ一足跳ニ變ラナイノデアリマス、變ラナイ物ヲ變ルヤウニスルノハ不都合ダト云フ意見モアッタガ、サウデナイ、或ハ又機關ノ問題バカリデハナク、燃料ノ配給ヲ圓滑ナラシムルト云フヤウナ費用モ中ニ入ッテ居ルノデアルト云フヤウナコトモ、大分理解サレテ參ッタノデアリマ

ス、當時ハモウ全部反對デアリマシタモノガ、現在ニ於キマシテハ若干ソコニ相當ノ理解ガ出來テ來タト云フコトガ、先ヅ其後ノ事情ノ變化ト申上ゲレバ變化ト申上ゲラレルノデアリマス

○笠井委員 委員長之ニ關聯シタ質問ハ出來マスカ

○西村委員長代理 關聯シタノナラ宜シウゴザイマス、簡單ニドウカ願ヒマス

○笠井委員 一寸大藏大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス、只今ノ山田君ノ御質問ニ關聯シテ御尋致シマスガ、今回ノ關稅ノ増額ト云フモノハ幾ラデアリマスカ、三千萬圓位デス

カ、豫想シテ居リマスノハ……五錢上ゲルコトニ依ッテ幾ラニナリマスカ

○賀屋國務大臣 千八百十萬圓ノ見込デゴザイマス

○笠井委員 サウスルト帝國燃料株式會社ガ造リマシテ、サウシテ獨逸カラ「パテン」ヲ買フトカ何トカ云フ御話デスガ、サウシテ一年ニ生産スル油ハドノ位デスカ、油ノ數量ハ……

○賀屋國務大臣 一寸今政府委員ガ數字ヲ調ベテ居リマスカラ……

○笠井委員 私ノ質問ノ要點ハ、昭和八年ノ揮發油ノ輸入ヲ見マスルト、四億六千二百軒、昭和十一年ニハ是ガ六億五千五百軒、斯ウ云フ風ニ殖エテ居リマスガ、重油ノ方カラ見マシテモ昭和八年ニハ六千八百軒、ソレガ今年ハ既ニ殆ド其三倍位ニ達シテ居リマス、之ヲ過去ノ歴史ニ鑑ミテ見マシテモ、滿鐵ガ撫順ニアノ「オイル・セール」ノ工場ヲ造ッテ、サウシテ國防上ニ必要デアルト云フテ重油ヲ採ッテ居リマスガ、アノ多額ナ費用ヲ掛ケテヤッテ居ル結果ヲ見テモ、僅ニ一年ニ六萬噸カ七萬噸ノ油シカ出ナイ、恐ラクハ今回ノ帝國燃料株式會社ト云フモノハ固ヨリ國防上ハ必要デアリマスガ、其結果ニ於テハ殆ド同ジヤウナ所デハナイカ

ト云フコトヲ私ハ慮レテ居リマス、是ハドウモ、オ役人様ノ考ガ、何時モ理論上ニハ合ッテモ算盤上ニ於テ合ハナイヤウナコトニナルノデアッテ、從來問題ニナッタノハ滿洲國ノ例ノ油ノ統一ノ問題ニ鑑ミマシテモ、我國ニ於キマシテハ先程山田君モ言ハレタヤウニ油ノ資源ト云フモノガナイ、之ヲ蘭領印度ニ求メ、之ヲ北米合衆國ニ求メ、之ヲ墨西哥ニ求メ、一部ヲ「ソ」聯邦ニ求メル、「ソ」聯邦ガ油ヲ出サナケレバ直グ困ッデシマフト云フ狀態ニ居ルノデスカラ、此際又果シテ帝國燃料株式會社ト云フモノガ出來マシタ後ニ於テ、我國ノ揮發油其他ノ油ノ供給ヲ満足ニスルコトガ出來ルカ否カト云フコトスラモ分ラナイ時ニ於テ、一「ガロシ」五錢ノ關稅ヲ掛ケル、而モソレガ總額ニ於テ大シタコトモナイ、僅ニ一千八百萬圓位デアリマスケレドモ、是モ今山田君ノ說ニ依ッテ見ルト云フト、「タクシー」業者トカ自動車業者ニ掛カルト云フヤウナコトデアリマス、此問題ハモウ少シ今後見ナケレバナラヌガ、昭和八年ノ四億六千二百軒デアルノガ、十一年ニハ六億五千六百軒ト云フモノニ達シテ居ルノデアリマスカラ、此關稅ハ寧ロ撤廢シタ方ガ私ハ宜カラウト思フ、斯ウ云フヤウナ姑息ナ、帝國燃料株式

會社ノ前途ヲ思フコトハ結構デアルガ、併ナガラマダ其處迄行ッテ居ラナイノデス、一方需要ハドン／＼殖エマスルシ、我國ノ斯ウ云フ風ナ油ニ對シテ關稅ヲ課ケテ、其結果産業ノ伸展ヲ害スルト云フヤウナコトガアッテハイケナイト思ッテ、私ノ意見トシテハ斷ウ云フ風ナ姑息ナ案ハ止メタ方ガ宜カラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○賀屋國務大臣 數字的ニ御話ニナレバ、中々今計畫致シテ居ルモノデ今後ノ事業ヲスツカリ見透スト云フコトハ、是ハ到底出來ヌコトト思ヒマス、サウカト言ヒマシテ此事業ヲ等閑ニスルコトハ到底出來ナイノデアリマス、是ハ今ノ帝燃ガソレダケノモノガアレバ、ソレデ晏如トシテ居ルト云フ譯ニ參リマセヌ、是ハドウシテモ其方向ニ大イニト進マナケレバナリマセヌ、ソレガ研究ガ出來タラソレカラヤルト云フヤウナコトデハ、中々モノニナリマセヌ、是ハ試驗的ノ研究デハドウシテモ工業的ノ實際ノ施設ノ研究ニハナリマセヌ、少クトモアア云フモノヲ作りマシテ、ソレガ成立ツヤウニシテ行ク、ドシ／＼其方向へハ突進シナケレバナリマセヌ、國際貸借ノ上カラ申シマシテモ此巨額ノ輸入、日本ニ於テ輸入ノ大キイモノハ鐵デアリ、棉花デアリ、羊毛

デアリ礦油デアアルノデアリマス、之ヲヤハリ依然トシテ輸入ニ多ク俟ッテ行クト云フコトハ、諸般ノ情勢ガ到底許シマセヌノデ、全力ヲ盡シテ其方向ニ行カナケレバナリマセヌ、今仰セノ如ク一帝燃會社ノ將來ノ生産量、サウ云フモノノミチ當ニシテ居ルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマス、滿洲ニ於ケル撫順ノ御話モアリマシタ、生産量トシテハ御話ノヤウデセウ、併ナガラアレモ生産費等カラ致シマス、初メハ非常ニ損ヲシテ居リマシタ、今ハ外國輸入ノ油ノ値ヨリモ生産費ハ安クナッテ居ル、是ハ生産費ニ於ケル進歩デアリマス、サウ云フ風ニアレバ案外非常ニ進歩スル場面モアリマス、率直ニ言ヘバ總テノモノガ良ク行クトハ申上ゲラレマセヌガ、ドウシテモ其方向ニ進マザルヲ得スト云フ立場ニアリマス、他ノ關係ヲ考ヘマスレバ御話ノヤウナ御話モ御尤デアリマスケレドモ、此重要ナル油ニ付キマシテハドウシテモ其方ノ研究、其方ガ成立ツヤウニ考ヲ練ランケレバ、諸般ノ情勢洵ニ今ノ行キ方デハ困難スルト思ヒマス、一應考ヲ申上ゲテ置キマス

○西村委員長代理 笠井君、アナタノ順序ガアルノダカラ他ノ人ノ順序ニ……

○笠井委員 一言デ済ミマスカラ——鐵ノ御話モ出マシタガ、鐵トカ油トカ云フモノハ、我國ニ於テ産業ニ最モ必要缺クベカラザルモノデアルト思フ、ソレヲ鐵ノ方ハ無税ニシテ、油ノ方ダケハ税金ヲ掛ケルト云フコトハ矛盾デヤナイカト思フ、固ヨリ今ノ燃料國策ノ上ニ付テ、帝國燃料株式會社ト云フモノヲ作ルコトハ必要デアリマシタ、ソレダケ必要ガアルノデアレバ國家ガヤルコトハ當然ノコトデスカラ、是ハ一般的ニ考ヘテ見テ國家ノ前途、我國ノ産業ノ伸展、其他ノ色々ノ重要ナ點カラ考ヘテ見テ、此關稅引上ト云フヤウナコトハ、ドウデアラウカト云フコトヲ疑問ニスルモノデアリマス

○賀屋國務大臣 只今仰セニナリマシタ點デアリマスガ、是ハ油ノ方ハ上ゲナケレバ成立チマセヌガ、鐵ハ無税ニ致シマシテモ尙鐵業者ハ儲カツテ仕樣ガナイ程ノ狀態デアリマス、詰リ鐵ノ事業ハ保護ヲ要シナイ事情ニモアリマス、ヤハリ油ト違ヒマシテ御承知ノヤウナ大變ナ騰貴ヲ致シテ居リマスカラ、國防上産業上カラ考ヘマシテ無税ニシマス、サウシテ是ハ事業ノ狀態ニモ依ルコトナノデアリマシテ、實情ヲ見テアノ儘無税、併シ無税ハ今ノ此非常ナル

騰貴ガ何時マデ續クカ分リマセヌノデ、大體國內ノ供給力ノ増加ヲ計リマシテ、只今ノ所ハ十四年ノ六月マデノ、臨時ノ今ノ暴騰致シタ場合ノ處置ナンデアリマス

○笠井委員 此際私ノ質問ハ次ニ殘シマスコトハ先程地方税ニ付テノ御質問ガアリマシタガ、ソレニ對シテ只今內務省ノ地方局長ガ見エテ居リマス、御答辯ヲ願ヒマス
○笠井委員 其前ニ商工省當局カラマダ答辯ガアリマセヌガ、後デアアルノデスカ、問題ノ「ポイント」ハ商工省ニアルノデスカ……

○西村委員長代理 山田君ニ申上ゲマスガ、商工省ノ方ハ人造石油ノ方ノ委員會ヘ出テ居リマセヌカラ、此次ニ見エタ時ニ答辯スルヤウニ致シマス

○坂政府委員 私居リマセヌデシタノデ、御質問ノ要點ヲ取違ヘテ居ルト恐縮デアリマスガ、其點御含ミヲ願ッテ置キマス、「ガソリン」税ヲ創設スル際ニ、地方税ノ自動車税ヲ下ゲテ欲シイト云フコトハ、前議會ノ時ニモサウ云フ話ガアリマシテ、其際ニモ御答辯申上ゲタ記憶ガアリマスガ、「ガソリン」税ヲ國デ起サレル場合ニ、其税ト地方デ取ッテ居リマス各種ノ自動車税トハ、税ノ

性質モ相當違ヒマスシ、一面地方税中ノ自動車税ハ、地方税ノ相當大キナ財源ニナッテ居リマスノデ、之ヲ落スト致シマシテモ、

代リノ財源ガナイト一寸出來ナイノデアリマシテ、旁々地方税ノ自動車税ヲ落スト云フコトハ、困難デハナイカト考ヘマス、其際ニ交付金ト云フ御話モアリマシタガ、交付金ノ一部ハ、サウシタ所ノ雜種税ノ車ノ税ノ輕減ニ充テラレルト云フ當時カラ考デア

リマシテ、其車ノ税ノ中ニ自動車ガ入ルノデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ車税ト申シマシテモ、主トシテ農漁山村ノ負擔ヲ輕減スルト云フ考デ、自轉車ノ税デアルトカ、荷積小車ノ税デアルトカノ所

謂農民ノ負擔トナルモノハ落スケレドモ、自動車ト云フモノハ所謂車税ノ中ニ入ラナイ積リデアリマス、斯ウ云フコトモ御答辯申上、ゲタノデアリマス、其考ハ今日デモ變ッ

テ居リマセス、唯附帶決議ガアリ、サウ云フコチラノ強キ御希望モアリマスルシ、全體トシテ地方税中ノ自動車税ニ付テハ、中々研究シナケレバナラヌ部分ガ多イノデアリ

マスカラ、根本的ニ税制ノ改革ヲスル場合ニハ、一ツノ大キナ問題トシテ取扱ハレルコトトハ考ヘマスガ、差當リニ於テハ直ニ

キマシテ自動車税ヲ輕減スルト云フコトハ、相當困難ガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○西村委員長代理 ソレデハ次ニ松岡俊三君ニ質問ヲ許シマス——見エマセヌヤウデスカラ、山田君ノ先程ノ燃料ニ付テノ御質問ニ對シテ、商工省ノ燃料局長ガ今見エマシタカラ、御答辯ヲ願フコトニ致シマス

○竹内政府委員 一寸御尋ノ趣意ヲ或ハ取違ヘルカモ知レマセヌガ、其點御諒承ヲ願ヒマス、自動車營業改善委員會ノ其後ノ經過ニ付テノ御尋ガアツタノデアリマス、御説ノ如ク主管シテ居リマシタ局ノ機構ガ變リ

マシタ爲ニ甚ダ遅レテ居リマシテ、此點洵ニ遺憾ニ思ッテ居ル次第デアリマスガ、燃料局ニ於キマシテハ此問題ヲ非常ニ關心ヲ實ハ持ッテ居リマスルノデ、近ク、モウ本當ニ

日ナラズシテ前ノ自動車營業改善委員會ニ代ルベキモノガ出來ルダラウト思フノデアリマス、サウ致シマシタナラバ豫テ私共ノ考ヘテ居リマスル自動車營業ノ改善ノ具體策ヲ得マシテ、私共ノ關係ノアリマスル油

ノ問題ニ付キマシテモ、當業者ノ負擔輕減ニ資スルコトガ十分出來ルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ自動車營業ニ關スル商業組合ニ付テノ

政府助成ノ意思ハナイカト云フ御尋ガアツタト思ヒマスガ、此商業組合ニ對シマシテ、一般ノ商業組合ニ對シテ政府ガ執ッテ

居リマスル色々ナ助成策ガアリマスガ、ソレニ均霑シマスコトハ是ハ無論デアリマス、併シ燃料ニ特別ナ關係ヲ持ツ範圍ニ於

キマシテ、適切有效ナ助成ノ方法ヲ此委員會會案出スルコトガ出來マシタナラバ、サウ云フコトモヤリタイモノダト折角考ヘテ

居ルノデゴザイマス、他ノ點ニ付キマシテハ既ニ御答申上ゲテアルサウデゴザイマスカラ、一應是ダケ御答申上ゲマス

○山田委員 マダ保有義務ノ質問ニ付テ御答ガアリマセヌガ、ソレハ如何デスカ

○竹内政府委員 保有義務ニ付キマシテハ大體規定ニ從ッテ保有致シテ居リマス、大體デアリマス

〔西村委員長代理退席、委員長着席〕

○山田委員 此保有義務ノ問題ハ洵ニ大問題デアリマスカラ、此法律ヲ發布シタノ

デ、日本ノ總テノ者ガ其法律ニ從フベキ義務ガアルコトハ當然デアリマス、殊ニ國防

上極メテ重大ナ問題ニ付テ此法律ヲ發布シタノデ、保有義務ニ付テ其後如何ナル經過ヲ取ッテ居ルカト云フコトニ付テハ、是ハ關

稅定率改正案其他ノ重大問題ニ關聯シテ、洵ニ國家トシテ大問題アル、隨テ是ハ他

ノ質問條項トハ別箇ニ、慎重ニ吾々ハ考ヘネバナラヌ、日本ノ國民ガ日本ノ法律ニ從

院議ノ決定トマデハマダ行ッテ居リマセヌケレドモ、既ニ政民兩黨々議ヲ決定シ、委員會ニ於テ合法的ニ此修正案ハ成立致シマシテ、大體院議ノ存スル所ハ明瞭ニナッテ居リマスルニ拘ラズ、之ヲ再ビ原案通りニ提出サレマシタルコトハ、此議會ニ於テ特ニ政黨ト協力ヲシテ行クト云フコトヲ建前トセラレハ近衛内閣ト致シマシテハ、私ハ政治的ニ是ハ相當重大デアルト思フ、他ノ點ニ付キマシテハ、既ニ大體前議會ニ於テ之ヲ認メタ、此一點ニ付テハ認メナカッタ、認メナカッタモノヲ提出サレタノデアリマスカラ、是ハ正面衝突デアアル、隨テ私ハ此委員會ノ審議ハ、此問題ニ付テ極力之ヲ詮議スル必要ガアルト思ヒマス、是ハ議員ノ面目問題デアアル、委員長ハサウ云フ御考慮ノ下ニ、此問題ノ取扱ニ付テハ特ニ御考慮アラシコトヲ私ハ希望スル者デアリマス、而モ左程ノ政治的重大問題デアリナガラ、之ヲ提出サレル所ノ理由ハ極メテ薄弱デアアル——薄弱デハナイ是ハ理窟ニナッテ居ラス、大藏大臣ノ説明ニ依リマス、漁業用ノ礦油ノ免税ニ依ッテ、其免税額ノ全部ガ漁業者ノ利益ニナッテ居ルカドウカ疑ハシイト言ハレル、ソレハ甲乙ヲ助ケル爲ニ免税ヲシテ居ルノガ、甲乙ノミニ止ラズ丙丁ニモ利

益ガ及ンダカライカヌ、甲乙ヲ助ケルノミナラズ丙丁ニ利益ガ及ンダ、甲乙ヲ助ケルモノガ、甲乙ニ及バズシテ、丙丁ニ行ッテシマッタナラバ、是ハ止メルノガ當然デアアル、然ルニ甲乙ハ利益ヲ受ケテ、更ニソレガ丙丁ニ及ンダカライカヌト云フ理窟ガドウシテ立チマスカ、丙丁ニ及ブコトガイケナケレバ、丙丁ニ及ブコトヲ防止スルヤウナ取締ヲサレバ宜イ、サウ云フ一ツノ方法ヲ考ヘレバ良イ方法ガアル、誠意ヲ以テ御考ニナレバ其方法ハアル、方法ガアルニ拘ラズ、甲乙ヲ助ケル爲ニ免税ガ甲乙ニ止ラズ丙丁ニ及ンダガ爲ニ、此免税ヲ止メナケレバナラス——當然恩惠ヲ受クベクシテ受ケテ居ル甲乙ノ恩惠マデモ之ヲ取去ラナケレバナラスト云フ理窟ハ、私ハ論理上ノ問題トシテモ成立シナイト思フ、恐ラク私ノミナラズ、同僚委員各位ノ御諒承出來兼ネル問題デアルト思フデアリマス、是ハ私ノ誤解カモ知レマセヌガ、モウ一應筋ノ通ル説明ヲ聽キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 漁業用ノ礦油ノ免税ニ付キマシテハ、御説ノ如ク、甲ニ免税ヲシヨウト思ッタモノガ丙丁ト云フ免税スル理由ノナイモノニ行ッテ居リマスルノミナラズ、其肝腎ノ甲ト云フモノニモ却テ十分ニ行カナイノデヤナイカト思ヒマス、ソレ故ニ此免税ヲ止メマシテ、ソレヲ保護スルト申シマスルカ、助長スルト申シマスルカ、其甲ト云フモノニ對シマシテ、別途ノ發動機ノ改良、其他ニ力ヲ向ケマスルナラバ、漁業者ト云フモノハ獎勵ヲ受ケマスル途ハ違ヒマスルガ、其目的ハ同ジク漁業者其モノガ受ケルノデアリマスカラシテ、其方デ参リマシテ、隨テ丙丁ト云フ保護助長ヲシタイモノヨリ外ニ行クモノハソコデ防ギマスノデ、詰リ發動機ノ改良等ニ對シマスル助成ト云フ變ッタ方法デ参リタイ、斯ウ云フ趣旨ナノデゴサイマス

○西川委員 詰リ漁業用ノ礦油ノ免税ヨリモ、對策豫算ノ方ガ漁業者ニ取ッテヨリ以上利益デアアル、斯ウ云フ御答デアルト思ヒマス、ソコデ私ハ對策豫算ガ決シテ免税ヨリモ利益デナイト云フコトヲ、理由ヲ舉ゲテ意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、更ニモウ一點提案ノ理由ニ付テ御同致シマス、水産局長ノ説明ハ私ハ實ニ意外ニ感ジタノデアリマス、吾々ハ議會ニ於キマシテ、議員トシテノ見地ヨリ免税ハ持續スベキコトニ決定シタノデアアル、然ルニ水産局長ハ其後水産團體等ニ色々折衝ヲシテ、初メハ全面的ニ反對シテ居ッタガ、其反對論ヲ沈黙セシメルコトガ出來タ、デアアルカラ最早情勢ハ變ッタノデアアル、斯ウ云フ御見解ノヤウデアアル、併シアナタガ沈黙サセラレタ團體ト議會トハ別デアリマス、アナタガ沈黙サセラレタ團體ニ依ッテ議會ノ情勢ハ必ズシモ變化シナイノデアリマスカラ、此點ヲ御留意ニナラナケレバナラス、モウ一ツハ大體此水産業者、特ニ礦油ノ免税ヲ受ケマス礦油ヲ焚ク機船底曳網漁業ニ致シマシテモ、巾著網漁業ニ致シマシテモ、是ハ水産當局ノ監督權ノ前ニハ洵ニ弱イ業者デアリマス、非常ニ弱イ業者デアリマス、是ハ當局ガ沈黙セシメヨウト爲サイマスナラバ沈黙致シマス、若シ當局ノ意ニ逆ラッテ反抗致シマシタナラバ、其後ニ來ル所ノモノガ恐ロシイ、水産業者ハ水産局ノ或ル課内ニ行ッタ時ハ、虎ノ檻ノ中ニ入ッテ行クヤウナ感ジガスルト云フコトヲ申シテ居リマス、サウ云フ狀態ノ下ニ於テ當業者ガ沈黙致シマシタカラト云ウテ、免税ヲ甘受スルノデハナイ、此對策豫算ガ合理的の豫算デアルト云フコトヲ認メタノデハナイ、ソレハ泣寝入りヲ致シタニ過ギナイ、併シ吾々議員ハ泣寝入り致シマセヌ、吾々議員ハ當業者ガ泣寝入りシタカラト云ウテ沈黙致シマセヌ、其點水産局長ハ御留意願ッテ然ルベキデアリ

マス、併シ只今言ウタコトニ付テ敢テ答辯ハ求メマセヌ、私ガ答辯ヲ求メマスノハ、

曩ニ計畫致シタ對策豫算ニ依リマシテ、現在ノ燒玉「エンジン」ヲ「デイゼル・エンジン」ニ代ヘサセルト云フコトガ重大ナ問題

ノヤウデアリマス、現在軍需工業ガ非常ニ繁忙デアリマシテ、軍部ノ需要ノ非常ニ盛デアル時ニ、現在ノ工場能力ニ於テ果シテ

漁船用ノ「デイゼル・エンジン」ノ註文ニ應ズル能力ガ日本ノ工業界ニアルノデアリマ

スカ、現在日本ノ工業界デ何處ト何處トガ「デイゼル・エンジン」ヲ作製致シ、一年間ニ

ドレダケノ能力ヲ有ツテ居リマスカ、此時局多端ノ折柄、今後斯ウ云フ方面ノ工業ニ付

テ全力ヲ擧ゲテ、軍部ノ需要ニ應ジテ行カナケレバナラス此時局ノ下ニ於テ、水産當

局ノ對策豫算ニ依ツテ之ヲ必ズシナクテハナラヌト云フ程必要ニ迫ラレテ居ルカドウ

カ、ソレハシタニ越シタコトハアリマセヌガ、敢テ此幅湊スル時ニ、工場ノ幅湊スル

時ニ、更ニ對策豫算ヲ持ツテ來テ此註文ヲ繁多ナラシムルト云フ必要ガアルカドウ

カ、併シ其必要ガアルト致シマシテモ、ソレニ應ズル力ガ日本ノ工業界ニアルカドウ

カ、責任ヲ以テ御答辯ヲ願ヒタイ

○三宅政府委員 燒玉「エンジン」ヲ「デ

イゼル・エンジン」ニ代ヘル部分ハ、初年度ニ於テハ少イノデアリマス、今輕油ヲ使ツテ

居ル、詰リ重油以外ノ油ヲ使ツテ居ルモノガ、數ニ致シマシテ二万七八千艘アリマス、

丁度全體ノ發動機船ノ四十何「パーセント」ニ當ツテ居リマス、是等ノ重油機關ノ中デ燒

玉「エンジン」ノ方ニ代ヘルト云フモノモ相當其中ニ含マツテ居ルノデアリマス、「エ

ンジン」ヲ「デイゼル」ノ方デ段々ト馴ラシテ行カナケレバ、御説ノ通り今直チニ相當

數一年ニ二千モ三千モノ機關ヲ代ヘルト云フ譯ニハ參リマセヌ、併シ只今申シマシタ

通り「デイゼル」ニ代ヘルコトバカリ、或ハソレガ大部分デアルヤウニハ立テ、居ラヌ

ノデアリマスカラ、豫定シテ居リマス數量ノ機關ハ相當出來上ルト考ヘテ居リマス

○西川委員 只今ノ答辯ニ依ツテ又私ハ不可解ナ一點ヲ發見シタノデアリマス、燒玉「エンジン」ニ代ヘマシテ、是ハ今マデ揮發

油等ヲ使用シテ居ツタモノガ、重油ニ變ハル譯デアリマス、サウシテ重油ニ變ヘテ値段

ヲ高クスル、是ガ對策ニナリマスカ、今揮發油ノ値段ガ非常ニ高クナリマシタカラ、

之ヲ燒玉ニ代ヘテ、重油ヲ使用セシメルト云フコトハ、水産業者トシテハ洵ニ結構デアリマス、併シソレハ重油ノ方ヲ使ハセル

ノニ重油ヲ高クシテ待ツテ居ル、是ガ對策ニナリマスカ

○三宅政府委員 御答致シマス、此對策豫算ハ漁業用ノ燃油ガ此免稅ノ撤廢ニ依リマ

シテ高クナル、之ヲ或ル期間内ニ於テ安イ油、或ハ同ジ油デアリマシテモ量ヲ少クシ

ヨウト云フコトガ眼目デアアルノデアリマスカラ、同ジ重油ヲ使フ燒玉ヲ「デイゼル」

ニ變ヘルコトモ相當必要デアリマス同時ニ、今免稅ニ掛ツテ居リマセヌ重油以外ノ油

ヲ、重油ノ方ニ變ヘテ行クト云フコトモ、是ハ値段ガ半分位デ済ムノデアリマスカ

ラ、同ジヤウニ對策トシテ對策豫算ノ中ニ組ンデ居ル次第デアリマス

○西川委員 揮發油ヲ使ツテ居ル機關ヲ燒玉ニ代ヘルト云フコトハ、揮發油ノ値段ガ

非常ニ高クナツテ居ルカラ、ソレヲ救済シテヤルト云フ水産對策トシテハ結構デアリマ

ス、併シ只今ノ對策ハ重油ヲ使ツテ居ルモノガ免稅ヲ止メルカラ、重油ガ高クナツテ困

カラ、現在重油ヲ使ツテ居ルモノヲ救済スルノガ此對策ノ目的デナケレバナラス、然ル

ニ揮發油ヲ使ツテ居ルモノヲ重油ヲ使フ方ニ變ヘサセテ、其重油ノ値段ヲ高クシテ待ツ

テ居ル、是ハ對策ニナラヌノデアリマス、併シ是ハ問答致シマシテモ恐ラク水掛論ニ

ナリマセウカラ問答ハ止メテ置キマスガ、恐ラク此處ニ居ラレマス委員各位ハ、其點

十分ニ御諒承下サルト思ヒマス 次ニ私ガ御問致シタイノハ、此對策豫算

ノ施設ト致シマシテ、漁業組合水産會等ノ油ノ共同購入ヲ獎勵スルヤウナ施設ヲサレ

ル、斯ウ云フコトモ一ツアルヤウデアリマス、然ルニ此共同購入ノ施設コソハ免稅ノ

對策デハナクシテ、此免稅ヲシテ合理的ニ目的ヲ達成セシメル爲ノ施設デナケレバナ

ラス、詰リ今マデ免稅ヲシテ居リナガラ、ソレガ大藏大臣ノ説明サレマシタヤウナ不

都合ヲ生ジ來リマシタト云フコトハ、水産當局ガ水産業者ノ油ノ買入等ニ付テ、餘リ

ニ無關心デアラレル、ア、云フ筈棒ナ買ヒ方ヲシテ、ソレニ對シテ何等之ヲ合理的ニ

統制的ニ指導爲サラナイカラ、サウ云フコトニナル、併シ此對策ニ依リマシテ、水産

會、漁業組合等ガ共同購入スル、共同購入スルモノニ限ツテ免稅スルト云フコトニシ

テ、免稅ヲ持續ナサルナラバ、初メテ共同購入ニスレバ噸ニ付テ十圓安イノデ、安イ

油ガ買ヘルカラ皆モ共同購入スルヤウニナル、併シ今日ノ極メテ經濟知識ノ幼稚ナ漁業者ガ免稅ハ止メテシマツテ、唯ソレニ對シ

テ何ボカノ獎勵金ヲ貰フダケデハ、中々ソ

レハ出來マセヌ、サウ云フコトヲスルヨリ
カ、此免稅ヲ持續シテ外ノ方面ハ取締ツテ、
普通ノ油商カラノ直接購入ハ免稅シナイ、
併シ漁業組合ナリ、水産會ガ一ツノ施設ヲ
シテ、ソレデ共同購入スルナラバ、之ニ免
稅シテヤルノダ、斯ウ云フコトニ爲サルナ
ラバ、大藏大臣ノ説明サレマシタ不都合モ
ナクナリ、又共同購入ニ依ッテ、農村經濟ノ
改善ノ上ニモ役ニ立ッテ行ク、是ハ免稅ヲ持
續スルコトニ依ッテ初メテ可能ナル施設デ
アリマシテ、此對策ト致シマシテ動クベキ
モノデナイ、一般ノ水産行政トシテ結構ナ
施設デアリマス、併シ對策トシテ行フベキ
モノデハナイ、對策トシテハソレハ免稅ス
ルコトニ依ッテ初メテ可能デアルト思ヒマ
スガ、御所見如何

○三宅政府委員 御説ノ通り共同購入ト云
フヤウナ事柄ハ、何モ對策豫算ニナクシテ
モ行ッテ行カナケレバナラヌ性質ノモノデ
アラウト思フノデアリマスガ、大キイ所ノ
共同購入ト云フ途ガ、現在マデハ開カレテ
居ラナカッタノデアリマス、デアリマスカラ
免稅ヲ撤廢致シマスレバ、ソレニ比例シテ
若干ノ値上リガ出來マスレバ出來マスルダ
ケニ、層一層共同購入スルト云フ利益ヲ
早く得ナケレバナラヌ、其必要ガ前ヨリモ

一層強クナッテ來タヤウニ考ヘラレマスル
ノデ、是ガ中ニ取入レテアルノデアリマス
○西川委員 課稅ヲサレテ取ツタ金ヲ更ニ補
助金トシテヤル、斯ウ云フ手數ヲ致シマス
ヨリモ、此共同購入ヲ獎勵致シマスノニハ、
共同購入ヲスルモノニ對シテハ税金ヲ取ラ
ヌ、斯ウ云フ唯一ツノ法律上ノ處置ヲ以テ
其目的ヲ達スルコトガ極メテ有效デアリ、
適切デアルト吾々ハ信ジマス、此吾々ノ信
念ハ只今ノ當局ノ御説明ニ依ッテ、之ヲ變更
スルコトハ出來マセヌ

次ニ御同致シマス、政府ノ補助金ヲ受ケ
マシテ機關ノ改良ヲシマスル者ハ——併シ
其補助金ハ其機關ヲ改良スルノニ要スル費
用ノ中ノ極メテ僅少ナ一部デアリマス、隨
テ現在相當ノ資力ノ有ル者ハ、此改良ヲ致
シマシテ免稅ノ恩典ヲ受ケルコトガ出來ル
ノデアリマスケレドモ、資力ノ無イ所謂氣
息奄々タル漁業者ハ此恩典ヲ受ケルコトガ
出來ナイ、是ハ今度ノ課稅ニ依ッテ漸次沒落
過程ヲ急ガシメル、此結果ハ時局極メテ重
大ニシテ所謂生産力ノ擴充ヲ要シ、新ナル
水産施設ニ投ズル資本ヲ、他ノ軍部豫算ノ
方面ニ投ジテ行カナケレバナラヌト云フヤ
ウナ、現在ノ産業經濟界ノ狀況ニ於キマシ
テ、國民ノ主要ナル食料品ヲ供給致シマス

ル所ノ水産界ニ、非常ナ惡影響ヲ與ヘル、
是ハ對策豫算トシテノ效果ヲ發揮スルコト
ガ出來ヌノデアリマス、是等ニ對シマシテ
現在ノ産業經濟ノ情勢ニ於テ、此問題ガ漁
業界ニ與ヘル影響ニ對シテ大藏省當局、水
産局當局ハ樂觀シテ居ラレマスカ、確信ガ
アリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 色々御説ガアリマシタ
ガ、今ノ漁業ノ發動機關ノ改善ニ付テハ、
水産局長ヨリ必要ニ依リマシテハ、モット數
字的ニモ御説明申上グル必要ガアルカト思
ヒマスガ、當業者ノ負擔ハ相當ニ減リ得ル
ト考ヘテ居リマスノデ、現在政府ガ考ヘテ
居リマスル方策デモ、非常ニ御心配ニナル
ヤウナコトモナイト存ジテ居ルノデアリマ
ス

○西川委員 大藏大臣ノ御答辯ハ、非常ニ
時局重大デ、財政上非常ニ大キナ問題ヲ幾
多頭ニ詰メテ居ラレルノデアリマスカラ、
多少専門的ナ檢討ヲ要スル此問題ニ付テ、
只今ノヤウナ漠然タル答辯ヲサレルコト
モ、亦已ムヲ得ヌノデアリマス、私ハ大臣
ノ立場ニ同情致シマスカラ、大臣ニ是以上
追究致シマセヌ、併ナガラ茲ニ私ハ聲ヲ大
ニシテ叫ンデ置キタイコトハ、我國ニ於キ
マシテハ國民ハ勿論、政府當局ニ於キマシ

テモ學界ニ於キマシテモ、朝カラ晩マデ水
産物ヲ食ベテ居ルノデアリマス、魚ヲ食ベ
テ居ルノデアリマスガ、此魚ヲ獲ル所ノ水
産經濟、漁業經濟ガ如何ナル機構ノ下ニ於
テ營マレテ居ルカト云フ水産經濟、漁業經
濟ニ對スル認識ハ殆ドナイ、科學的ノ認識
ハ殆ドナイ、水産經濟學ト云フモノガ未ダ
ナイ、隨テ水産經濟ノ本質ニ付テ御理解ガ
ナイカラ、只今ノヤウナ御答辯ニナルノデ
アリマスガ、水産經濟ニ付テ少シ深ク考ヘ
テ見マスルト、サウ樂觀ハ出來ナイ、何故
カト申シマス、水産經濟ハ現在ノ經濟機
構ニ於ケル極メテ特殊ナル一部門デアリマ
シテ、是ハ非常ナル弱點ヲ包藏致シテ居ル
ノデアリマス、ソレハ其生産物ノ價格ヲ生
産者ガ如何ナル手段ヲ以テシテモ左右スル
コトガ出來ナイ、自分ノ獲ッテ來タ所ノモノ
ヲナンボデ買ウテ呉レルカハ是ハ全ク其買
フ者ノ自由デアリマシテ、之ヲ支配スルコ
トガ出來ナイノデアリマス、然ルニ工業生
産物ニ於キマシテハ自ラノ製品ノ價格ハ自
ラ左右致シマス、隨テ今日ニ於キマシテハ
工業生産物ノ價格ハ獨占價格ニナッテ居リ
マス——此點大藏大臣ハ御忙シウゴザイマ
セウガ、一寸聽イテ戴キタイ——工業生産
物ノ價格ハ獨占價格ニナッテ居リマス、農業

生産物モ生産者ガ餘程支配シニクイノデアリマスガ、農業生産物價格ハ近年ノ農産物價格政策ノオ蔭ニ依リマシテ、今日ノ農産物ノ價格ハ統制價格ニナツテ居リマス、工業生産物ノ價格ハ獨占價格デアリ、農産物ノ價格ハ統制價格デアリマス、此二ツノ獨占價格ト統制價格トノ間ニ在ッテ、全クノ成行キ——買手次第ノ價格デ賣ラナケレバナラスノガ水産物ノ價格デアリマス、デアリマスカラ是ガ我國ノ工業界ガ獨占化サレ又農産物ノ價格ガ統制化サレマシテ以來、農産物ト水産物ト工業生産物價格ノ比率ヲ線ニ現ハシテ見マス、非常ニ不利益ナ狀態ヲ現在ノ水産界ハ被ッテ居ルノデアリマス、是ニ於テ水産界ハドウ云フ影響ヲ受ケテ居ルカト言ヒマス、是ガ資本企業ノ場合ニ於キマシテハ、弱小企業ハ全部破滅致シマシテ、極端ニ合理的ノ經營ヲスル所謂産業合理化ヲ極端ニ行フ企業ノミガ、存立致シテ居ルノデアリマス、現ニ我國ニ於キマスル三大漁業會社ガ、如何ニ合理的ナ經營ヲ致シテ居ルカト云フコトハ、水産當局ハ御承知デアリマセウ、サウシテ資本企業デナイ所ノ所謂沿岸小漁業者ノ經營ハ、極端ナル自己搾取ニ依ッテ——經濟學上ノ言葉ヲ用ヒマスレバ極端ナル自己

搾取ニ依ッテ、自分ノ勞働ヲ自ラ搾取スルコトニ依ッテノミ存立致シテ居リマスカラ、沿岸小漁業者ノ生活ト云フモノハ、極端ナル貧窮經濟ニ陥ラザルヲ得ナイ、今日東京大阪ニハ集團的ノ貧民窟ガアリマスガ、其他ノ地方ニ於キマスル所ノ貧民窟ハ、是ハ水産部落デアリマス、漁業部落ノ生活デアリマス、漁業部落ノ生活ガ如何ニ悲惨ナモノデアルカト云フコトハ、足ヲ運ンデ見マシタナラバ、見ルニ忍ビナイモノガアル、漁業部落ニハ臭クテ穢クテ入レナイ、サウ云フ悲惨ナル狀態ニ漁業家ガ置カレテ居ルト云フコトハ、此資本企業ノ本質ガ、水産企業ニ於テハ極端ナル大企業ニ依ッテノミ存立シ、沿岸小漁業ニ於キマシテハ極端ナル自己搾取ニ依ッテノミ存立シ能フト云フ今日ノ水産經濟ノ持ッテ居ル一ツノ運命的ナ悲劇デアリマス、而モ其水産經濟ガ我が國民經濟ノ上ニ於テ占メル地位ハドウデアリマスカ、我が國土狹小ニシテ天然資源ノ少イ今日ニ於キマシテ、水産業ダケハ世界ノ公海ニ乗出シテ、今ハ南極ニ迄行ッテ捕鯨漁業ヲヤツテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク自分ノ生命ヲ犠牲ニシ、財産ヲ犠牲ニ致シマシテ、國民經濟ニ貢獻致シテ居リマスル水産經濟ハ、斯ノ如キ弱點ヲ持ッテ居ル、其本

質ヲ若シ認識致シマシタナラバ、此上ニ更ニ僅ニ重油ノ免税ニ依ッテ負擔ヲ免レテ居リマス所ニ、只今述べラレマシタルガ如クニ薄弱ナル理由ニ依ッテ、之ニ免税ヲ止メラレル、重油一噸ニ對シテ十圓餘リノ稅ヲ新ニ課ケラレル、斯ウ云フコトハ吾々議員ト致シマシテ、諒承スル譯ニ行カナイノデアリマス、之ニ付テ御答辯ガアリマスレバ伺ヒタイ、ナケレバ次ノ質問ニ移リマス

○三宅政府委員 沿岸漁業者、小漁業者ノ非常ナ困難ナ狀況ハ、只今御話ノ通りデアリマス、併ナガラ是ハ別途ノ方面ニ於キマシテ本年度御協賛ヲ願ッテ居リマスル所ノ、例ヘバ機船底曳網ノ整理轉換或ハ積極的ニ増殖ヲ致ス、是モ新ニ二十年度カラ別途豫算デ施行セラレテ居リマス、サウ云フモノヲ巧ニ配合致シマシテ、最モ苦シイ所ヲ先ニ其苦痛ヲ緩和致シタイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス

○西川委員 只今ノ御答辯モ御答辯ニナツテ居リマセヌ、大體私共モ農漁村ノ經濟更生ニ付キマシテハ、積年非常ナ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ漁業部落、水産關係ノ更生施設ト云フモノハ、方法ガナイノデアリマス、手が着カナイノデアリマス、實際今日ノ沿岸小漁業ノ收入ト云フモ

ノハ、一戸當リ一箇年間ニ二百圓乃至三百圓位デアリマシテ、ソレ位ノ收入デハドウシテモ經濟ガ立ッテ行クモノデハナイ、ソコデソレ等ノ者ハドウシテ生活スルカト申シマス、其中ノ一人カ二人カノ青壯年ハ此機船底曳網漁業トカ、巾着網漁業トカ、重油ヲ焚キマス所ノ船ニ乗込ンデ、其收入ニ依ッテ辛ウジテ生活ヲ維持シテ居ルノデアリマス、ソコデ機船底曳網トカ巾着網ト云フモノ、漁業ト、沿岸小漁業ト云フモノハ、官廳ノ統計ノ上デハ別ノモノデアリマスケレドモ、其經濟ハ本質的ニ見テ一ツモノデアリマス、沿岸漁業ダケデハ生活ガ出來ハシマセヌ、今日ノ時代ニ年ニ二百圓ヤ三百圓ノ收入デハ、生活出來ルモノデアリマセヌ、ソレデハ出來ナイカラ大キナ船ニ乗込ンデ生活ヲシテ居ル、然ルニ御承知ノ如ク漁業ノ企業ハ、勞働者ニ對シマシテハ歩合制度デアリマス、收益分配制度デアリマス、デアリマスカラ其漁業ノ油ノ免税ガ撤廢サレマシテ、費用ガ餘計掛リマスナラバ、直チニ其勞働者ノ收入ハ少クナルノデアリマス、是ハドウ位ノ影響ヲ持ツカト申シマス、九十五噸ノ二艘曳機船底曳網漁業ニ於キマシテ、最近ニ於ケル重油ノ値上リニ因ッテ八千八百七十五圓ノ影響ヲ、一航海ニ

於テ受ケテ居ルノデアリマス、今度ノ免税
廢止ニ因ッテ此上ニ更ニ四千圓ノ負擔ガ加
ハルノデアリマス、其上ニ潤滑油等ノ値上
リニ因リマシテ千五百圓、合計一万四千三
百七十五圓、此關稅ノ免除ガ出來ナクナッ
來マス、ソレダケノ負擔ガ一航海ニ於テ
加ッテ來ル、サウスルト此船ハ昨年ノ前期ノ
航海ニ於キマシテハ、八千二百五十圓ノ歩
合ヲ船員ニヤッテ居リマシタノガ、ソレガ全

影響ヲ受ケル、是ハ極メテ重大ナコトデア
リマス、隨テ是等ノ免税ヲ廢止スルト云フ
コトハ、餘程他ノ方面ニ重大ナル理由ガナ
カッタナラバ、之ヲ容易ニ行フベキモノヂヤ
ナイ、私ハ農林省當局ガ此邊ニ對シマシテ、
前ニ述ベラレマシタガ如キ極メテ薄弱ナル
根據ニ依ッテ贊成サレタコトヲ洵ニ遺憾ニ
思フ、併シ恐ラク理由ハ他ニモアッタデア
リマセウ

長ノ上カラ、甚ダ遺憾ガ多イノデアリマス、
サウ云フ實情ノ仰セモアリマシテ、官憲ノ
取締ガ正確ニ行ケバ巧ク行クト云フノデア
リマスルガ、是非常ノ手數ト費用ヲ掛ケ
マスレバドウカ知リマセヌガ、ドウモ農林
當局ノ從來カラノ實際ノ狀況ヲ聞キマス
ト、巧ク參ラナイ、サウ云フ意味カラ行キマ
シテ、燃料政策トノ關係ヲ持ッテ參ル、斯ウ
云フ次第デアリマス

ヘラレルナラバ、其押ヘラレタ範圍内ニ於
テ免税サレタラ、其取締ガ適正ニ行ケル道
理デアアリマセヌカ、如何デアリマスカ
○尾關政府委員 取締ノ問題ニ關シマスル
ノデ、從來ドウ云フヤウニ此漁業用免税礦
油ガ用ヒラレテ居ッタカト云フコトヲ少シ
ク申上ゲマシテ、サウシテ今仰シヤッタヤ
ウナ方法デモ、中々取締ガ出來ナイト云フ
コトヲ申上ゲタイト存ジマス、此免税礦油
ハ御承知ノ如ク大正九年ニ工業用、或ハ鑛
業用即チ「マイニング」或ハ「インダストリ

然ヤレナクナル、サウスルト船員ノ經濟ト
云フモノモ、半箇年位遠ク海ニ出テ生活シ
テ居ッテ、サウシテ港ニ戻ッテ來ル時ニ五十
圓カ三十圓カノ金ヲヤッテ持ッテ戻ッテ來ル
ノデアリマスガ、其三十圓、五十圓ノ金ヲ
持ッテ戻ッタナラバ、ソレデ頼母子ノ掛ヲシ
ヨウ、税金ヲ拂ハウト思ッテ待ッテ居ル家族
ニハ、ソレヲ持ッテ歸ラナイ、持ッテ歸ラナ
イドコロカ、國元カラ送金シナケレバ戻レ

マシタノハ、更ニ他ノ例ヲ申シマスナ
ラバ、六十噸二艘曳機船底曳網漁業ニ於キ
マシテハ、是等ノ影響ガ、免税廢止ニ依ッ
テ三千圓、重油ノ値上リニ依ッテ五千九百圓ノ
影響ヲ受ケテ居ル、更ニ十七噸ノ巾着網漁
業ニ於キマシテハ、免税ノ廢止ニ依ッテ千二
百圓、重油ノ値上リニ依ッテ二千四百圓ノ

之ニ依ッテ市價ノ昂上ゲヲ圖ッテ、人造燃油
ノ生産ヲ獎勵サレル、是ガ目的デアアルダ
ウト思フノデアリマスガ、左様デアリマス
カ、漁業用ノ礦油ヲ免税サレルト云フコト
モ、ヤハリソレガ一ツノ目的ニナッテ居ル
ノデアリマスカ
○賀屋國務大臣 漁業用ノ礦油ノ免税ニ付
キマシテハ、其免税ガ豫期スベキ範圍ニ正
確ニ行ハレマスルナラバ、其範圍ノミニ止
マリマスルナラバ、是ハ特殊ノ場合デモア
リマスルカラ、必シモ一般ノ燃料政策トノ
關係ハ全然同一デアアリマセヌガ、先程御
示シニナリマシタヤウニ、技術上ニ於テ甲
ニ行クベキモノガ其外ニモ行クト云フヤウ
ニナリマスルト、ドウモ是ハ國內産業ノ助

燃料ノ爲ニ此免税制度ガ設ケラレタノデア
リマスガ、其時ニ漁業用ノ燃料礦油モ免税ス
ルコトニ相成リマシタ、併シ何分免税礦油
ト申シマスルノハ、是ガ免税礦油デアルト
云フコトヲ、ハッキリ決メマシテ、其免税礦
油ヲ免税資格者ガ使用シタ時ニ、免税條件
ガ完成スルコトニ相成リマスルノデ、相當
大キナ「マイニング」トカ「インダストリー」
トカ云フ方面ニ於テハ、免税礦油ト云フモ
ノヲ、チャント決メテ使ヒマスルノデ、特
ニ反則行爲ガ多イト云フ程ノモノデハゴザ
イマセヌガ、漁業者ノ方ニ於テハドレガ免
稅セラレタ礦油デアアルカト云フコトヲハッ

キリ分ケテ、ソレヲ別ニ貯藏シテ、使用スルト云フヤウナ實情ニハ相成ッテ居リマセヌノデ、現在ニ於キマシテハ自分ノ免稅礦油ガ何處ニアルカサヘモ、全然分ラナイ狀態デアリマス、サウシテ今ノ實狀カラ見マスト、漁業者ハ其石油ノ輸入業者ニ白紙ノ委任狀ヲ渡シマシテ、自分ノ免稅礦油ガドレダケアルカト云フコトサヘモ知ラナイ方ガ隨分澤山アリマス、ソレカラ又其免稅礦油ノ手續ヲ致シマスル印形ヲモ漁業者ガ石油業者ニ勝手ニ作ラセマシテ、勝手ニ使用サセ免稅手續ヲサシテ居ルト云フヤウニ相成ッテ居リマス、ソレハ委任狀ニチヤント此等全部ヲ委任スル旨ヲ印刷シテ、石油業者ガ漁業者ニ渡シ漁業者ハ之ニ印ヲ捺シテ油業者ニ委任シテ居ルト云フヤウナ所ガ、相當アルノデゴザイマス、サウ云フヤウニ手續ハ漁業者ガヤラズニ、勝手ニ石油業者ガヤッテ居リマスル關係上、自分ノ用ユル免稅礦油ガ全然分ラナイト同時ニ、又其漁船ニ於テモ、同じ漁船ヲ甲ノ縣デ手續ヲシ、又乙ノ縣デ手續スルト云フコトモアッテ、結局二三重ノ手續ヲシテ、免稅礦油ヲ使用スルヤウニ相成ッテ居ッタモノモアリマス、又漁船ガ現在存シテ居ラナイモノモ、存シテ居ルガ如クニシテ、石油業者ガ勝手ニ手

續ヲシテ、規則ヲ犯シテ居ルモノモアッタノデゴザイマス、サウ云フヤウニ致シマシテ、結局ソレハドウナルカト申シマス、漁業者ハ自分ノ免稅礦油ガドレダケデアルカト云フコトサヘモ分ラナイノデ、油業者ハソレヲ勝手ニ誰ニデモ賣ッテ居リマス、ツマリ税金ヲ納メテ居ル油モ、税金ヲ納メル必要ノナイ此漁業者ノ油モ、之ヲ一緒ニ致シマシテ、同じ價格デ賣ッテ居ル、斯ウ云フ實情ナノデゴザイマス、サウ云フ實情デゴザイマシテ、ドノ礦油ガ免稅礦油デアルカ、免稅礦油デナイカト云フコトハ、全然分ラナイ實情ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此反則ニハ吾々取締ニ當ッテ居ル者ガ長イ間苦ミマシテ、何トカシテ斯ウ云フ反則ノナイヤウニ致シタイト思ヒマシテ、商工省、農林省、大藏省、此三省ガ一緒ニナリマシテ、昭和六年以來色々研究致シマシタケレドモ、良イ方法ガナイノデアリマス、ソレデ數年以前カラ水産會等ニ於テ之ヲ取締メテ手續ヲシタナラバ、サウ云フ反則等モ少クナルカト思ヒマシテ、便宜ノ方法ヲ認メマシタケレドモ、依然トシテ同じ狀態ヲ續ケテ居ルモノモアルト云フ有様ナノデゴザイマス、隨テ其後色々研究シマシタケレドモ、反則ヲ絶滅スル方法ガナイ、ダカラソレヨ

リモ此免稅礦油制度ヲ廢シテ、其代案トシテ二百万圓ノ豫算ヲ計上シ、他ノ方法ニヨリ直接漁業者ヲ利益スルノガ良イト云フコトニナッタノデアルト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ、漁業者ニ對スル助成金ヲ豫算ニ計上シテ漁業者ノ利益ニ資スルト云フコトニシタ譯デアリマス、要スルニ前申上マシタ如ク水産會等ニ於テ漁業者ノ免稅礦油ノ手續ヲ取締メテ取扱フト云フコトハ、現ニ今ヤッテ居ル所モゴザイマスケレドモ、水産會ハ更ニ手續ヲ油業者ニ委任シテ居リマシテ、自分デハ中々手續ヲ取締ハ出來難イ事情ナノデゴザイマス、即チ水産會ガ委任ヲ受ケテ手續ヲシテ居ル免稅油ノ中ニ於テモ、依然トシテ同じヤウナ反則ガ起ッテ居ルモノモアル次第デアリマス

○西川委員 政府委員ヨリ過去ノ巧行カナカッタ事情ヲ御説明ニナッタノデアリマスガ、併シソレハ將來ノ問題ニ對スル答辯ニナラヌト思フ、將來ノ問題ト致シマシテハ水産會ノ方デ、モウ少シシカカリ爲サッテ、漁業組合ナリ水産會デ共同購入スルモノニ限ッテ免除スルヤウニ命令ニ定メル、命令ヲ作ル權利ハ全部當局ニ委任スルノデアリマスカラ、ソレハ制度ヲ以テ取締ガ出來ナイ譯ハナイト思フ、若シソレデモ出來スト云フコトニナリマス、現在ノ我國ノ此財政經濟政策ノ下ニ於テ、私ハ公債ノ消化力ガドウデアルトカ、通貨ノ膨脹ガドウデアルトカ云フヤウナ議論ハ致シマセヌガ、唯物資ノ需給ガ均衡ヲ失シタナラバ、是ハ大變デアリマス、其物資ノ需給ヲ調節致シマスルノニハ、凡ソ需要供給ノ關係ヲ明白ニ把握出來テ居ナクテハナラス、而モ凡ソ漁船ト云フモノハ何艘居ッテ、ソレガ一航海ニドノ位ノ油ヲ要スルカ、之ヲ調査スルコト位ハ、私ハ物資ノ消費ヲ調査スル中デハ極メテ容易ナル、調査ノシ易イ一部門デアルト考ヘル、其物資ノ消費調査ノ、ミヤスイ一部門ニ於テ、而モソレガ税金ヲ免除シテヤルカヤラナイカト云フ鍵ヲ握ッテ居ッテ其調査スラモ精確ニ行カズ、一府縣ニ於ケル水産業者ノ使フ油ノ量サヘモ之ヲ掴ムコトガ出來ナイヤウナ無能ナ當局デアリマシタナラバ、物資ノ需給ノ調節ヲドウシテナサイマス、賀屋大藏大臣ノ財政政策ハ、前内閣ニ對シマシテ一ツノ卓見デアルト思フ、大ナル劃期的進歩デアルト私ハ衷心思フ心細イ御話ヲ聞ク、一水産業者ガ一年間ニ使用スル礦油、其量サヘモ抑ヘルコトガ出來ナイト云フヤウナ心細イコトヲ當局カ

ラ言ハレマシタナラバ、私共ハ此問題ヲ離レテ、賀屋財政ノ根本ニ付テ吾々ハ大ナル不安ヲ懷カザルヲ得ナイ、ソシテハ私ハアリ得ナイと思フ、賢明ナル大藏大臣ノ下ニ於テ、其位ヲ調査ガ出來ナイ筈ハ私ハナイト思フ、大藏大臣ノ御答辯ヲ要求致シマス

○賀屋國務大臣 少シク御話ガ違フト思ヒマス、サウデハナイノデス、今言ッテ居ルコトハ、水産會ガ折角集メテモ、其油ヲ商人ニ廻シテ漁業者ニ行カヌ、他ノ人ニ賣ッタリナニカシテ居ル、油ノ使用量ガ分ラヌト云フコトデハナイ、漁業者ガ、自分ガ白紙委任狀ヲ出シテシマツテ、ソレデ一體何石、何「ガロン」自分ノ所ニ來ルノカサッパリ知ラナイデ居ッテ、水産業者ガ其利益ヲ得ナイデ、幾分ハ他ノ所ノ人ヘ行ッテ居ルト云フ斯ウ云フ状態ナノデスカラ、水産業者ハソコデ幾ラ油ガ要ルカト云フコトハ、是ハ御話ノヤウニ分リマセウガ、今ノ水産會ガヤッテ居ル事、其他ノ事ガ少シモ其配給ガ豫想通りニ行カナイカラ、政府ノ方デ免税シテ保護シタイト思フ漁業者ノ一向保護ニナラヌ、白紙委任狀見タイナモノヲ出シテ、勝手ニヤルモノデスカラ、油屋ハソレヲ免税シテ、免税品ト一緒ニ平均シタ値段デ儲ケテ居ル、

○山道委員長 是ハ私共物資ノ需給調整ト云フモノハ、サウ各個別ニドノ人ニドウ行クト云フコトハ逆モ出來マセヌ、國家全體トシテ國內生産デヤリ得ルモノナラバ、何モ心配ハ要ラナイノデアリマスガ、輸入ニ關係スル事業ニ付テ大體、是ハ目安ヲ立ッテ行クト云フコトデアリ、ソレガ困難ナコトデアリマス、併シソレニ行ク外ナイノデアリマスカラ、今ノハドウモサウデハナイノデ、完全ナ所ヘ行カナイ、其間ノ手續ガ巧ク行カナイ、斯ウ云フ問題デアリマス、先程カラ御所見ヲ伺ッテ居リマシテモ、其邊ガ完全ニ行ケバ私共モ宜イヤウニ思フノデアリマス、今政府委員ノ申上ゲマシタヤウニ、自分ガ何「ガロン」使フカト云フ、ソレハ水産會等ニ相當ナ技術者モ居リマセウカラ、スッカリ分リマセウガ、肝腎ノ漁業者ハ白紙委任狀ヲ出ス、一方ノ白紙委任狀ヲ受取ッタ者ハ、勝手ニソレニ依ッテ賣ル、賣ラレテモ片方ノ委任狀ヲ出シタ方ハ、サッパリ分ラヌ、數量ハ分リマセウケレドモドウナッタカ少シモ知ラヌ、サウ云フ狀況デアリマス

○西川委員 是ハ重大ナ問題デアリマス

ガ、モウ打切りマスカラ……

○山道委員長 成ベク簡單ニ願ヒマス

○西川委員 大藏大臣ノ御説明能ク分リマシタ、只今ノ大藏大臣ノ物資ノ需給ニ關スル御辯明ハ、私ハ非常ニ不安ニ思ヒマス、是ハ又次ノ機會ニ伺フトシテ、併シ只今ノ大藏大臣ノ言明ガ事實ト致シマシタナラバ、是ハ農林省ノ水産行政ト致シマシテ、由々シキコトデアルト思ヒマス、苟モ水産會、漁業組合ガ共同購入ヲスル、漁業者ニ使ハシメル漁業用ノ礦油デアルト云フモノヲ、白紙委任狀ヲ取ッテ、漁業組合ナリ水産會ノ首腦者ガ免税ヲ受ケテ居ル、ソレヲ取ッテ他ノ商人ニ賣ッテ居ルト云フ、是ハ一ツノ詐欺ヲスルコトニナル、斯ウ云フコトガ農林省ノ政府監督ノ下ニアル所ノ水産會トカ、漁業組合ニ行ハレルト云フコトヲ大藏大臣ガ委員會ニ於テ言明ナサル、ソレハ私由々シキ問題デヤナイカト思フ、サウデヤアリマセヌカ、漁業組合ナリ水産會ノ首腦者ハ、漁業用ノ礦油デアルト言ウテ免税ヲ受ケテ、サウシテ買取ッタモノヲ他ノ商人ニ賣ッテ、不當ノ利得ヲ受ケルト云フヤウナコトガ事實ニ行ハレテ居ルト、大藏大臣ガ此委員會ニ於テ言明ナサル、是デ宜シイノデアリマス

○尾關政府委員 是ハ大藏省ノ方デモ取

締ッテ居リマスノデ私カラ申上ゲマス、先刻申上ゲマシタヤウニ一般ニ反則ガ澤山アリマスノデ、漁業組合或ハ水産會ト申シマスカ、ソレ等漁業組合等ノ團體ガ委任ヲ受ケテ、一纏ニシテ免税手續ヲシテ之ニ商工大臣ガ免税ノ指令ヲ與ヘル、サウシテ税關モ亦之ニ對シ免税輸入ヲ認メテ居ルノデアリマス、斯様ナ例ハ澤山ゴザイマス、然ルニ其油ハドウナルカト申シマスルト、今大藏大臣ガ申上ゲマシタヤウニ、必ズシモ漁業者ノミニ全部ガ行ッテ居ルノデハアリマセヌ、誰ニ行ッテ居ルカハッキリ分ラナイ部分モアルノデアリマシテ(笑聲)之ヲ反則ト申サレルナラバ、サウ云フコトハ到處ニアリマス、現在係争問題ト相成ッテ居ルモノモゴザイマス、ソレカラ又中ニハ水産會等ニ於テ、其手續ヲ更ニ油業者ニ頼ム、油業者ハドウデアルカト申シマス、水産會ノ依頼ニ依リ輸入シタ礦油ヲ免税資格者ニ賣ルヨリモ、更ニ免税資格者以外ノ人ニ、ヨリ以上安ク賣ッテ居ル者サヘアリマス、ソレデ漁業者中デ、自己ノ免税資格ニ於テ免税輸入シタ爲ニ安價トナッタ礦油ヲ免税資格ノナイ他ノ者ニ、自己ノ買値ヨリモ却テ安ク賣ッタノデアルカラ、自己ノ買ッタ部分ニ

對シテモ其値段迄下ゲテ貰ヒタイト云フノ
デ、訴訟ニナツテ居ッタ事件サヘモゴザイマ
ス、斯ウ云フヤウニ實際ノ問題ト致シマシ
テ、水産會等ニ手續ヲ委任シテ、水産會等
ガソレヲ引受ケテヤッタモノニ於キマシテ
モ、尙ホ大藏大臣ガ申サレマシタヤウニ、
當然行クベキ漁業者ニ行カズシテ、他ノ方
面ニ行ッテ居ルモノヤ、又ハ自己ノ名ニ於テ
免稅輸入シタ鑛油ヲ無資格者ヨリモ高ク
買ッテ居ル者モ隨分ゴザイマス

○山道委員長 一寸申上ゲマス、既ニ本會
議ノ方モアリマスシ、晝食ノ用意モアリマ
セウシ、大分間ヘテ居リマスカラ、午後ニ
ハ極メテ簡單ニト云フコトデ、是デ休憩致
シマス、午後ハ二時カラ開會致シマス、ド
ウゾ左様御承知ヲ願ヒマス、暫時休憩致シ
マス

午後零時三十分休憩

午後二時十九分開議

○山道委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ
開會致シマス、大藏政務次官カラ發言ヲ求
メテ居ラレマス——太田政務次官

○太田政府委員 午前中カラ問題ニナツテ
居リマス鑛油ノ關稅デゴザイマスガ、此前
ノ議會ニ於テシマヒ際ニ色々問題ガ起リ

マシテ、皆様方御心痛ニナリ、且今日ノ問題
ノ一番ノ重點ニナツタ譯デゴザイマスガ、此
點ニ付キマシテ午前カラノ問答ノ進行工合
ヲ見マス、ドウモ政府側ニマダ御説明申
上ゲル所ガ足りナイヤウニ存ジ上ゲマス、
率直ニ申シテサウ感ズルノデゴザイマス

ガ、問題ノ中點ハ燃料政策カラ出テ居ルノ
デゴザイマシテ、其重要性ニ付キマシテ商
工當局カラ御説明ヲ願ヒ、且ツ海軍ノ御當
局カラモ重油使用ノ重大ナル地位ニ居ラレ
マスノデ御説明申上ゲ、更ニ漁油關係ニ付
キマシテハ、色々之ガ利益ヲ受ケル階級ト
申シマス、企業者ト申シマス、種類モ
ゴザイマス、西川サンノ御心配ニナリ御質
問ニナツテ居ル問題モ、主トシテ中小以下ノ
漁業者ノ利益關係ト存上ゲマス、ソレガド
ウ云フ事情ニアルカト云フコトモ、係ノ者
カラ御説明申上ゲマシテ、此重油、此鑛油ガ
燃料政策上如何ニ重要ノ地位ニ在ルカト云
フコト、海軍關係ガドウアルカト云フコ
ト、漁業者ノ關係ガドウアルカト云フコ
トヲ御説明申上ゲマシテ、御審議ヲ進メテ
戴キタイト存ズルノデアリマス、ドウゾ宜
シク御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス

○山道委員長 西川君ニ一寸申上ゲマス
ガ、午後ノ質問ノ發言ノ順序ハ、アナタノ

順序ニナツテ居リマス、今太田政務次官ノ御
話ニ付テハ御尤モト存ジマス、折角燃料局
長官ナリ、海軍當局モ御出席ノヤウデアリ
マスカラ、一應ソレヲ御聽キ下スツテ、アナ
タノ御質問ヲ續ケテ戴ケバ、大變要領ヲ得
タコトニナラウト思ヒマスカラ、ドウカサ
ウ御承知ヲ願ヒマス

○竹内政府委員 成ベク要點ノミヲ御説明
申上ゲマス、燃料國策ニ對スル政府ノ考ヘ
方ヲ御聽取願ヒタイト思ヒマス、燃料特ニ
液體燃料ノ需要ガ年々著シク増加致シテ參
リマシテ、昨年ニ於キマシテハ推定數量ガ
四百七八十萬軒ニ上ツテ居リマス、之ガ供
給ヲ我が國產ヲ以テ充シテ居リマスノハ僅
カ九%位デアリマス、一割ニ足りナイノデ
ゴザイマス、御承知ノ如ク液體燃料ハ産業
上非常ニ重要ナモノデアリマスガ、特ニ今
日ノ國防ト云フ見地カラ考ヘマスト云フ
ト、此液體燃料ハ特ニ重油ト揮發油デアリ
マスガ、他ノ兵器彈藥ニモ劣ラナイ非常ニ
大切ナ地位ヲ今日ハ占メテ來テ居リマスコ
トハ、茲ニ縷々申上ゲル迄モナイコト存ジ
マス、ソレガ今申上ゲタヤウニ國產ヲ以テ
充シ得ル數字ハ、僅ニ九%内外デアルト云
フコトハ、今日ノ國際情勢カラ考ヘテ見マ
シテ、洵ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアルノデ

アリマス、多年是ガ供給ヲ増加スルコトニ
付キマシテハ、關係當局ニ於テ色々調査研
究ヲシテ參ッタデアリマス、最近ニ至リマ
シテ、漸ク燃料國策ト云フモノノ樹立ヲ見
マシテ、色々施設ノ擴充モ致スコトニナツ
タノデアリマス、之ヲ例ヲ申上ゲマスルナ
ラバ、内外資源ノ開發ヲ助成スルコトニモナ
リマシタ、是モ從來ハ十分ナ力ヲ盡シタト
ハ言ヘナイノデアリマスガ、昭和十二年度
ノ豫算ニ於キマシテハ相當ナ施設ヲ爲シ得
ルヤウニナツタノデアリマス、之ニ依リマシ
テ内外石油資源ノ開發ヲ助成シ、又各種ノ
燃料ノ綜合利用ノ促進ヲ圖リマス、或
ハ消費ノ合理化ヲ圖リマス、ト云フヤウナ
コトガ極メテ重要ナ事項デアリマス、從來
石油業法ノ施行デアルトカ、或ハ油田地質
調査、石油試掘獎勵、北樺太油田開發助成、
石炭低溫乾溜事業ノ助成、瓦斯發生爐設置
助成、液體燃料等ニ關スル諸研究、或ハ揮
發油「アルコール」ノ混用法ノ制定、近ク
ハ燃料局ノ設置ト云フヤウナ色々方面ニ
施設ヲ擴充シツ、今日マデ參ッテ居ルノデ
アリマス、先程御質問ノアリマシタ貯油ノ
義務ヲ法令ヲ以テ定メマシタノモ、結局ハ
此燃料自給ノ趨勢ニ鑑ミマシテノ對策ナノ
デアリマス、斯様ナ譯デアリマスルガ、現

在ノ我國ニ於ケル天然資源ノ開發ト云フコトニモ是マデ力ヲ盡シマシタガ、今後モ更ニ一層之ヲ徹底ヲシマシテ適切ナ方法ガアリマスルナラバ、速ニ此方面ニモ力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ何分ニモ我國ノ天然資源ト云フモノガ從來ノ實績カラ見マスルト、乏シイト思ハレルノデアリマシテ、此開發ニノミ依リマシテ燃料政策ヲ立テマスルコトハ、到底其望ヲ達シ難イノデアリマスノデ、最近獨逸其他ノ國ニ於テ行ハレテ居リマス人造石油ノ製造ヲ獎勵スルト云フ一ツノ政策ヲ樹立シタ譯デアリマス、幸ヒ我國ニ於キマシテハ内外地滿洲國ヲ通ジマシテ、相當ナル人造石油ノ原料デアリマス石炭ノ產額ガアリマスノデ、此惠マレテ居ル資源ヲ利用致シマシテ、天然石油ニ代ハル人造石油ヲ國內ニ於テ製造スルト云フ方策ヲ、茲ニ立テヨウト云フノデアリマス、併ナガラ此人造石油製造事業ハ、マダ極メテ新規ノ企業デアリマシテ、其生産費等ノ關係カラシマシテ、天然石油ニハ中々及バナイト思ハレルノデアリマス、此差額ヲ補填シマセヌケレバ、人造石油製造業ガ急速ニハ確立シ得ナイノデアリマス、隨ヒマシテ此重要ノ國策ヲ遂行シマス爲ニハ、色々ノ施設ヲ計畫致シテ居リマス、別途提案サレテ居リマス帝國燃料興業株式會社法案、人造石油製造事業法案、此二ツノ法案ガ即チ此人造石油製造業ノ國內ニ於ケル確立ヲ圖ラントスルモノナノデゴザイマス、只今モ申上ゲマシタ如クニ人造石油製造業ガ、極メテ新規ノ、而モ實ニ大切ナモノデアリマス云フ關係カラ、天然石油トノ競争ト云フコトニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ關係各省ノ間デ隨分案ヲ練ツタノデアリマスガ、之ニ對シマシテ天然石油ノ價格ヲ引上ゲマシテ、サウシテ人造石油ガ是ト競争シ得ルト云フ風ニ致シマスモノ一ツノ方法デアリマス、又政府ガ補助金ヲ交付致シマシテ此差額ヲ補填スルト云フモノ、一ツノ方法デゴザイマス、今回提案ヲ致シテ居リマス人造石油ノ獎勵計畫ニ於キマシテハ、此兩方ノ施設ヲ併セ取ルコトト致シマシテ、サウシテ一面ニ於キマシテ國庫ノ負擔、又一面ニ於キマシテ消費者ノ負擔ト、兩方ヲ併セ勘考致シマシタノガ今日ノ提案ノ内容ニナツテ居ルノデアリマス、即チ御承知ノ如ク我國ニ於キマシテ天然石油各種ノ製品ガ各種ノ産業ニ於キマシテ需要セラレテ居リマスルノデ、是等ノ方面ニ對スル負擔ト云フコトハ、政府ニ於キマシテモ十分考ヘタノデアリマスルケ

レドモ、只今申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ依リマシテ、此今日ノ國際情勢ニ鑑ミマシテ、急速ニ確立ヲ圖ラウト致シマスルト、一面政府ノ助成金ト云フモノト並ビマシテ、石油市價ノ昂騰ヲ見マスルコトハ、是ハ眞ニ已ムヲ得ナイコトデアルト思フノデアリマス、唯眞ニ已ムヲ得ナイコトデアリマスルガ、此消費者ニ急激ナ負擔ノ過重ヲ來シマシテモ、或ハ又需要シテ居リマス當該産業ノ均霑ノ上カラ申シマシテモ、支障ガアリマスルノデ、之ニ對シマシテハ政府ニ於キマシテハ、出來ルダケノ負擔緩和ノ方策ヲ講ズルト云フ意味ヲ以チマシテ、各省關係當局ニ於キマシテハ、私ガ只今申上ゲマシタヤウナ施設ヲ以テ、此人造石油製造ト云フ今日マデ各種ノ政策ガアリマシタ中デ、産業上ノ施設トシマシテハ可ナリ重要ナ施設ヲモ爲サントシテ居ルノデアリマス、尙ホ御尋ニ依リマシテ御答申上ゲマスルガ、要スルニ今日ノ我國ノ産業ノ狀態、國際情勢ト云フヤウナコトカラ考ヘマシテ、又國防上カラモ考ヘマシテ一日モ忽セニスルコトガ出來ナイト云フ所ニ出發點ヲ持ッテ居リマス次第デアリマスルカラ、此重要緊急已ムヲ得ナイト云フコトガ議會ヲ通ジテ國

民ノ理解ヲ得マスルナラバ、國民ハ必ズ之ニ協力シテ貰ヘルコトデハナカラウカト、甚ダ勝手デアリマスルガ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙亦御尋ガゴザイマシタラ御答申上ゲマス

○三宅政府委員 午前中ノ問題ヲ少シ補足シテ置キマス、先ヅ現在ノ發動機船ノ數カラ申シマス約五万七千艘ゴザイマス、其中デ現在免稅ノ恩典ヲ受ケル資格ノアル船ガ三万艘、五十何「パーセント」ト云フ數デアリマス、サウシテ残りノ二万六千九百、殆下二万七千ニ近イモノハ、重油以外ノ輕油「ガソリン」等デアリマスルカラ、是ハ何等免稅ノ恩典ヲ受ケナイモノデアリマス、斯ウ云フ内譯ニナツテ居リマシテ、更ニ免稅ヲ受ケ得ル資格ノアル三万艘ノ中デ、實際免稅ヲ受ケテ居ルモノガ二万デアリマシテ、三分ノ一ノ一万ト云フモノハ手數ガ非常ニ掛カルト云フ意味ニ於テ、免稅ノ恩典ヲ事實ニ於テ受ケテ居ラナイト云フ實情ニアルノデゴザイマス、ソレカラ御參考マデニ、大キナ船ノコトハ別問題デアリマスルガ、其約半バニ近イ二万七八千艘ノ重油以外ノ油ヲ使ッテ居ルモノハ中小、寧ロ中ノ中デモ小ニ近イ中ノモノト小ノモノトデアリマス、ソレガ五噸位ノ船デ重油ヲ約年ニ二

施位使ッテ居リマス、又十噸以下五噸以上ノモノデハ約八噸位ト云フヤウナ消費量ニナッテ居ルノデアリマス、是モ何等カノ御參考ニナラウト思フノデアリマス、ソレカラ大中小ト若シ漁業者ヲ分ケテ見ルナラバ、年需要量ノ油ノ約三分ノ一ハ大漁業者ノ使用ニ掛ッテ居ルモノデアリマス、三分ノ二ガ中小ノ使用シテ居ル油ノ分量デアルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、而モ中小、殊ニ小ニ近イ中以下ノモノハ、先程申シマシタヤウニ重油以外ノモノヲ使ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ重油ノ免税ノ現行ノ儘ニ於テモ何等ノ利益ヲ受ケテ居ラヌノデアリマス、之ニ安イ油ヲ使ハスト云フ意味ニ於テ、是ノ更生ヲ圖ラウト云フノデアリマスノデ、是ハ免税ノ繼續シタ儘デハ何等ノ將來ニ互ッテ恩典ト云フモノハ受ケ得ラレナイモノデアリマス、此點ハ午前中申シマシタ通り今度ノ提案ノ相當大キナ部分ヲ成シテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ機關ノ方カラ申シマス、是ハモウ御承知ノ通りデアリマスガ、燒玉「エシデン」ヲ同ジ重油ヲ使フ「デイゼル」ニ代ヘマス、其分量ハ三割三分ノ油ノ節約ニナルノデアリマス、免税ノ撤廢デドレ位上リマスルカ、約一割乃至一割五分上リマス、

免税デサウ云フ風ニナリマシテモ、三割三分ノ油ノ量ノ節約ト云フコトハ相當大キイコトデアルト考ヘテ居リマス、又輕油ヲ燒玉ニ代ヘル場合、ソレカラ輕油ヲ使用シテ居ルモノト、重油ヲ使フモノノ中間ノモノヲ燒玉「エシデン」ニ代ヘル場合ニ於キマシテモ、價格ニ於キマシテ半額、油ヲ使用スル價格カラ見テ十圓ノモノハ五圓、半額ニナルト云フ計算ニナッテ居ルノデアリマス、輕油以外ノ「ガソリン」其他ニ至リマシテハ、寧ロ半額以下デアリマシテ、或ハ三分ノ一位ノ値段ニナルカトモ考ヘラレルノデアリマス、ソシテ風ニシテ計算シテ見マスト、大雜把ニ申シマス免税ノ利益ヲ受ケル金ガ三百万近クト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此機關ヲ代ヘルコトモ或ハ提案ノ中ニハ船ノ恰好ヲ流線型ニシテ速力ヲ速クスル、隨テ油ノ使用料ヲ少クスルト云フコトモ若干入ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ僅カデアリマス、ソレヤ是ヤヲ合算致シマシテ十年デ以テ現在數ノ重油化ヲ圖ラウトスルノデアリマス、一年目ハ油ノ節約量ヲ金ニ換算シテ見マスト百七十萬圓、初年度ハ免税ノ利益ヲ三百万圓トシマスレバ、其半分ニモ及ビマセスガ、二年目ニモソレニヤハリ「プラス」百七十萬圓ト云フコトニナリマシテ、十年以降ハ百七十萬圓ノ利益ヲ以テ進ンデ行ク、免税ガ續イテ行クナラバ、年ニ三百万圓デズツト行ク、其開キガ千數百万圓トナリマス、是ハ計算デアリマスカラ、少シモ崩レナイカドウカ分リマセスガ、大體之ニ近イ計算ノ下デ、代案ヲ作ラレタコトニナッテ居ルノデアリマス

○西川委員 屢々委員長ノ御注意モアリマスノデ、他ノ委員ノ御方ノ御迷惑モ考ヘマシテ、極メテ簡單ニ結論ヲ早く述べタイト思ヒマス、只今ノ御説明ハ篤ト諒承致シタノデアリマス、併シ説明ノ趣旨ハ諒承致シマシタガ、是デハ私ガ午前中致シマシタ質問ニ對スル御答辯ニハナリ兼ネルノデアリマス、ト云フノハ燃料政策ニ付キマシテハ、縷々御説明ニナリマシタコトヲ、前議會ニ於キマシテモ諒承シタレバコソ、一般ノ經濟產業界、國民生活上ノ苦痛ヲモ之ヲ犠牲ニシテ、大體他ノ重油ノ關稅免除ハ之ヲ削除スルコトニ、委員會ハ同意致シタノデアリマス、其點ハ十分諒承致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ漁業ニ關シマスル限リニ於テハ、漁業ノ經濟ノ特殊性ヨリ大キナ弱點ヲ持ッテ居リマス、漁業ニ對シマシテハ是ガ免税ヲ直チニ止メルノハ適當ナラズト、本會ハ其點ハ修正ヲ致シタノデアリマス、

而モ午前中ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依リマス、若シ漁業用ノ礦油ノ免税ノ取締ガ適正ニ行ハレルナラバ、燃料政策ニハ關係ガナイ、燃料政策ニ付テソレヲ憂慮スル必要ハナイ、斯ウ既ニ御言明ニナッタノデアリマスカラ、其點ハ此場合既ニ無關係デアリマス、殘サレタ問題ハ若シ漁業組合ナリ水産組合ナリ、政府ノ御監督ノ下ニ於ケル公益團體ガ中心トナッテ、共同購入ヲスル者ニ對シテノ免税ヲスル、之ニ對シテ取締ガ付クヤ否ヤノ問題デアッテ、午前中大藏大臣ハ之ニ對シテモ取締ガ付カヌ、公益團體ノ首腦部ガ油ヲ販メルト云フ御答辯デアリマシタカラ、是ハドウモ農林省ト致シテハ、サウ云フ答辯ヲサレテハ甚ダ困ラウ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ私ハ意地惡ク追究ハ致シマセス、農林省當局御監督ノ下ニ於ケル所ノ水産會ナリ、漁業組合ノ當事者ガ、折角此窮迫セル水産業、漁業者ノ救済ノ爲ニ、政府ガ免税ヲシテヤル、其免税ノ恩典ノ油ヲ販メルト云フコトデアリマスレバ、是ハ水産行政上由々シイコトデアリマシテ、是ハ漁村更生、水産業振興ノ根本問題ト致シマシテ、大イニ農林當局ノ責任ヲ感ジテ居ル所デアラウト私ハ思フノデアリマスガ、左様ナコトハ私

ハナイト思フ、ソコデ色々複雑ナル關係モアリマセウガ、農林當局ト大藏省ハ能ク御話合ノ上デ、農林當局ガ十分監督上ノ責任ヲ持タレテ、御話合ヲ致サレマシテ、眞ニ漁業用ノ礦油ノ免税ナラバ、燃料政策ニハ關係ナイト大藏大臣モ言明サレテ居リマスカラ、要ハ方法論デアリマス、適正ニ取締ッテ行クコトガ出來ルカドウカト云フ方法論デアリマスカラ、政府當局ニ於テ能ク御考慮ニナリマシテ、此問題ガ此議會トノ間ニ圓滑ナル解決ヲ付ケルヤウニ、私ハ特ニ希望致シマス、モウ一言私が申上ゲテ置キタイノハ、此對策豫算デアリマス、此對策ノ豫算ハ免税對策ト云フヨリモ、一般燃料政策ニ對スル對策トシテ、免税ヲ廢止スルト否トニ拘ラズ、是非トモ是ハ施行サレナケレバナラヌト云フコトヲ、私ハ茲ニ明ニシテ置キタイ、今日ノ漁業者ナリ其他ガ最も困ッテ居リマスノハ、實ハ重油ノ値上リヨリモ、輕油ノ値上リデアリマス、一罐三圓ト云フ高イ輕油ヲ使ヒマシテハ、輕油使用漁船ハ立ッテ行キマセヌ、輕油ヲ使用シテ居リマス漁船ヲ燒玉ニ代ヘル、重油使用ノ機關ニ代ヘルト云フコトハ、絶對ニ水産業ヲ救済スル爲ニ必要デアリマスカラ、其對策豫算ハ是非トモ施行サレナケレバナラヌ義務

ガアル、成ベク國內重油ノ自給自足ヲ圖ル爲ニハ、重油ヲ合理的ニ節約シナクチャナリマセヌガ、其合理的節約ヲスル爲ニハ、成ベク「デイゼル・エンヂン」ニ代ヘサシメルト云フコトガ、燃料政策上當然必要デアリマス、唯根本對策トシテ考ヘル時ニハ、現在ノ我國ノ工場生産能力ニ於テハ、直チニ「デイゼル・エンヂン」ニ代ヘサセマセウニモ、其生産能力ガ足りナイノデアリマス、ソレデハ免税對策ニハナラス、而モ長期ニ互ッテノ問題ナラバ、水産業ハ長期ニ互ッテハ一ツノ自然的安定ヲスルノデアリマシテ、長期ニ互ルコトナラバ、政府ガ政治的對策ヲ講ズル必要ハナイ、是デハ免税對策ニハナラスガ、免税對策トシテ輕油ヲ使フ機關ヲ燒玉ニ代ヘテ重油ヲ使ヘル機關ニスルコト、又現在重油ヲ使ッテ居ル燒玉ヲ更ニ改良シテ「デイゼル・エンヂン」ニスルコトハ、一般燃料政策ノ見地ニ於テ、之ヲサレナクテハナラヌト云フコトヲ私ハ申上ゲマス、更ニ大藏省當局ニ申上ゲタイコトハ、ドウモ近來豫算編成ノ仕方ニ於テ、甚シク不合理ガアル、私午前中ニ申上ゲタイウニ、工業生産物ハ獨占價格デアリ、農業生産物ハ統制價格デアリ、其價格ノ中ニ自然放任ヨリ外ニ手ノ著ケヤウノナイ水産物價格ガ投込

マレテ居ル時ニ、水産業ガ斯ク壓迫ヲ受ケテ居ルト云フ事實ニ對シテ、之ヲ解決スル爲ニハ政府當局ハ一大決心ヲ以テ、非常ナル努力ヲ拂ハナクテハナラヌノニ、是ガ對策ヲ講ズルニ、免税ヲ廢止スル代償ノ意味デナクテハ、豫算ヲ認メヌト云フ大藏省ノ考ヘ方ハドウデアリマセウカ、サウ云フ豫算ノオ零レヲ頂戴シ、ソレデナクテハ水産對策ガ樹立出來ナイト云フ農林省ノ態度ハ遺憾デアリマスガ、是ハ內務省ノ國民健康保險法モサウデアリマス、僅ニ郵便貯金ノ利下ヲシテ、其利下ニ依ッテ生ズル所ノ利益、其オ零レニ依ッテ國民ノ今日ノ重要問題ヲ解決シヨウト云フ卑屈ナル態度、或ハ何處其處ノ國有財産ヲドウシヨウト云フヤウナ大藏省ノ豫算編成振リハ、根本ニ於テ無理ガアルノデアリマシテ、緣日商人カ何カノ駈引ミタイナコトヲ、大藏省ト各省トノ間デシテ居ルヤウナ模様ガ、吾々ニ豫算竝ニ法律案ノ審議ヲ通ジテ見エテ來ル、是ハ大イニ考フベキコトデアルト思フ、デアリマスカラ此問題ハ既ニ明瞭デアリマス、燃料對策トシテハ關係ノナイ問題デアリ、要スルニ之ヲ適正ニ取締ル方法ガアルカドウカト云フ方法論ノ問題デアリマス、而モ水産界ノ問題ハ極メテ重大デアリマスカラ、

關係當局ニ於テ能ク御協議ノ上ニ、圓滑ニ此委員會ガ進行スルヤウニ何等カノ方法ヲ講ゼラレンコトヲ希望致シマス、私ハ多々質問シタイコトガアリマスガ、他委員ノ方ノ御迷惑モアリマスカラ是デ打切りマス

○行吉委員 今朝ヨリ政府委員ノ御答辯ヲ拜聽致シテ居リマシタガ、各位ノ質疑ニ對サレテ御答辯ノ頗ル不徹底ナル點ガアリマス、是デハ到底政府ノ希望サレル如ク、又吾々委員ノ速ニ議決スベキ事項デモ到底之ヲ全ウスルコトハ出來得ナイ狀態ニアリマス、先ヅ此委員會ニ於キマシテ一番中心ニナル問題ハ、曩ニ西川君ガ御尋申上ゲタ問題ニ重點ヲ置カレテ居ルト私ハ考ヘマス、然ラバ此問題ヲ速ニ議決セラレルコトニ依ッテ、本委員會モ終了ヲ告ゲルモノナリ、斯様ニ私ハ深ク信ジテ居リマス、マダ澤山御質問ノ方々モアリマスカラ、頗ル簡單ニ私ハ伺ヒタイ、只今伺ッテ居リマス、三分ノ一ハ大資本ヲ擁スル業者ノ方々ノ使用量デアリ、三分ノ二ハ中小漁業者ノ使用量デアリ、斯様ニ御答ニナリマシタガ、是ハ無論根據ノアル數字カラ割出サレタモノダト信ジテ居リマス、然ラバ此三分ノ一ト云フ大資本家ノ使用スル數量、是ハ一體ドウ云フヤウナ方面ノ資本家ヲ稱シテ大資本家ト

斯様ニ斷定サレタノデアリマセウカ、吾々ノ聞ク所ニ依リマス、吾々ノ重點ヲ置ク本案ニ對スル希望ハ、小サナ村々ニ於テノ細民、所謂小サナ業者ヲ救済シナケレバナ

ラス、ソレニ重壓ヲ加ヘルト云フコトハ宜シクナイト云フコトニ吾々ハ重點ヲ置イテ論議ヲ進メテ居ルノデアルカラ、先ヅ第一番ニ此三分ノ一ノ使用量ヲ持ツト稱スル大資本家、是ハ一體ドウ云フ方面ノ方々ヲ指シテ仰シヤツカ、ソレヲ第一番ニ御伺致シタイノデアリマス

○三宅政府委員 私ハ大資本家ト申シタノデハナイノデゴザイマシテ、漁業ノ形態ヲ大中小ト假ニ申シタノデアリマス、資本家デアリマシテモ小サイ漁船デ以テヤル方ガゴザイマスレバ、是ハ小漁業ト見タノデアリマス、譬ヘマスレバ大キナ捕鯨船デアルトカ、或ハ大キナ「トロール」船ト云フヤウナモノハ、是ハ中以上ノ漁業、斯ウ云フ風ニ見タ譯デアリマス

○山道委員長 行吉君ニ一寸申上ゲマ스가、實ハ御關聯ノ事デアルト云フ御話デアリマシタカラ、簡單ニト云フコトデ御許シタノデアリマ스가、既ニ次ノ發言者ノ坂下君ノ御質問モ、今ノ西川君ノ質問ニ直接關係ノアル問題デ、優先ノ順序ヲ持ッテ居ラレ

マス、ケレドモアナタノハ簡單ト云フノデ御許シタノデアリマスカラ、ドウカ其御積リデ願ヒマス

○行吉委員 承知致シマシタ、ドウモ只今ノ御答辯ハ要領ヲ得マセヌガ、私ノ聞キ及ブ所ニ依リマス、此問題ニ依ッテ小サナ漁民ヨリ大資本ヲ擁スル漁業家ガ其恩惠ニ浴スルコトガ多クアル、斯様ニ聞及ンデ居リマス、吾々ノ希望致ス所ハ先ニ申上ゲマシタ如ク、小サナ所謂細民ノ漁民ヲ救済シナケレバナラスト云フコトニ——恐ラク同志西川君モ之ニ重點ヲ置イテ居ラレルモノ

ト私ハ信ジテ居リマス、然ラバ此問題ヲアレコレト色々議論ヲ盡シテ見タ所ガ、到底盡キル所ハナイト思ヒマス、何トカ之ニ對スル政治的ノ御解決ヲ發見セラレルコトガ一番當ヲ得タ策デアルト私ハ考ヘマス、無論此問題ニ付キマシテモ私モ色々質問申上ゲヨウト考ヘマシタノデ、準備モシテ參ッタノデゴザイマ스가、情勢ヲ拜見致シマスト皆様大變御迷惑デアルヤウデアリマスカラ

——唯要點ノミハ其處ニアルト私ハ考ヘマス、今朝西川君ヨリ縷々政府委員ノ方々皆様ニ對シテ意ノアル所ヲ申サレタ事柄ニ依ッテ、大體盡シテ居ルト私ハ考ヘマス、要點ハ只今申上ゲマシヤウニ、此問題ニ對シテ

吾々ノ希望スル所ヲ充シテ戴クナラバ、此問題ニ對シテ大シタ波瀾ハ起ラナイト私ハ信ジテ居リマス、此點是非共御留意ヲ願ヒタイ、序ニ一寸申上ゲテ置キマ스가、先ヅ私ノ聞及ブ所ニ依リマス、此問題ニ對シテ一番大ナル恩惠ニ浴スルモノハ日本ニ三ツ程アルサウデアリマス、大會社ガアルコトハ無論政府當局モ御承知デアル、吾々ノ希望ハ只今申上ゲル通りニ小サナ漁民ニ對シテ重壓ヲ加ヘルト云フコトハ耐ヘ忍ベナイ、此問題ニ對シテハ政府當局ハ當然御考

ヲ附ケラレナケレバナラスト思フノデアリマス、此問題サヘ解決ガ出來マシタラ同志西川君モ納得ガ行クモノダ、又國民大衆モ之ニハ納得ノ行クモノナリト私ハ深く信ジテ居ル、其邊ヲ是非共御留意ヲ煩シタイト思フ

〔赤城委員「委員長」ト呼フ〕
○山道委員長 赤城サン關聯事項デスカ
〔赤城委員「關聯事項デ簡單デス」ト呼フ〕

○山道委員長 許シマ스가、今海軍ノ方ガ差繰ッテオイデニナッテ居ルノデ、先刻ノ御話ノ序ガアリマ斯诺デ、一應一寸御急ギノヤウデスカラ、海軍當局ノ御話ヲ承ッテカラニ願ヒマス

○細谷海軍機關大佐 私細谷機關大佐デアリマス、只今大藏省ノ政府委員カラ、海軍ニ取リマシテ如何ニ液體燃料ハ大事デアルカト云フコトノ説明ヲ申上ゲルヤウニト云フ御話デゴザイマ斯诺デ、其點ニ付キマシテ極メテ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、既ニ燃料局長官カラ御説明ノアッタコトト私ハ存ズルノデゴザイマ스가、今日日本ノ國內ニ於キマス所ノ石油ノ供給力ト申シマス

モノハ、僅ニ平時ニ於キマシテ其需要ノ一割ヲ充スカ充サナイカト云フ極メテ貧弱ナル悲シムベキ狀態ニアル譯デアリマス、ソレデ若シ一朝事有リマシタ場合ニハ、非常ニ軍需ト致シテ海軍陸軍ガ使ヒマス油ハ平時ニ數倍スルト云フヤウナ狀況ニナリマ斯诺デ、此平時ニ於キマシテモ不均衡ナ狀態ガ更ニ問題ニナラナイ程度ニ不均衡ニナリ、且ツソレニ依リマシテ國防上非常ナ危険ヲ伴ヒ又國民ノ生活上ニモ多大ノ影響ヲ及ボス、斯ウ云フコトニナル譯デアリマシテ、現在ノ國家ニ取リマシテ此石油ガ如何ニ必要ナモノデアリ、如何ニ重大ナル役割ヲ演ズルモノデアルカト申シマスコトハ、今此處デ申上ゲナクテモ皆様方十分御承知ノコトト私ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ海軍ト致シマシテハ、今カラ十五六年前ノコ

トハイザ知ラズ、今日ニ於キマシテハ第一線ニ活動致ス艦ハ、總テ重油バカリヲ焚イテ居ルノデアリマス、又飛行機ハ御承知ノヤウニ「ガソリン」ヲ使ッテ居ルノデアリマシテ、此海上ノ艦船及ビ航空部隊ヲ以テ形造ッテ居リマス海軍ト申シマスモノハ、此油ガナクナリマシタ場合ニハ、其活動ハ全然止マルト云フコトニナリマスノデ、言ヒ換ヘマスレバ油ガナクナッタ場合ニハ、海軍ハ其機能ヲ發揮出來ナイト云フ結果ニナリマシテ、海軍ニシテ海軍ニ非ズ、浮ベル本當ノ城ニナッテシマフト云フコトニナル譯デアリマス、細カイコトヲ申上、ダレバ色々ゴザイマスガ、此際デゴザイマスノデ單ニ其程度ニ止メテ置キマスガ、要スルニ一言以テ申上ダレバ、海軍ニ取リマシテハ油ハ吾ガ日常食ベテ居ル米以上ノ大事ナ物デアッテ、海軍ノ活動上、他ノ物ヲ以テ代ヘルコトガ現在ニ於テハ出來ナイト云フ必至不可缺ノ物デアル、隨テ其自給自足ヲ圖リ、戰時ニ於ケル供給力ヲ確保スルト云フコトニ付キマシテハ、吾々ハ非常ナ關心ヲ持ッテ居ル、又ソレガ爲ニ非常ナ努力ヲ爲シツツアルト云フコトヲ申上ダレニ止メタイト考ヘルノデアリマス、極メテ簡單デゴザイマスガ……

○西川委員 只今ノ海軍ノ政府委員ニ私ハ申上ゲタイ、只今ノ御説明ハ私ノ此前ノ發言ノ以前ニ、實ハ拜聴スベキ筋合ノモノデアッタノデアリマス、私共ガ午前中カラ種々論議シテ居リマスコトハ、既ニ前議會ニ於テモ、燃料政策ノ重要性ニ付テハ十分認識シテ居ル、ソレヲ十分認識シタ上ノ論議デ、唯海軍ノ人的要素デアアル所ノ水産労働者、漁村ノ者ノ爲ニ此燃料政策ハ無關係デアルト大藏大臣ガ言明サレテ居ル、漁業用ノ礦油ノ使ハレテ居ル部分ノ問題ヲ論議シテ居タノデアリマス、此點ハ後刻速記録ヲ十分御讀ミ下サツテモ、吾々ガ燃料政策ニ付テ十分ノ認識ト誠意ヲ以テ當ッテ居ルト云フコトハ間違ナイノデアリマスカラ、一言申上ゲテ置キマス

○大矢政府委員 私カラ此漁業用ノ礦油免稅ノ制度ヲ存置シテ置イテ、取締ガ果シテ十分ニ行クカドウカト云フ點ニ付テ御答申上ゲタイト思ヒマス、先程他ノ政府委員カラ説明ノアリマシタ通り、現在此免稅礦油ヲ使用スル資格ヲ有スル漁船ノ數ハ、大體三万艘アル、然ルニ其中ノ一万艘ハ免稅ノ手續ヲヤッテ居ナイト云フ説明ガアリマシタ、隨テ残りノ二万艘ダケガ結局免稅ノ手續シテ居ルコト相成ルノデアリマスガ、午

前中他ノ政府委員カラ御説明ガアリマシタ通り、此等ノ免稅礦油ハ中々其ノ配給狀況ガウマク行カナイノデアリマス、言ヒ換ユレバ法律ノ期待シテ居ル所ニ落付カナイト云ツタ様ナ次第デアリマス、然ラバ水産組合或ハ漁業組合ニ於テ、共同購入ノ制度ヲ執ッテヤッタナラバ旨ク行キハシナイガラウカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマス、一應左様ニモ考ヘラレマスケレドモ、從來ノ實績ニ徴シテ見マシテ、水産組合ノ如キモノガ介在シテ、相當努力シテハ居リマシタケレドモ、是モ甚ダ成績ガ芳シクナイノデアリマシテ、色々ノ事態ヲ惹キ起シテ居ルコトハ、午前中ニ説明シタ通りデゴザイマス、尙ホ是ハ用途ニ依ッテ免稅スルカシナイカラ區分スルノデアリマシテ、物自體ニ依ルノデハアリマセヌ、隨テ若シモ水産組合或ハ漁業組合ニ於テ共同購入ヲスルト云フヤウナ制度ヲ執リマスと云フト、別ニソレト「タンク」ノヤウナ物モ設備シナケレバナリマセヌ、又配給ノ機關モ相當設ケナケレバナリマセヌ、數多イ中小ノ漁業者ニ對シテ、此「タンク」ノ制度、而モ漁船ハ定著シテ居ルノデハアリマセヌ、方々浮動スル、隨テ出先ニ於ケル配給ヲ全ウスルヤウナ「タンク」ノ設備、其他ノ設備ヲ設ケルト云フコ

トハ頗ル煩雜デ、手數ガ掛ルノデアリマシテ、之ヲ實行スルノハ中々至難デゴザイマス、併シ經費ト時間ト手數トヲ惜マズヤレバ、ヤレナイコトモアリマセヌケレドモ、ソレデハ此免稅ノ制度ノ效果ガ著シク減殺サレルノデアリマス、寧ロスノ如キ制度ハ將來存置シテ置クヨリハ、他ノ方法ニ依ッテ之ニ代ヘル、或ハ更ニモツト適切有效ナル設備ヲシテ、中小漁業者ノ爲メヲ圖ルコトガ出來マシタナラバ、其ノ方ガ採ルベキ措置デハナカラウカト、斯ウ存ズルノデアリマス

○赤城委員 關聯事項ニ付テ簡單ニ御尋ネ致シマス、漁業者ノ方ノ關係デ、免稅ヲヤメルト云フコトニ付キマシテ、對策豫算ヲ立テ、居ルト云フ御話デアリマスガ、漁業ト同様ニ考ヘラレマス農村工業方面ニ對シテ、西川委員ト同ジヤウナ趣意ニ於テ簡單ニ御尋シテ見タイト思ヒマス、現在經濟更生計畫ト云フモノガ農村デモ非常ニ重要視サレテ共同作業ガ殖エタ、其結果米ノ脱穀或ハ精白ニ石油「エンヂン」ガ農村ニ入ッテ來タコトガ非常ニ多クナッテ來タ、或ハ又耕地整理組合ナドデハ百町、二百町、五百町ト云フ大キナ耕地整理組合ニ於テ「デイズル・エンヂン」ニ依ッテ重油ヲ使ッテ居ルコトガ非常ニ多イ、電氣ハ季節的ノモノデア

カラ、主ニ石油或ハ重油ヲ以テ農村ノ機械化ハ相當促進シテ居ル、斯ウ云フ時期ニ方リマシテ、此提案ノ理由ノヤウニ、此準戰時形態ニ於テ人造石油事業法、之ニ關スル一聯ノ法案ニ關聯シテ關稅定率法ノ改正サレルト云フコトモ、致方ナイト存ジテ居ルノデアリマスガ、農村方面モ漁業方面ト同ジク非常ニ微力ナル方面ニ對シテ、何等カ今マデ石油或ハ重油ノ市價ノ騰貴ニ付キマシテ對策豫算ガアルカドウカ、或ハ又對策豫算ニ付キマシテ、將來ドウ云フ風ナ事ヲ考ヘテ居ラレルカドウカ、又一朝事有ル場合ニ於テ、重油ノ供給ガ非常ニ圓滑ヲ缺クダラウト思ヒマス、其圓滑ヲ缺ク場合ニ於キマシテ、如何ナル方法ヲ採ルト云フ豫定ガアリマスカドウカ、以上三點ニ付テ御説明願ヒタイ

○高橋政府委員 只今農業用重油ニ付テ御尋デアリマスガ、今免稅ニナッテ居リマセヌガ、ソレハ何カ誤解デハアリマセヌカ

○赤城委員 免稅ニナッテ居リマセヌコトハ承知シテ居リマスガ、之ヲ免稅シテ呉レト云フコトヲ、農村方面デモ漁業方面同様ニシテ吳レト云フコトヲ多年要望シテ居ッタノデアリマスガ、免稅ハシテ居ナイガ、關稅定率法改正ノ結果重油ガ騰貴スルト云フ

コトニナッテ居リマス、又石油ノ方モ騰貴スルト云フコトニナッテ居リマス、漁業方面デハ免稅ヲスル代リニ對策豫算ヲ二百万圓舉ゲルト云フコトデアリマスガ、農村方面ノ關係ニ於テ對策豫算ガアルカドウカ、對策豫算ニ付テ考慮サレテ居ルカドウカト云フコトヲ御聽キ致シタイノデアリマス

○太田政府委員 御尤ナ御質問デアリマス、只今高橋政府委員ガ申サレタ通り、免稅ニ入ッテ居リマセヌ、元々免稅問題ハ大正九年カラ約十何年間續イタ問題デアリマシテ、其大切ナル利益ヲ奪フヤウナ形ニナリマシタノデ、ソレノ對策ヲ考ヘタノガ今度ノ法案ノ趣意デアリマス、尙ホ其免稅ノ恩典ニ浴シテ居ッタ鑛業ト工業ノ二ツノ方面ニ付テ今マデ二ツノ恩惠ガアリマシタガ、ソレハヤリ放シデアッテ、漁業ノ方ダケガ先程西川サン、行吉サンノ申サレタ通り、中小ノ漁業家ニ大切ナ關係ヲ持ッテ居リマスノデ、是ガ對策ヲ致シマシタ譯デ、御質問ノ農業者ノ更生スル爲ニ、色々ナ手段ヲ致サナケレバナラスコトハ、是ハ私共モ同感ニ思フノデアリマス、今回ノ案ニハ其事ハゴザイマセヌガ、篤ト御言葉ノ趣意ヲ考ヘマシテ、能ク善處シタイト考ヘルノデアリマス

○山道委員長 赤城君マダ長イデスカ

○赤城委員 簡單デス、此準戰時形態、或ハ戰時形態ニナリマスルト、農村ニ於キマス勞働力ガ非常ニ窮乏スル結果トナルト思ヒマス、サウ云フ結果現在ニ於テ機械化シテ居ル以上ニ、尙ホ機械化スル傾向ニアルト思フノデアリマスノデ、大藏政務次官ノ仰シヤイマシタコトヲ信用致シマシテ、質問ヲ打切りマス

○坂下委員 坂下君 我ハ漁船用ノ油ニ付テハ、餘リ重複ヲ致シマスノデ、其方ハ遠慮致シマシテ質問致シマセヌ、唯「ガソリン」關稅ノ引上ト自動車關係品ノ關稅引上ニ付テ、簡單ナ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、前回ノ七十議會ニ於ケル委員會ノ質問ニ依リマシテ、自動車業者ノ窮狀ヲ詳シク申上ゲタノデアリマスカレドモ、其方面ニ付テハ略シマス、ソコデ其當時ノ委員會ニ於ケル大藏當局ノ答辯ハ、目的稅デハナイ「ガソリン」消費稅五錢、關稅引上五錢デ、約三千万圓ノ増稅デアル、是ハ目的稅デハナイト云フ御答辯デアリマシタ、只今ノ商工當局ノ御説明ヲ聽クト、燃料國策ノ爲ニ關稅ノ引上ヲシ、消費稅ノ創設ヲシタカノ如クニ聽取レルノデアリマス、大藏當局ガ其當時言ハ

レタヤウニ目的稅デナイトスレバ、總額ニ於テ二億七千万圓カ幾ラカノ十二年度ノ増稅ニ對シマシテ、消費稅ト關稅ノ引上ニ依ッテ「ガソリン」ノ關稅ガ三千万圓、自動車ノ關係品ノ關稅引上ト兩方合シマス、私共ノ概算ニ依リマスト四千万圓近クノ増稅ダト思フ、サウ致シマス、總額ニ於テ二億七千万圓、假リニ三億圓ト致シマシテモ、僅カ十萬バカリノ自動車營業者ニ對シテ三千六百万圓ノ増稅ト云フコトニナリマス、總增稅額ノ一割二分位ナモノニナリハシナイカト思ヒマス、十萬ノ業者カラ總增稅額ノ一割二分バカリヲ取立テル、自動車一臺ニ割ッテ見マス、一臺三百圓ト云フコトニナリマス、如何ニモ是ハ負擔ノ均衡ト云フコトヲ考ヘナイヤリ方デアリマス、近時負擔ノ均衡ト云フコトハ喧シク叫バレテ居リマス、今回ノ豫算委員會ニ於キマシテモ、賀屋藏相ハ通常議會マデニハ中央地方ヲ通ジテ稅制改革ヲスル、サウシテ通常議會ニ提案スルコトヲ聲明セラレテ居リマス、勿論是ハ負擔均衡ト云フコトヲ重點トシテ稅制改革ヲセラレルノデアリマス、サウ致シマス、十二年度ノ増稅案ニ對シテハ、負擔ノ均衡ト云フコトヲ更ニ願ミナカタ、斯ウ云フ風ニモ思ハレルノデアリマス、

リウスルト今度ノ通常議會ニ提案致シマス
税制改革デ、是ハ必ズ是正サレルモノダト
云フ風ニモ思ハレマスガ、ソレニ致シマシ
テモ、十萬ノ業者十二三萬臺ノ自動車カラ
三千六百萬圓ト云フ税金ヲ取立テルト云フ
コトハ、如何ニモ負擔均衡ヲ無視シタヤリ
方デアル、而モ自動車業者ガ非常ニ儲カル
商賣デアリ、非常ニ利益ヲ占メテ居ルト云
フナラ別問題ト致シマシテ、是ハ前ノ委員
會ノ時ニ私詳シク申上ゲマシタカラ略シマ
スガ、現狀ニ於キマシテモ、實ニ同情スベ
キ立場ニアリ、氣ノ毒ナ境遇ニアルノデア
リマス、マルデ負擔ノ均衡ト云フコトヲ考
ヘナカッタヤウナ増税ヲシテ、是等カラサウ
シタ重イ税ヲ取立テルト云フコトハ、如何
ニモ政府ノヤリ方ガ無理デヤナイカ、又業
者ニ氣ノ毒デハナイカ、斯ウ思ヒマスガ、
サウ云フ點ニ付テ相當考慮セラレタモノデ
アルカ、餘リサウ云フ負擔ノ均衡ト云フ問
題ハ考慮セズ、唯國庫ノ增收ヲ圖ルト云フ
コトノミニ依ツテ、斯ウシタ案ヲ立テタモノ
デアルカト云フコトヲ承リタイ、又商工當
局ノ言ハレル目的税ノヤウナ、所謂燃料國
策ノ爲ニ消費税ヲ設ケ、「ガロン」五錢ノ關稅
引上ラスル、斯ウ云フコトデアレバ、之ニ付
テモ私ハ一言質疑シテ置カナケレバナラス

ト思ヒマス、燃料國策ノ爲ニ使ハレル金ハ幾
ラカト申シマス、前議會當時ノ大藏當局ノ
御説明ニ依リマス、十二年度ニ於テ燃料
國策ノ爲ニ支出スル金ハ約八百萬圓ト云フ
コトデアリマス、ソレカラ七箇年計畫ニ於
テ總額九千五百萬圓、即チ七箇年間ニ九千
五百萬圓ノ金ヲ燃料國策ニ使フノダト云フ
御話デアリマシタ、燃料國策ノ爲ニ七箇年
ニ九千五百萬圓ト云フト、一箇年ニ約千三
百五十萬圓位ニナリマス、千三百五十萬圓
アレバ燃料國策ガ遂行出來ルナラバ、關稅
ノ引上ダケニ止メルカ、消費税ノ新設ダケ
ニ止メルカ、ドチラカ一方ニシテモ千五百
萬圓ノ金ハ出ルノデアリマス、デアルカラ
燃料國策ノ爲ニダケ考ヘタトモ思ハレナイ
ノデアリマス、燃料國策ト致シマス、最
前御説明ガアツタヤウニ、人造石油ハ生産費
ガ「ガロン」七十錢位ニ付キマス、ソレデ
アルカラ市價ヲ六十錢内外マデ釣上ゲテ、
サウシテ差額ノ十錢ハ國庫ガ補助シテヤル
ト云フ制度ヲ執ルト云フ風ニ前ニモ説明ガ
アリマシタ、サウスルニ致シマシテモ、關
稅カ、消費税ノ一方ニ依ツテ燃料國策ノ遂
行ハ出來ルト思フノデアリマス、デアルカ
ラ此間ニモ商工當局ノ御説明ニ矛盾ガアル
ヤウニ思フノデアリマス、ソレデ豫算ノ通

過シテ居ル今日デアリマスカラ、此關稅ノ
引上ヲ止メルトスレバ「ガソリン」ダケデ
千五百萬圓ノ歳入缺陷ガ出來ルカラト云フ
コトデアルナラバ、關稅ノ引上ハシテモ、
人造石油ハ七箇年經タナケレバ完全ニ出テ
來ナイノデアアルカラ、前ノ委員會デ附帶決
議シタヤウニ、五錢ノ關稅ニ依リ引上ダケ
ハ値上ヲ許可シナイ、相當人造石油ガ市場
ニ出テ來テ商品トシテ提供サレルマデノ間
ハ、五錢ノ値上ゲヲ許可シナイデ置イテモ
宜イ、詰リ人造石油ガ七十錢掛ルカラ、
其値開キガ二十錢アル、二十錢ノ値開デ
ハドウスルコトモ出來ナイカラ、十錢ノ
値開キニシテ、十錢ダケヲ補助シテ、六十
錢内外ニ人造石油ヲ賣ラセヨウ、斯ウ云フ
ノデアリマスケレドモ、人造石油ガ出テ來
ナイ内ニ、ソナコトヲスル必要ハナイ、
人造石油ガ假ニ七十錢デモ、天然石油ガ四
十錢デモ、ソレハ構ハヌ、人造石油ガ市場
ニ出テ來ル時ニ於テ、初メテ値開キガアッテ
ハ困ルノデアリマス、人造石油ハ是カラノ
計畫デアリマシテ、七箇年計畫デアアルナラ
バ、豫定通りノ人造石油ガ市場ヘ出テ來ル
ニハ七箇年掛ル、少クトモ相當市場ニ賣出
セルニハ三年ヤ四年ハ掛ルノデアリマスカ
ラ、人造石油ヲ市場ニ賣出シテモ居ナイノ

ニ、人造石油ノ生産費ガ七十錢ト推定致シ
マシテ、サウシテ一方ノ「ガソリン」ヲド
ン／＼引上ゲテ行クト云フコトハ非常ニ間
違ヒガアル、デアルカラ關稅ガ五錢上リマ
シテモ石油業者ノ希望スルヤウニ、今回ノ
五錢値上ト云フコトハ商工省ガ許サナイデ
置クコトガ適當デアルト思フ、又一面考ヘ
テ見マスルト、内地產ノ石油業者ハ是マデ
相當儲ケテ居ル、日石デ申シマス、三十
圓内外ノ株デアッタモノガ現在ハ百圓内外
ニマデ上ツテ居ル、是ハ政府ノ政策ニ依テ
「ガソリン」ヲ吊上ゲタ結果、サウ云フ風ニ
日石ノ株ガ高クナツタ、又非常ナ利益ヲ得
タ、デアルカラ此上尙ホ關稅ヲ引上ゲテ、
内地產ノ石油ハ何等關稅ニ關係ガナイノ
ニ、ソレト同様ニオ付合ヒラシテ五錢唯儲
ケサセルト云フヤウナ日石、其他ノ内地ノ
石油業者ヲ特ニ保護スルヤウナ政策ハ、餘
リニ消費者デアアル自動車業者ニ可哀相デア
ル（「ヒヤ／＼」）コンナ風ニ私ハ思フ、是
マデノ儲ケデ十分デアアルカラ、今後暫クノ
間位ハ内地產ノ石油業者モ相當消費者ニ同
情ヲシテ、値上ヲセズニ忍ブト云フコトガ、
當然ナヤリ方ダト思フ、デアルカラ商工當
局ハ若シ此委員會ガ關稅ノ引上ヲ原案通り
認メルト云フコトニナリマシタ場合、今回

創立サレル所ノ帝燃會社ノ人造石油ガ相當多額ニ市場ニ出マシテ、商品トシテ認メラレル迄ノ間、關稅ノ五錢ノ引上ニ依ル値上ハ商工省ハ許サスト云フ態度ヲ執ッテ下サルカドウカ、此點ヲ商工省ノ當局ニ御伺シタイ、以上二點ヲ商工當局、大藏當局ニ御伺スル次第アリマス

○太田政府委員 只今坂下サンノ御質問ニナリマシタ大藏省關係ノコトニ付テ御答申上ゲマス、第一ハ此稅ガ目的稅デアルカト云フコトニ付キマシテ、前ノ當局ノ御方々ガ目的稅デナイト云フ御返事ヲ爲サレタサウデアリマスガ、是ハ目的稅ト云フ言葉ノ使ヒ方ニナルカト思ヒマスガ、私共稅金ノ方デ目的稅ト申シマス時ニハ、入ッタ收入ヲ或ル一定ノ支出ニ使フ場合ニ目的稅ト申シマスノデ、其意味デ當時ノ大藏當局ガ目的稅デナイト申上ゲタノカト存ジ上ゲマス、御話ノ燃料政策ノ爲ニト云フコトヲ目的稅ト云フ意味デ申シマスレバ、其意味ノ目的稅カト思ヒマスガ、通俗ニ又租稅ノ制度ノ上デ申シマスル目的稅ト云フ一定ノ使途ニ用ヒル目的ヲ以テスルモノヲ目的稅ト云フナラバ、其意味デハ目的稅デナイト斯ウ申上ゲタコト存ジマス、モウ一ツノ負擔ノ均衡ニ付テノ重要ナル御質問ガゴザイマ

シタガ、同業ノ御方々、又一般消費者ガ此負擔ヲ受ケラレルコトニ付テハ、決シテ單純ニ考ヘテ居リマセヌ、勿論消費稅ニ於ケル負擔ノ均衡ヲ得テ居ルカト云フコトハ、全面的ニ觀察ヲ致サナケレバナラスコトデアリマシテ、既ニ設ケマシテ、マダ會議ハ開キマセヌガ、稅制ノ委員會ニ於テモ重要ナル項目トシテ、研究シテ見タイト思ヒマス、唯此稅金ニハ各國ノ振合ト云フモノモ、無論其國ノ經濟ノ程度或ハ負擔力等ニ依ッテ違ッテ來ル譯デアリマスガ、既ニ御案内カト存ジマスケレドモ、改メテ申上ゲマスレバ、英吉利ノ關稅ハ「ガロン」ニ付キマシテノ割合ヲ見テ見マスルト、從價十九割一分九厘ニナッテ居リマス、佛蘭西ハ十割四分三厘ニナッテ居リマス、獨逸ハ二十八割六分四厘ニナッテ居リマス、日本ハ現在關稅ノマダ上ゲラレナイ形ニ於キマシテ三割八分四厘、ソレガ今回此關稅ヲ上ゲマスルコトニ依リマシテ五割三分七厘トナルノデゴザイマシテ、單純ニ此數ノ比較ハ出來マセヌノデゴザイマスガ、我國ノ關稅ガ消費稅ノ立場ニ於キマシテ、サウ高イモノデナイト云フコトヲ申上ゲ得ルカト存ジ上ゲマス、以上私ニ關係ノモノヲ御返事申上ゲマス

○竹内政府委員 「ガソリン」ノ値段ノ引上ゲラ承認シマス率ニ付テノ御意見ヲ付加ヘテノ御尋デゴザイマシタガ、私共ハ實ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、先程私ハ燃料政策ノ一般的ノ方針ヲ申上ゲタノデアリマシタガ、之ヲ「ガソリン」ノ個々ノ値段ヲ變更シマス場合ニ適用スルニハ、其時々ノ經濟事情ト云フモノヲ十分考慮シナケレバナラスガラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、隨テ是ハ少シ理窟ボクナリマスケレドモ、關稅其他ノ公課ノ上ツタダケヲ、同時ニ必ズ市價トシテ上ゲナケレバナラスコト云フコトニモナリマセスト同様ニ、サウ云フモノノ違ヒガナクテモ、其業自體ガ他ノ生産費ノ騰貴ニ依リマシテ、其値段デハ其事業ガヤッテ行ケナイト云フコトガアリマシタ場合ニハ、是亦考慮ヲ要スルコトガアルガラウト思フノデアリマス、要スルニ先程私ガ申上ゲマシタ原油ノ國內供給ヲ増加スルト云フコトガ、燃料國策上非常ニ重要デアリマスト共ニ、製油業ト云フモノモ實ハ非常ナ國防上重要ナ意義ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、御承知ノ通り、今日ノ飛行機ナドノ性能ガ段々高度化シテ參リマス、同ジ揮發油デモ非常ナ規格ノ高イモノヲ要求スルノデアリマス、之ニ對シマシテハ國內ニ於テ製油業ノ發達、確立ト云フモノヲ圖ッ

テ行ク必要ガアリマスノデ、製油業ト云フモノハ此意味カラシテ存立ヲ圖ッテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、併ナガラ只今御話ガアリマシタ我國ノ石油業ニ對スル所謂石油業法ノ監督ノ一般方針、行政方針ト云フモノニ付キマシテハ、私ハ御話ニナリマシタコトニ全然御同感ヲ申上ゲルノデアリマス、實ハ先日モ石油業ノ關係者ガ集マリマシタ所デ、石油業ニ關スル國ノ法制ハ決シテ一ツノ會社ノ經營ヲ唯樂ニシテヤル、儲ケサセルト云フコトヲ目的トシテ居ルノデハナイ、國策ニ順應セシムルト云フ所ニアルノダカラ、事業ノ合理化ヲ圖リ、又利益金ノ處分ニ付テモ、此際十分ナ考慮ヲシナケレバナラズ、消費者ニ對スル不便モ來サナイヤウニスルト云フコトニ付テハ、特ニ考慮ヲ要スルコトデアラウト云フコトヲ、實ハ話ヲシタヤウナ譯デアリマシテ、此方針ハ今後モ堅持シテ行ク積リデゴザイマス

○坂下委員 太田政務次官ノ御答辯ハ諒ト致シマスガ、併ナガラ私モ各國ニ於ケル關稅ノコトヲ能ク承知シテ居リマスガ、日本ノ國情ト是等關稅ヲ高ク取ッテ居ル國情ト、富ノ程度ニ於テモ各方面ノ事情ニ於テモ異ツタ點ガアリマシテ、日本ノモノガ獨逸

ヤ何カノヤウニ高クナッテ、圓滿ニ産業ガ行ハレルカト申シマスレバ、絶對ニ私共行ハレスト申上ダタイノデアリマス、將來ノ税制改革ヲナサル御相談ノ時ニ、負擔ノ均衡ト云フコトヲ十分ニ御考ヘ下サイマシテ、現在ノ自動車業者ハ石油國策、自動車國策ノ犠牲ニナッテ居ルト云フコトヲ御承知下サイマシテ、適當ナ方策ヲ講ジテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ御願シテ置クノデアリマス、又商工當局ニ向ッテハ只今ノ御説明モ相當承服シ得ラレル點モアリマスシ、尙ホ納得ノイカナイ點モアリマスガ、最前カラノ色々ナ御話ヲ聽イテ見ルト、商工當局ノ考ハ、諄々シク最前カラ申上ゲタヤウニ、人造石油會社ガ出來マシテ、其處デ出來ル「ガソリン」ノ生産費ガ七十錢内外デアルト云フコトヲ立前トシテ、ドウシテモ輸入「ガソリン」モ、内地デ出來ル天然「ガソリン」モ、ソコノ値段マデ持ッテ行カナケレバナラナイガ、ソコマデ持ッテ行クト云フコトハ消費者ガ困ラウト云フノデ、税金ヲ取ッテ、其税金デ燃料會社ヘ補助スル、サウシテ六十錢内外デ賣ラセヨウト云フコトノ爲ニ、斯ウシタ政策ヲ立テタノダトシカ、私ハ御説明ヲ聽イテモ、又御説明ヲ聽カナクテモ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ッテ、又

ソレニ間違ヒナイと思フノデアリマス、ソレナラバ結局取過ギト云フコトモアルノデアリマス、デアリマスカラ、今マデ商工當局ノ政策ノ爲ニ、又行政方針ノ恩典ヲ蒙ッテ、多年ボロ會社デアルト稱セラレテ居ッタ日石其他ノ石油會社、五十圓拂込ノ株ガ二十七八圓ニシカ賣レナクツた會社ガ、商工當局ノ執リ來ッた政策、即チ石油業法設定以來様々ナ方針ノ執リ方ニ依ッテ、今日非常ニ是等ノ會社ハ儲ケマシテ、現在百圓以上ノ株價ヲ保ッテ居ル、日石バカリデナク、他ノ會社モ皆ソレデアリマス、所謂商工省様々ト御禮ヲ申上ゲテ居ルダウト思フ「其通り」ビヤ「」サウ云フ風ナ立場ニ居ル人達ヲ、相當消費者ノ爲ニ今回ハ犠牲ヲ拂ハシテ、人造石油ノ相當量市場ヘ出テ來ル迄ハ、先ヅ値上ヲサセナイヤウニシテ、サウシテ消費者ニ同情ヲ願ヒタイと思フ、斯ウ云フ註文ヲ商工當局ニ申上ゲテ置クノデアリマス、モウ一ツ簡單ニ伺ヒタイコトハ自動車デアリマス、此時局ニ依リマシテ、自動車ハ相當數量徵發セラレテ居リマス、モウ今後モ續々徵發サレルト思ヒマスガ、自動車製造事業法ノ關係デ輸入車ハ二万一千臺位ノ標準ニ依ッテ、ソレ以上輸入サセナイト云フ方針ヲ執ッテ居ラレルノデアリマス、

ソコデ此輸入ノ數量ノ制限ヲ撤廢シテ戴カナケレバ、自動車業者ハ減ビテシマフト思ヒマス、僅ニ十三萬臺カ幾ラシカナイ自動車ガ、續々千臺、二千臺、三千臺ト徵發セラレルト云フコトニナリマスレバ、結局自動車業者ハ減ビテシマフ、此處ヲ商工當局ハドウ考ヘテ居ラレルカ知りマセヌガ、先ヅ差當リ私ハ輸入自動車ノ制限ヲ撤廢スルト云フコトニシテ戴クコトガ、軍事上カラ見テモ最モ必要デアル、又自動車業者ヲ殺サスト云フコトカラ考ヘテモ、産業ヲ萎縮サセナイト云フ所カラ考ヘテモ、此際一日モ速ク輸入車ノ制限ヲ撤廢シテ、ドシ「」輸入サセルト云フコトニシテ欲シイ、斯ウ思ヒマスケレドモ、商工當局ハ此點ニ向ッテ、所謂制限ヲ撤廢スルカセヌカ、之ヲハッキリ御答ヲ願ヒタイと思ヒマス

○小島政府委員 只今自動車ノ需給ノ關係ニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタガ、現在ニ於キマシテハ、日本ニ於ケル外國系會社ノ組立數量ニ付テハ、自動車業法ノ附則ノ第四項ニ依ッテ成果ガ得ラレマスコトハ御話ノ通りデアリマス、「フォード」「シボレ」ニ付キマシテハ兩方合セテ二万一千七百臺、其他ノ自動車ニ付テハ約三千臺、合セテ二万五千臺弱ノ組立ニ依リマスル自動車ヲ購入シテ居ルノデアリマス、而シテ最近ノ自動車ノ需給關係カラ見マスルト、一方國產會社ニ於ケル自動車ノ生産事業モ、昨今相當其能力ヲ擧ゲテ參リマシタ、今年六月マデハ國產車ノ生産數量ハ二千五百臺以上ニナッテ居リマス、今月アタリニ於テハ相當ノ生産數量ヲ増加スルヤウナ狀態ニナッテ居リマス、今後モ國產會社ハ可ナリ能力ヲ發揮スルコトト思フノデアリマス、而シテ只今ノ情勢カラ見マスルト、大體ニ於テサウ需給關係ニ於テ支障ガナイデアラウト思ッテ居リマスケレドモ、今後ノ情勢ノ推移ニ付キマシテハ能ク注意ヲ致シマシテ、關係省トモ其點ニ付テハ十分連絡ヲ執ッテ居ル次第デアリマス、法律上制限ヲ受ケテ居リマス外國系會社ノ組立數量ハ、此際變更致スト云フコトハ困難ナコト考ヘテ居リマス、只今ハ左様ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ今後ノ情勢ニ付テハ只今申シマシタ通り、篤ト留意致シテ居ル次第デアリマス

○坂下委員 是ダケデ私ノ質問ヲ打切りマスガ、私ノ今ノ自動車ノ輸入ノ制限ヲ撤廢スルト云フ問題ハ、只今ノ御答辯デハ極メテ望ミ薄デ、今ノ情勢ニ於テハサウデナイラシイヤウナコトヲ言ッテ居リマスガ、ソナ事デハ私ハ到底ヤッテ行カレナイ、今ノ

情勢ニ於テ直チニ許ス位ノ態度デナケレバナラヌト思ヒマス、國產自動車ハ日産ト豐田デアリマスケレドモ、ドチラモヤハリ約六千臺位、兩方デ一年ニ一万二千臺ヲ理想トシテ居ルヤウデアリマスガ、此際ドウ馬力ヲ掛ケマシテモ、私ハ兩方合セテ一万臺ナドト云フ自動車ハ出來ナイト思ヒマス、現在ノ支那トノ情勢ヲ考ヘテ見マス、一万臺ヤ二萬臺ノ徵發ハ餘リ日數ヲ要シナイ中ニ徵發サレルモノダト思ヒマス、現在ニ於テモ數字マデ申上ゲルコトハ宜シクナイト思ヒマスカラ申上ゲマセヌガ、相當多量ノ徵發ヲサレテ居ル、サウシテ中ニハ三臺ノ「トラック」ヲ持ッテ居リマス中、良イノダケニ臺ヲ徵發サレテボロ車一臺殘ッテ、運轉手ハ手ヲ組ンデ遊ンデ居ル、買ヒタクテモ無イト云フヤウナノガチヨイ／＼アル、ソレガ實情デアリマス、徵發サレル時金ハ是マデ使ッタ自動車デ新品ガ買ヘル程呉レルサウデアリマスガ、金ヲ持ッテ居テモ買フ自動車ガナイ、隨テ營業ガ出來ヌト云フ狀態デス、此點ヲ能ク御考慮下サイマシテ、サウシテドシ／＼輸入ノ出來ルヤウニシテ貰ヒタイ、是ハ軍事的ニモサウ云フ必要ガアリマスシ、又産業ノ上ニモ無論サウ云フ必要ガアルノデアリマスカラ、此際ハ豐田、

日産ヲ補助スル、所謂國產自動車ノ發達ヲ促スト云フコトバカリヲ考ヘテ居ッテハナラス時代ダト考ヘマス、豐田ヤ日産ヲ保護スル、國產自動車ノ發達ヲ促スト云フ方面ニ付キマシテハ他ニモ方法ガアル、補助政策ヲ採ッテモ宜イノダカラ、斯ウ云フ方面ヲ考ヘ較ベテ見テ是非私ハ近イ内ニ關稅ヲ撤廢シテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ希望ヲ申上ゲテ置イテ私ノ質問ハ打切りマス

○山田委員 一寸關聯シマシテ伺ヒタイ、

私モ當時自動車ノ製造事業委員ヲヤッテ居リマシテ、アノ決議ニハ實ハ參畫シテ、親シク只今ノ當局ノ御話モ拜聽致シテアノ法律ガ出來マシタ、今坂下委員ノ質問ノ通り是ハモウ議論ノ時代デハナイ、例ヲ大東京ニ取リマス、其數ハ軍事ノ祕密ニ屬シテ居リマスカラ私ハ明確ニ申シマセヌガ、全ク此儘デ參ルナラバ、産業ノ根本ガ破壊サレル、運輸事業ハ全ク出來ナクナッテシマフ、殊ニ又運轉手ガ殆ド「イ」ノ一番ニ其責任及ビ義務ヲ負ウテ居ル實情デアアル、此際又一方翻ッテ製造能率ト申シマス、國產車ノ製造能率ヲ深ク檢討シテ見マス、是ハ國產車ノ信用ヲ保持スル爲ニ私ハ此處デ申シマセヌガ、當時事業委員會ニ於テ吾々ガ考ヘテ居ッタノハ相當ノ距離ガアルヤウニモ

私ハ思フ、親シク實情モ亦觀察ヲ致シテ見マシタ、併シ今日ノ此非常時局ニ處シテ只今ノ商工當局ノ言ハレルヤウニ、其不足分ヲ補ッテ十分ダト云フ安心ハ絶對ニ出來ナイ、而シテ一面外國車ノ販賣店ノ狀況ヲ見マス、實ハニコリ笑ッテ居ルト云フ風ニ考ヘテモ宜イノデアリマス、車ハナイト云フガ、相當アルノデアリマス、而モ例ノ自動車事業委員會ニ於ケル決定ニ依ッテ與ヘラレタル數量ダケヲ出シテ居ルノダカラ是以上ハ出ス必要ハナイト云フ、其腹ヲ深ク進ンデ考ヘテ見ルト、實ハヤハリ合法的ニ脫法行爲ヲヤッテ居ルノデアリマス、ソレハ指定工場ニ於ケル組立ハシナクテモ、何處カ適當ナ場所ニ於テ組立ラシテ適當ナ値上リニ依ッテ、潛ッテ何處カニ捌ケテ行ッテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ事實ガアルトスレバ、無理ニ法ノ裏ヲ潛ッテマデモ非常時局ニ於テ特殊ナモノニ利益ヲ與ヘテ、絶對ニ苦シンデ居ル一般業者、殊ニ國防ノ第一線ニ立ッテ犠牲ニナッテ居ル氣ノ毒ナ業者ガ其責任ヲ負ウテ居ル、現在ハ非常時デアル、故ニ前回平和時代ニ決議シタ其法ヲ金科玉條ト守ッテ居ル必要ハナイノデハナイカ、茲ニ坂下委員ノ質問ノ「ポイント」ガアリ、狙ヒ所ガアルト思フ、隨テ此場合自

自動車關稅ノ引上ノミナラズ、部分品ノ問題マデ考慮シナケレバナラス、吾々ハ國策ト云フ問題ニ付テハ一應根本的ノ議論ニ付テ考ヘ、又之ニ付テ愛國ノ至誠ニ依ッテ承認セザルヲ得ヌケレドモ、産業ノ根本ヲ破壊シ、更ニ百万ニ近イ大衆ガ死ヌト云フ重大問題ニ於テハ、實ハ非常時中ノ非常時デアルカラ、考ヘナケレバナラス

更ニ大藏當局ニ伺ヒタイノハ此負擔ヲ九割ノ業者ニ負擔サセル、而シテソレニ付テノ色々ノ議論ヲ拜聽シタガ、要ハ負擔ノ公平ト云フコトデアリ、更ニ稅ノ根本ハ涸レテモ負擔ノ出來ナイ、負擔能力ガナイト云フ見透シガ付クナラバ、是ハドウニモ仕樣ガナイデヤナイカ、吾々ハ、明確ニ言ッテ置クノデスガ、負擔能力ハナイ、此負擔能力ハナイト云フハツキリシタ見透シノアルモノニ對シテ、ソレヲ負擔セシメヨウトシテモ駄目デアアル、難キヲ強フルモノデアアル、再ビ問フノデアリマスガ、負擔能力ヲ、本法案ガ決定ニナッタ場合ニ、確ニ爲シ得ルト思フカ、負擔能力ガアルト思フカドウカト云フコトヲモウ一遍答辯ヲ願ヒタイ、更ニ小島サンニ今ノ非常時ノ際ニハ非常時ノ手段ヲ執ッテ眞ニ舉國一致ノ實ヲ擧ゲルカドウカト云フ眞劍ナ問題ニ付テ、今一應坂

下委員ノ質問ニ關聯シタ私ノ質問ニ御答願ヒタイ

○小島政府委員 自動車ノ製造ノ點ニ付テ熱心ナル御尋デアリマシテ、一應御趣意ニ付テハ私共モ御尤モト考ヘテ居ル所デアリマス、併ナガラ此自動車製造事業法ニ於キマシテハ、外國會社ガ從來ノ其事業ノ經營ヲ其儘認メル場合ニ於キマシテハ、既得權トシテ從來ヤッテ居リマス今ノ範圍ヲ政府ガ認定シマシテ、其過去ノ事實ニ基キマシタ其限度ニ於テ事業經營ヲ認メル、斯様ニナッテ居リマスノデ、既ニ過去數年、昭和十年八月九日以前、過去三年間ノ實績ヲ商工大臣ガ査定致シマシテ、其査定ノ結果ヲ報告致シマシテ其範圍ニ於テ其事業經營ヲ認メルト云フ現在ノ法律ニナッテ居リマスノデ、之ヲ變更致スコトハ中々困難デアルト云フコトダケヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、併ナガラ今ノ價格ノ騰貴ト云フコトハ商工省ト致シマシテ、各社ハ勿論ノ事、外國會社ニ付テモ十分監督シマシテ、現在ノ時局ニ於テ引上ゲルト云フコトハシナイ、現在認可サレテ居ル部分品其他ノ材料ニ付キマシテハ其價格ハ從前通りデアルト云フコトヲ既ニ各社共新聞ニ廣告シテ居ルト云フ事情デアリマス、價格ノ點ニ付キマシテ

ハ今後共商工省ト致シマシテハ十分監督致シテ行キタイと思フノデアリマス、尙ホ供給ノ今後ノ推移ト云フコトニ付キマシテハ言フ迄モナク私共ト致シマシテハ十分注意致シテ居リマス、唯今日マデニハ相當完成車トカ或ハ「シャーシー」ノ形ニ於テ輸入シタ部分モアリマスノデ、是等ノ點ヲ見合ヒマス、只今ノ所ハ特ニ施設ヲ致サナクトモ問題ハナカラウト考ヘテ居リマスガ、先程來申上ゲマス通り事業ノ推移ト云フコトニ付テハ十分留意致シマシテ、今次ノ時局ニ對處致シマシテ遺憾ノナイヤウニ各省トモ協力致シタイト考ヘテ居リマス

○尾關政府委員 只今山田サンノ關稅ノ擔稅力ガアルカドウカト云フ點ニ付テノ御尋ニ對シテ御答申上ゲマス、大藏省ニ於キマシテハ、今度ノ關稅引上ヲ致シタニ付キマシテ、相當重イ關稅ニナルトハ思ヒマスケレドモ、是ガ故ニ擔稅力ガ全然ナイト云フ風ニハ考ヘテ居リマセス、自動車事業ノ確立ヲ圖ル等ノ意味ニ於テモ是ダケノ稅ハ負擔シテ戴クヨリ致方ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山田委員 商工當局ノ私ノ質問ニ對スル御答ハ的ヲ外レテ居ル、私ハ事業法ニ於テ決定シタル會社ノ生産ノ比率ニ付テ此際ド

ウスウシヨウト云フ考ヲ當局ガ持ッテ居ルカドウカト云フコトヲ聽イタノデヤナイ、其決定シタ數量ニ付テハ、ソレハ儼トシテ國策上ノ大見地ニ立ッテ慎重審議ノ上決定シタノデアアルカラ、是ハ吾々ハ認メ且ツソレヲ尊重スル、サリナガラ現下ノ非常時ニ處シテ、車ガナクナッテ了ッテ、運送モ運輸モ交通モ出來ナイ現狀ニアルモノヲドウスルカ、死ンデモドウデモ構ハヌガ、其案ハヤッテ行クカドウカ、唯善處スルト言ッテモ特ニ何カ特例ヲ設ケテ、此窮狀ヲ打開スル現狀ニ即シタ對策ハアルカドウカト云フコトニ對スル質問デアアル、決シテ根本カラ其法令ヲ定メルトカ何トカ云フヤウナ無理ナコトヲ、苟モ國政ニ立ツ者ガ質問スル馬鹿ハナイ、モウ一遍ハッキリ伺ヒタイ

○小島政府委員 山田委員カラ再度ノ御尋デアリマスガ、只今モ申上ゲマシタ通り現在ノ日本全體ノ需給關係カラ見マス、大體ニ於テ特ニ應急ノ施設ヲ致ス程ノ必要ハ如何カト考ヘテ居リマス、併ナガラ只今配給其他ニ於テ可ナリ各地方々々ニ依リマシテハ十分ナ點ノアルコトハ御話ノ通りデアラウカト思ヒマス、配給方面ニ付キマシテノ今後ノ改善ニ付テハ無論考慮致シマシテ、現ニ其方面ニ付テハ、色々軍事上ノ關

係等ニ及ボス影響ニ付キマシテモ、配給上出來ルダケ不便ヲ少カラシムルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、而シテ今後ノ需給關係ニ付キマシテハ、先程來申シマシタ通り篤ト事業ノ推移ヲ見マシテ之ニ應ジタル施設ヲ致シテ善處シタイ、斯ウ云フヤウナ意味合ニ於キマシテ關係省トモ協議ヲ致シテ居リマス、斯様ニ申上ゲマシタ次第デアリマス

○山道委員長 山田君ハモウ宜イノデスネ、坂下君モ濟ミマシタネ、ソレデハ此次ハ森島君ノ順序デスガ、森島君ハ一寸御都合ガアルサウデスカラ、松浦君ニ發言ヲ許シマス

○松浦委員 私ハ纖維「パルプ」ノ問題ニ付キマシテ二三御伺シタイと思ヒマス、纖維「パルプ」ハ此處ニ提案サレテ居リマスガ、是ハ前ノ議會ニハ人絹「パルプ」トナッテ居ッタヤウデスガ、製紙ト「ステープル・ファイバー」ノコトニ付テ伺ヒマス、ソレカラ此間政務次官ノ説明ノ場合ニ木材ノコトモ御話ガアッタヤウデアリマスガ、木材ニ對シテモ關稅ヲ免除スル考ガアルカドウカ、此二點ヲ先ニ伺ヒマス

○太田政府委員 製紙用「パルプ」ト書イテアリマシタノヲ纖維用「パルプ」ト直シ

マシタノハ、今マデ其點ニ付テ動モスルト誤解ガアツヤウデアリマシテ、人絹用、製紙用兩方兼ネテ解釋スルヤウニスルコトハ、少シク言葉ガ無理カト存ジマシタノデ、廣イ意味ノ纖維用「パルプ」ト名前ヲ變ヘタ次第デゴザイマス、今度ノ關稅ノ免稅ニナルノハ、「パルプ」ノ原本ニ對シテ免稅ニナルノデ、其意味ニ於テ御説明ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

○松浦委員 此「パルプ」ノ問題ニ付キマシテハ、言フ迄モナク我國ハ不足ヲ致シテ居リマスカラ、現在ノ場合ニ於テ之ニ對スル免稅ヲスルト云フコトハ、機宜ヲ得タ方法デアルカモ知レマセヌガ、假ニ今日日本必要ナル所ノ「パルプ」ヲ十分ニ供給ヲ受ケヨウトスル相手國ハ何處デアルカ、現ニ亞米利加ノ「レーニヤ・パルプ・コンパニ」ノ如キハ日本ニ對スル「パルプ」ノ輸出ヲ禁止シヨウト云フコトヲ言ッテ居ルヤウデアリマス、サウシテ此場合ニ於テ無理ニ輸入稅ヲ免除シテ「パルプ」ヲ購入シヨウト云フ氣分ニナレバ、結論ト致シマシテハ結局單價ガ高クナルデアラウト思ヒマス、關稅ノ保護ヲ受ケテヤルト云フ利益ハ相手國ニ取ラレル結果ニハナリマスマイカ、此點見透シガ付イテ居ルカドウカラ伺

ヒタイト思ヒマス

更ニ今後我國デ消費サレル「パルプ」ノ量ト云フモノハ、人絹「パルプ」其物ダケデモ優ニ將來ハ四十五噸以上ニナルドラウト思ッテ居リマス、是等ノモノガ全然目當テヲ輸入ノ方面ダケニ置イテ、ソレデ纖維工業ノ前途ニ大ナル支障ハナカラウカト云フコトニ付テ、先ヅ御伺シタイト思ヒマス

○尾關政府委員 原本ノ免稅ノコトニ付テ御答ヲ申上ゲマス、只今御尋ノ點ハ「パルプ」ヲ製造スル原本ヲ免稅スルヤウナコトニシタガ、サウ云フヤウニシテモ、ソレハ外國ノ何處カラ供給ヲ受ケルカト云フノデアリマスカ

○松浦委員 イヤ、私ハ「パルプ」ノコトヲ聽キマシタノデ、原本ハ後デ聽キマス

○尾關政府委員 現在「パルプ」ハ加奈陀トカ瑞典トカ或ハ亞米利加等カラ相當ニ入ッテ居リマス、尙ホ「パルプ」ガ今入ッテ來テ居ル物ダケデ、將來十分デアルカドウカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、農林省ノ方カラ御答申上ゲマス

○松浦委員 政務次官ニ御伺シタイノデスガ、「パルプ」ヲ資材ノ税金ダケヲ免除シテ一般ノモノヲ免除シナイト云フ御話デゴザイマシタガ、製紙用「パルプ」、或ハ「ステ

ール・ファイバー」、或ハ人絹用ノ「パルプ」ノ原料ト云フモノハ、一步進ンダ纖維工業ノ原料ニナリマス爲ト、資本主義經濟ノ中ニ優秀ナ位置ニ立ッテ居リマス爲ニ、非常ニ原本ニ對スル「ハンディ」ガ付イテ居リマス、其爲ニ一般ノ業者ト云フモノハ「パルプ」原料ガ高ク買ハレル爲ニ、自分ノ原料ニ非常ニ困難ヲ來シテ居ル狀態デアリマス、ソレデ現在ノ如キ場合ニ於テ一方ノ「パルプ」ノ方ノ原料ダケノ免稅ヲ行ッテ、他ノ方ノ免稅ヲ行ハナイト云フコトニナレバ、更ニ高イ所ニ土著盛ル感ガ強クナルノデハアリマスマイカ、何故ナラバ輸入ノ税金ヲ下ゲルコトニ依ッテ得タ利益ハ、十分ナル原本ヲ集メル爲ニ、市場ヨリ高ク買フ傾向ニナルノデアリマス、サウ云フコトヲ考ヘマスト、現在ノ「パルプ」工業ト云フモノハ、二三ノ資本家ノ手ニ依ッテ行ハレテ居ッテ、此橫暴ナル營業狀態ニハ多クノ材木業者ガ非常ニ困ッテ居ル狀態デアリマス、近衛首相ハ資本主義經濟ヲ是正スルト云フコトヲ言ッテ居リマスケレドモ、免稅ヲ「パルプ」ノ原料ダケニスルト云フコトナラバ、資本主義經濟ヲ是正スルト云フコトハ何處ニ其標準ガアルカト云フコトヲ、政務次官ニ御聽シタイト思ヒマス

○太田政府委員 資本主義ノ是正ト此免稅トノ直接關係ニ付テ、私愚カニシテ御返事申上ゲルコトガ出來マセヌデゴザイマスガ、モウ少シク御説キヲ願ヒマシテ御返事申上ゲタイト思ヒマス

○松浦委員 一般ノ材木ニ關係スル問題ニ付キマシテハ、今ハ非常ニ不足ヲ告ゲテ居ル狀態デアリマス、現ニ從來マデハ樺太デ生産サレタモノガ一千万石ト言ハレテ居リマシタガ、ソレガ全然來ナイガ爲ニ、一般材木トカ、或ハ紅松トカ云フモノニ依ッテ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ其方ノ「パルプ」原料トシテ入ッテ來ルモノハ、總テ亞寒帶地方ノモノニ限ラレテ居ルノデゴザイマセウ、ソレ等ノモノガ製紙用ニナルモノハ免稅サレルガ、同ジ針葉樹ノ材木デアリナガラ、製函用ニナルモノハ免稅サレナイト云フコトニナルノデハアリマスマイカ、或ハ建築用材ニナルモノハ免稅サレナイト云フコトニナルノデハアリマスマイカ、ソレデソレニ依ッテ得タル所ノ利益ハ、事業會社ガ他ノ原本ヲ集メル爲ニ高價ナ單價ヲ以テ買集メルコトニナッテ、非常ニ業者ガ困ル結果ニナッテ來ルノデアリマス、ソレデ今ノ場合ニ於キマシテ、「インフレ」景氣ダトカ色々言ッテ居リマスケレドモ、今

日材木業者ト云フモノハ製紙原料ヲ高ク買ハレル爲ニ、自分ノ工場ニ入ルベキ原料ガ非常ニ高クナル、サウシテ市場ニ賣出ス製材ノ單價ヨリモ、原料ノ方ガ高イト云フヤウナ結果ニナツテ居リマシテ、所謂原料高ノ製品安ト云フ現狀ガ現レテ居ルノデアリマス、之ヲ更ニ一方ノ方ヲ助成スルナラバ、益、サウ云フ傾向ガ高クナリマシテ、材木業者ハ破産ノ運命ニ至ルノデアリマスマイカ、ソレニ對シテドウ云フ御考デアルカト云フコトデアリマス

○太田政府委員 今回ノ免税ハ人絹用「パルプ」ノ必要性カラ、特ニ其方ニ重キヲ置イタノデゴザイマシテ、材木業者一般ノ利益ヲ之ニ依ツテ侵シテ行カウト云フ考カラデハゴザイマセス、御案内ノ通り特ニ人絹用「パルプ」ガ不足シテ居リマス關係上、斯様ナ政策ヲ執リマシタ譯デゴザイマシテ、材木業者ニ對シテ強ク當ラウ、其爲ニソチラノ方ガ苦シクナツテ來ル、利益ガ侵サレテ來ル、サウ云フコトヲ豫見シテ之ヲヤッタ譯デハゴザイマセス

○松浦委員 サウダトスルナラバ、一般ノ針葉樹ニ對スル關稅ヲモ共ニヤラレル御考ハアリマセスカ

○太田政府委員 只今ノ所ハヤル考ハゴザ

イマセス

○松浦委員 現在ノ日本ノ狀況ヲ考ヘマスト、「パルプ」ノ不足ニアルト云フコトハ言フ迄モナイコトデアリマシテ、ソレニ依ツテ今日此關稅問題ガ起テ來テ居ルヤウデゴザイマスガ、林政ノ根本改革ヲヤラレテ、「パルプ」ノ需給關係ニ關シテ十分御考慮サレル考ハナイカト云フコトニ付テ、二三ノ意見ヲ述ベテ見タイト思ヒマス

現在ノ日本ノ木材ノ總資源ハ約八十九億アルヤウデアリマシテ、其中ノ四十二億ガ大體ニ針葉樹デ「パルプ」原料ニ將來ナルガラウト思ヒマスガ、今ノ是等ノ林政ノ狀況ガ主トシテ天然更新ニナツテ居リマシテ、過熟老齡樹ハ現在施業案ガ立ツテ居ラナイ、所謂未成年地ノ狀態ニ於テハ過熟老齡樹ガ澤山ゴザイマスケレドモ、其利用ガ完全デナイノデゴザイマス、斯ウ云フモノヲ整理セラレテ「パルプ」ノ資源ニサレル考ガアルカナイカト云フコトニ付テ御伺シタイト思ヒマス、殊ニ今ノ「パルプ」ノ問題ニ付テハ、此資源ノアリマス所ハ結局樺太、北海道ニナルガラウト思ヒマスガ、此樺太、北海道ノ現狀ヲ見マシテモ、是等ノ「パルプ」老齡樹ガ澤山ニアリマシテ、ソレガ現在利用サレテ居ラナイ、ソレヲ完全ニ利用スルコト

ガ出來ルナラバ、一年ニ三十万匁位ノ「パルプ」ヲ供給スルダケノ能力ハ十分ニアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ農林當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○高橋政府委員 専門的ニ互リマスコトハ今山林局長ガ參リマスカラ、其方カラ御答申上ゲルコトニシタイト思ヒマスガ、「パルプ」ノ供給ガ不足シテ居ルト云フコトハ是ハ事實デアリマス、其關係デ先程大藏省ノ方カラモ申上ゲタヤウニ今回ノ引下ヲ行フノデアリマスガ、隨テ關稅ヲ引下ゲテモ此「パルプ」ノ需要ヲ満足セシメタイト云フ考デアリマスカラ、内地ニ於ケル「パルプ」ハ出來得ル限り其仕事ヲ助長シテヤリタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今御指摘ニナリマシタヤウナ「パルプ」ヲ製造シ得ラレルモノハ適當ニ考慮シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○松浦委員 今ノ御答辯ハ大體ニ於テ私ハ諒ト致シマスガ、然ラバ今日ノ林政ノ内容ニ少シ入ッテミタイト思ヒマス、今政務次官ノ言ハレマシタヤウナ風ニオヤリニナルコトガ當然ダト私ハ思フ、サウスレバ今過熟老齡樹ヲ取ツテ「パルプ」ノ資源ニ充テルト致シマス、其收入ノ使用ノ問題デアリマスガ、從來マデノ林政ハ大體ニ搾取掠奪林

業ト言ツテモ差支ナイト思ヒマス、ナゼナラバ森林收入ノ大部分ハ一般行政費ニ繰入レラレテ居ル、サウシテ他ノ森林以外ノ費目ニ多ク使ハレテ居ル、森林ニ還元サレル費用ト云フモノハホンノ小部分デアアル、其「パーセンテージ」ヲ色々各地方別ニ申上ゲルト宜シイガ、時間ガアリマセスカラ省キマスガ、大體ニ於テ搾取掠奪林業ト言ツテモ過言デナイト思フ、將來農林省ニ於テ森林收入ヲ特別會計ニシテ、ソレニ依ツテ得タル所ノ收入ヲ大部分山ニ還元スルト云フ方針デオ出デニナルナラバ、二十年ノ後ニ於ケル我國ノ「パルプ」ノ原料ト云フモノハ、自足自給ガ必ズ出來ルト私ハ確信致シテ居リマス、其内容ニ付テ申シマスルナラバ、大略ノ數字ヲ申シマス、本州内地ニ於キマシテ約二百万町歩ノ荒廢林ガゴザイマセウ、北海道ニハ六百六十町歩、樺太ニハ五百五十万町歩ノ荒廢林ガアル、是等ノ荒廢林ガ其儘ニ無立木ノ儘ニ放任サレテ居ル、ナゼサウカト云ヘバ經費ガナイカラ仕方ガナイト云フコトニ結論付ケラレテ居ル、然ラバ森林收入ガソレヲ補フコトガ出來ナイ狀態デアルカドウカト云フニ、森林收入ト云フモノハ非常ニ多額ニ收入サレテ居ルニ拘ラズ、サウ云フモノガ其儘ニ放擲サレテ居ル

ト云フコトハ、洵ニ我國ノ前途ニ對シテ寒心ニ堪ヘナイモノガアリマス、斯ウ云フ考ヘデ行キマス、二十年後ニハ、我國ノ將來ニ於テ「パルプ」工業ガドンナニ盛ニナリマシテモ、五百五十万町歩ノ山ニ「パルプ」原料ヲ植エマシテ、早齡樹ヲ以テ之ヲ利用致シマスナラバ、四千五百万石ノ年伐量ヲ得ルコトガ出來マス、サウ云フノガアルニ拘ラズ、現在一般會計ニ繰入レラレテ居ル爲ニ、ドウシテモ森林ニ還元スルト云フコトガ疎ンゼラレテ居ル、之ニ付テ私ハ將來林政ノ大改革ヲシテ貰ヒタイト思フ、現内閣ハ若キ内閣デアル、青年内閣デアル、而モ農林省及大藏省ノ兩政務次官ハ青年デアル、所謂革新氣分ニ依ッテ林政ノ一大改革ヲ行ヒ、而モ森林收入ト云フモノヲ特別會計ニスル、サウシテ我國ノ特有性ヲ持ッテ「パルプ」事業、所謂纖維工業ノ前途ニ向ッテ安定ヲ與ヘルト云フコトハ、革新内閣ノ執ルベキ途デアルト思ヒマスガ、之ニ對シテ大藏政務次官カラハ、森林收入ヲ特別會計ニスルト云フコト、農林政務次官カラハ、林政ノ一大改革ヲスルト云フコトニ付テノ御考ヲ御聞キシタイト思ヒマス

○太田政府委員 先程申上ゲヨウト思ヒマシタガ、關聯シテ申上ゲタイト思ヒマス、

「パルプ」ノ問題ハ實ハ國際收支ノ均衡ノ上カラモ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、物資ノ需給ガ適合スルコトト關聯シテ、今政府モ非常ニ頭ヲ悩マシテ居ル問題デアリマス、鐵ト云ヒ、棉ト云ヒ、色々ナ輸入ノ多イ中ニ於テ「パルプ」ノ輸入額ノ占メル地位モ大キイノデアッテ、之ニ關聯シテ只今御話ノ森林政策ヲ樹立シテ行カナケレバナラヌト考ヘマス、只今吾々ガ眼ノ前ニ眉ニ火ガ付イタヤウニ考ヘナケレバナラヌ私共ノ立前カラノ問題トシテハ、寧ロ大キナ國際收支ノ均衡ト云フコトノ立前カラ、此問題ヲ解決シナケレバナラヌヤウナ立前ニアルノデゴザイマシテ、森林政策ノ根本ニ付テハ農林省ニ然ルベキ御考ガアルコトト思ヒマスガ、其點モ同時ニ吾々ノ憂ヘテ居ル點デアリ、之ヲ解決シナケレバナラヌト云フコトガ現在ノ問題デアルト云フコトモ御諒承願ヒタイト存ジマス、森林收入ヲ特別會計ニシテヤルト云フコトニ付キマシテハ、是迄モ色々サウ云フ議論ヲナサル御方モゴザイマシタガ、之ニ付キマシテハ其會計ヲ設クルニ付テノ色々ノ條件ヲ調べ見ナケレバナリマセヌノデ、私ノ一存デ茲ニ大膽ニ設ケルトモ設ケナイトモ御返事申上ゲルコトハ出來マセヌ、篤ト研究致シタイト思ッ

テ居リマス

○高橋政府委員 只今ノ「パルプ」ニ對シマシテノ自給策ト云ヒマスガ、其御考ニ對シマシテハ私モ頗ル同感デアリマス、隨テ只今御述ニナリマシタヤウナ森林政策ヲ根本的ニ改善スル考ガアルカ、斯ウ端のニ御尋ニナリマスレバ、端的ニヤラウト存ジマスト御答スルダケデアリマスガ、此荒廢林地ノ復舊問題ハ、實ハ治山治水トノ關係モ重大ナ關係ガアリマシテ、是ハ此前ノ第七十議會ニ各派代表議員ノ方カラ衆議院ニ此根本策ニ關スル議案ガ提出サレマシテ、全會一致デ可決サレテ居ルノデアリマス、隨テ今御話ニナリマシタ「パルプ」ノ自給策ノ見地カラ考ヘマシテモ、又治山治水ノ方面カラ考ヘマシテモ、相當是ハ政府ハ力ヲ入レテ考ヘナケレバナラヌ問題ダト存ジテ居リマス、尙ホ林道ノ開發ナドニ對シマシテモ、各地方カラ熾烈ナル希望モアリ、要求モアル今日デアリマスカラ、出來得ル限り御希望ニ副フヤウニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○松浦委員 只今ノ問題ニ付キマシテ更ニ私ハ北海道ニ付テ内務省ノ御方ニ、又樺太ニ付テ拓務省ノ御方ニ伺ヒタイノデスガ、内務省ノ御方ハ只今御見エニナラナイヤウデアリマスカラ、先ヅ樺太ノ問題ニ付テニ三御尋シテ見タイト思ヒマス、ソレハ只今申シマシタ過熟老齡樹ノ斂理ニ付テノ問題デアリマスガ、從來樺太ニ對スル考ハ濫伐シ過ギタ、サウシテ山火デ殆ド山ガ燒ケテシマッタト云フコトガ一般ノ觀測デゴザイマセウガ、實際ニ調査致シマス、マダ供給量ハ十分アルヤウニ思ヒマス、現ニ此間飛行機デ森林ノ調査ヲサレタ結果ヲ聞キマシテモ、五億六千萬石ノ蓄積ガアルヤウニ聞イテ居リマシタ、而モ五億六千萬石ノ蓄積ノ其全部ハ利用スルコトハ出來マスマイガ、假ニ利用スル量ガ四億八千萬石程度ニ利用出來ルト致シマスナラバ、彼處ノ試驗場デ調べラレマシタ生長量ヲ二%半ト假定致シマスナラバ、一年ニ千二百萬石ノ供給ヲスルコトハ可能デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、千二百萬石供給スルコトガ可能デアレバ、現在ノ量ヨリ遙ニ多クナルノデゴザイマセウ、然ラバ十萬噸ヤ十五萬噸ノ「パルプ」ノ市場ヲ得ルコトハ何デモナイヤウニ思ヒマスガ、當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

○植場政府委員 樺太ノ現在ノ針葉樹ノ伐採方法ハ、既ニ御承知ノ通りト存ジマスガ、先年樺太ノ林政ヲ改革致シマシタ場合ニ、一應當時ノ利用可能ナル針葉樹材積ヲ算定

致シマシテ、大體其中ノ六割ヲ擇伐シ、四割ヲ皆伐致シマシテ、残りノ蓄積量約七千万石バカリヲ植林見込地トシテ十五年間ニ伐採スル、大體斯ウ云フ計畫デ只今マデハ標準年伐量ヲ定メテ居リマス、更ニ其上ニ只今御話ノ飛行機寫眞等ニ依ル測定ニ依リマシテ、若干材積ハ殖エタ推定量ガ出タノデアリマス、所ガ御承知ノ通り既ニ年期契約ニ依リマシテ、年々千四五百万石ノ材木ヲ現在拂下ガナケレバナラス状態ニ置カレテ居リマス、而モ標準年伐量ハ一千百万石、只今申シマシタヤウナ計算ヲ致シマシテモ、大體過伐ニナツテ居ルノデアリマス、建前ヲ林力ノ永久保持ト云フ立場ニ置キマスト云フト、是以上伐ルト云フコトニ付テハ、更ニ相當研究ヲ要スル問題ドラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ先程大藏政務次官ノ御話モゴザイマシタ通り、「バルブ」原料ノ國際收支上ニ於ケル役割ト云フモノガ今日ノ時代ニハ非常ニ重大問題ト考ヘテ居リマス、如何ニシテ是等ノ問題、特ニ樺太ニ關係ノアル部分ニ付テ研究スベキカト云フコトニ付キマシテハ、例ヘバ御承知ノ露西亞ノ北樺太材ノ輸入ト云フ問題モ彼處ニハアルノデアリマス、國際河川ノ幌内河上流ノ問題ガ長年懸案トナツテ未解決ニ殘ツテ居

リマス、是等ノコトモ考慮ノ中ニ入レル必要ガアルノデハナカラウカ、又丁度拓務省デ所管シテ居リマス外地ノ範圍ニ於キマシテハ、針葉樹ノ「バルブ」以外ニ「バカス」ノ研究モ進メラレテ居リマスルシ、彼此レ各種ノ方法デ「バルブ」資源ト云フモノノ増加ヲ圖リタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、只今折角研究ヲ致シテ居リマスノデ、何レ研究ノ纏マリ次第ニ實施シタイト考ヘテ居リマス

○松浦委員 増伐ヲスル考ハゴザイマセヌカ

○植場政府委員 増伐ト云フ問題ニナリマス、一應現在ノ蓄積量ノ再檢討ヲ必要ト致シマス、増伐ヲヤルカヤラスカニ付テハマダ決定ヲ致シテ居リマセヌ

○松浦委員 此間ノ飛行機調査ニ依リマス問題ニ付キマシテ、アレデ十分ニ蓄積研究ガ行ハレテ、ソレニ依ツテ施業案ヲ研究サレツ、アルノデハアリマセヌカ、ソレニ對スル結果ハドウデスカ

○植場政府委員 ソレニ依ツテ作リツ、アリマス施業案ノ編成ハマダ今日完成シテ居リマセヌ

○松浦委員 内務省ノ人ガ御出デニナラナケレバ、明日ニ延シテ貰ツテモ宜シウゴザイ

マス

○山道委員長 成ダケ今日御濟マシ願ヒタウゴザイマスガ、今呼ビニ行ツテ貰ツテ居リマスカラ、外ニアリマシタラ、外ノ所ヲ先ニ御ヤリ願ヒタイ

○松浦委員 農林政務次官ニチョット御尋シタイノデスガ、紅松ノ關稅ノ問題ニ付キマシテ、去年ノ十一月二十三日ノ關稅會議ニ於テハ免稅スルト云フコトニ決ツタサウデアリマス、而モ馬場サンノ財政計畫ニハ載ツテ居ッタト云フコトデアリマスガ、今度之ヲ入レナカッタト云フノハドウ云フ考デアリマスカ

○高橋政府委員 滿洲產ノ紅松ノ問題ハ業者ノ方カラモ是非免稅シテ欲シイト云フ要求モアルノデアリマスガ、今農林省ノ方トシテ考ヘテ居リマスノハ、今茲ニ急ニ紅松ガケヲ取上ゲテ之ヲ免稅スルト云フ風ナ考ヘ方ヨリモ、滿洲國ニ關スル全面的ノ關稅問題ニ對シテ根本的ニ一ツ考ヘテ見タイト云フ風ナ意見ガ省内ニ相當アリマシテ、全面的ニ改正スルト云フノハ容易デナイデハナイカト云フ御説モアルノデアリマスガ、成ベク取急イデ業者ノ御期待ニ副フヤウナ方法ヲ講ジタイト思ツテ居リマス、唯紅松一ツ取上ゲテスル程ノ理由ハ今ナイ譯デアリ

マス、全面的ノ滿洲問題ニ對スル關稅ノ時ニ併セテ考ヘタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松浦委員 此紅松ノ問題ニ付キマシテハ昭和六年ノ露西亞ノ沿海州ノ大量ノ「ダンピング」ニ依ツテ之ヲ防止スル爲ニ行ハレタモノデアツテ、滿洲ニ同ジ種類ノモノガアルガ爲ニ其オ蔭ヲ蒙ツテ居ルヤウナコトガラウト思フノデス、同ジ樹種ノ紅松ガアルガ故ニ、露西亞沿海州ノ「ダンピング」材ト同ジ取扱ヲ受ケタコトニナルト思フノデアリマスガ、現ニ重工業ノ方面ニ於ケル紅松ノ使用ト云フモノハ、鑄物ノ木型材トシテ無クテハナラナイモノデアアルノデアリマス、デアリマスカラ此重工業ノ非常ニヤカマシイ時ニ於テ、而モ斯ウ云フ品物ガ澤山入ルト云フコトニ依ツテハ、「バルブ」原料ガ一般ニ使ハレナイト云フコトニモナリマスノデ、サウ云フ方面ヲ補フ爲ニモナリマスガ、此點ニ付テハ次ノ議會ニ提案サレル御考ガアルカドウカ

○高橋政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ滿洲トノ關係ハ全面的ニ考ヘタイト云フノデ、目下研究中デアリマシテ、間ニ合ヒ次第議會ニ提案シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○松浦委員 ソレカラ農林政務次官ニモウ

一ツ聽キタイコトハ「バルブ」ノ材料ガ非常ニ足ラヌト云フコトハ言フマデモナイ、現在我國ニ於テ「バルブ」ニ使フ原料ヲ他ノ方ニ使ッテ居ルノハ、何カト言フト、一番多ク使ッテ居ルノハ坑木デアリマス、坑木ガ現在

ルブ」資材ニナルモノハ、坑木ニ使ハセナイ、サウシテ坑木ノ供給ハ農林省山林局ニ於テ適當ニ之ニ便宜ヲ與ヘルト云フヤウナコトニ付テノ御考ハドウカト云フコトヲ聽キタイ

免稅トスルヤウナコトヲ、體力其邊ハハッキリ言ハレタト思ッテ居ル、ソレニ拘ラズ、成程滿洲ト日本トノ種々ノ關係ニ於テ全面的ニ總テノ改革ヲヤラナケレバナラス、或ハ總テノ税金ヲ取ッテ行カナケレバナラス、ソレ等ノコトハサウヤラナケレバナラスコトハ、是ハ御尤モデアアル、サウアリタイコトト思ヒマス、併シ紅松ニ付テハサウ云フ特殊ナ事情ガアル、或ハ高橋サンハ御存ジナイト思ヒマス、何ダカ内輪デ矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、私ハソコ迄ハ申シマセヌ、是ハ特ニ聞カナイ振リヲ致シテ置キマスカラ、モウ一遍次ニ御返事ヲ願ヒタイト思ヒマス

ウナ色々カラノ關係モアリマスシ、殊ニ滿洲ト日本トノ特殊事情ニモ考ヘマシテ、出來得ル限り速カナ議會ニ御希望ノ達成セラ、ヤウ努力スル積リデアリマス

石炭一廻ニ對シテ一斗要ルコトニナリマスカラ、四千五百萬廻ノ石炭ガ生産サレルト致シマス、四百五十萬石ノ坑木ヲ使用シナケレバナラス、我國ノ將來ニ於テ七千萬廻ノ石炭ヲ生産スルストスラバ、七百萬石ノ坑木ガ要ル、七百萬石ノ針葉樹ガアルナラバ、二十萬廻ノ人絹「バルブ」ヲ造ルコトガ出來ル、獨逸デハ此問題ヲ非常ニ心配サレテ、「ヒットラー」ハサウ云フモノハ潤葉樹ヲ以テ充テタイト云フヤウナコトヲ考ヘテ、而モ榎松二十五石以上ヲ伐採スル者ハ届出ヲセヨ、サウシテ其實下ゲニ付テハ纖維工業ノ原料ニ充テルヤウナ方法ヲ執ッテ居ラレルノデアリマスガ、我國ニ於テモ獨逸ト同ジヤウナ狀況ニ置カレテ、國ノ産業ハ益々盛ニナルケレドモ、原料ガ足ラナイ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、坑木ナドハ現在四十七億モ蓄積ガアル潤葉樹ヲ利用シテ、其坑木ニ充テルト云フコトニナレバ、是ハ易易タルモノダト思フ、サウ云フ方面ノ指導獎勵ヲスルニハ、一ツノ法規ヲ設ケテ「パ

○高橋政府委員 纖維工業若クハ製紙工業ノ原料トシテノ「バルブ」ヲ自給シタイト云フコトハ、先程カラ申上ゲテ居ル通りデアリマシテ、是非出來得ルナラバ、國內デ自給スルコトガ、國際貸借ノ上カラ言ウデモ望マシイコトデアリマスノデ、色々ノ點カラ考究シタイト存ジテ居ルノデアリマシガ、今御指摘ニナリマシタヤウナ事柄ガ經濟的ニモ實際的ニモ可能ダト致シマスレバ、相當考慮スル必要ガアルト思ヒマス

○高橋政府委員 知ラヌト仰シヤラレルガ、兎ニ角紅松ノ問題ハ此議會デ只今質問サレタカラ慌テ、答辯資料ヲ蒐メタ譯デアアリマセヌ、前カラ色々陳情モ承ッテ居リマス、事務當局ノ意見モ具ニ聞イテ居リマス、隨テ知ラヌ程度、知ッテ居ル程度ハドノ位力知リマセヌガ、私トシテハ知ッテ居ル積リデアリマス、此問題ニ付テハ先程申シマシタヤウニ、内地ノ林政上ノ關係カラ言ハバ紅松ノ關稅ヲ引下ゲテ、紅松ノ輸入ヲ増加シナケレバナラスト云フ必要モ認メテ居ナイノデアリマス、併ナガラ今御話ノアリマシヤ

○西村委員 一寸言葉ヲ訂正シマスガ、知ラナイト云フ言葉ハ實ハ前回ノ議會ニ於ケル委員會ノ經緯ヲ御存ジナイノデアラウ、若シ知ッテ居テ之ヲ斯ウ言フタト云フコトニナルト、非常ニウルサイ問題ニナッテ來ル、ソレデ其當時高橋政府委員ハ當時委員デナカッタノデ、其經緯ヲ御存ジナイノデアラウト云フ意味デアリマス、全面的ナ問題ハ洵ニ仰セノ通りデ、サウ行カナケレバナラスノデアアルガ、此問題ダケハ特ニソナ沿革ガアッタト云フコトダケヲ頭ニ入レテ置イテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

○西村委員 一寸關聯シタコトデ御許ヲ願ヒマス

○山道委員長 宜シウゴザイマス

○西村委員 只今紅松ニ付テ高橋政府委員ヨリ御答辯ガアリマシタガ、此紅松ニ付テハ相當第七十議會ニ於テ委員會デ問題ニナッテ居ルノデアリマス、當時今ノ大藏大臣、當時ノ大藏次官ノ賀屋君カラ、是ハ從來特別ナル沿革ガアルカラ、此議會ハ待ッテ吳レロ、斯ウ云フ答辯ガアッタ、ツイ本日モ先程大藏大臣トシテ、紅松ハ通常議會ニハ是ハ

○山道委員長 松浦君ニ申上ゲマス、內務省ノ政府委員ハ一名モ議會ニ出デ居リマセヌ、電話デモ掛ケテ本省カラ來テ貰ハナケレバナラスノデ、洵ニ遺憾ニ感ジマス、本省カラ來テ貰フ迄此處デ待ッテ居ルコトモ無駄ダト考ヘマスガ、今日ハ是デ……

○松浦委員 マダ北海道ノ問題ニ付テ申シタイノデスガ……

○山道委員長 內務省ノ政府委員ガ此大切

ナ議會ニ、マダ四時半カソコデアアルノニ、

ナ議會ニ、マダ四時半カソコデアアルノニ、

一人モ此處ニ居ラレスト云フノハ遺憾デア
ル、残念デスケレドモ、ジツト待ッテ居ル譯
ニモ行キマセヌカラ、アナタノ御質問ガ今
日ハソレ以外ニナイナラバ、今日御通告ニ
ナッテ居ル質問者ノ御發言ハ一應終了スル
譯デアリマスカラ、是デ散會シタイと思ヒ
マスガ、如何デセウ

○松浦委員 私ハ明後日ノ會議ニ留保シテ
置キマス、其時ニ發言出來ルヤウニ御願ヒ
致シマス

○山道委員長 承知シマシタ、内務省ニ關
スル限リアナタノ發言ヲ許シマス

○松浦委員 内務省ニ對スル質問ノアルコ
トヲ内務省ニ通告シテ戴キタイと思ヒマス

○山道委員長 承知致シマシタ、ソレデハ
本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前中ニ
申合セマシタヤウニ、色々議事進行ニ付テ
滑カニ行クヤウニ御準備ヲ願ヒマス爲ニ、
開會致シマセヌ、明後日ハ午前十時カラ開
會致シマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、
デハ是デ散會致シマス

午後四時四十分散會

昭和十二年七月三十一日印刷

昭和十二年八月一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所